

IFP50-5/5F シリーズ

ViewBoard 電子黒板
ユーザーガイド



モデル番号 VS19315 | VS17223 | VS19283 | VS19284

P/N: IFP5550-5 | IFP6550-5 | IFP7550-5 | IFP8650-5 | IFP5550-5F | IFP6550-5F | IFP7550-5F | IFP8650-5F

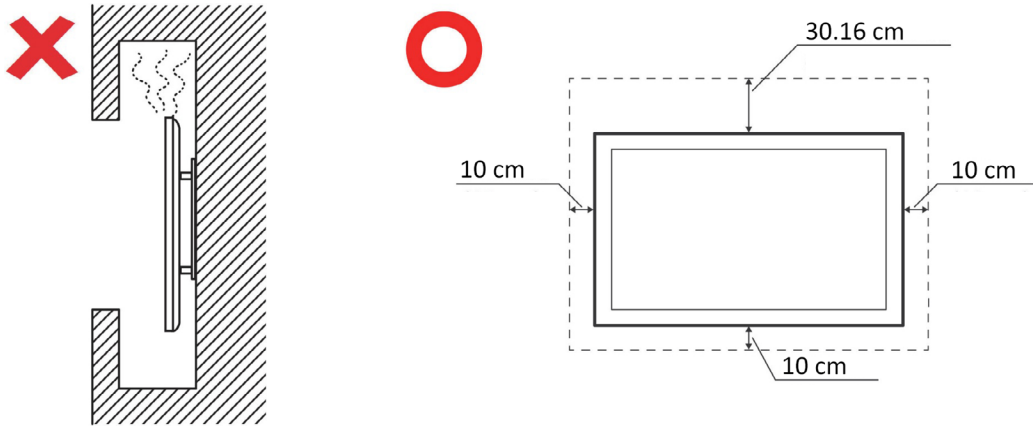
**ViewSonic® をお選びいただき、
ありがとうございます。**

安全上のご注意

この製品をお使いになる前に、よくお読みの上、安全にお使いください。

- 本ユーザーガイドは、安全な場所に保管してください。
- 全ての注意事項を読み、全ての仕様説明にそってお使いください。
- 発火や感電の危険を減らすため、水気、湿気がある場所での使用は避けてください。
- 背面カバーを絶対に取り外さないでください。このディスプレイには高電圧部品が含まれています。触ると重傷を負う可能性があります。
- ディスプレイは直射日光の当たる場所に置かないでください。
- また、エアコンやストーブ、その他発熱する機器などの近くには設置しないでください。
- 本体の清掃は、やわらかい乾いた布などで行ってください。詳細については、「メンテナンス」をご覧ください。
- 本体を移動させる際は、落としたり、何かにぶついたりしないように十分にご注意ください。
- 本体を傾斜や凹凸のある場所、不安定な場所に置かないでください。本体が転倒・落下してけがや故障の原因となります。
- また、ディスプレイや接続ケーブルの上には重いものを置かないでください。
- 万一、煙、異音、異臭などが発生した場合は、直ちに本体の電源を切り、販売店または ViewSonic® カスタマーサポートセンターにご連絡ください。そのまま続けてお使い頂くことは大変危険です。
- このデバイスは、一般的なオフィスでの使用を目的とした LED バックライト付きのモニターです。
- 分極プラグや接地プラグの安全規定を妨げないようにしてください。分極プラグは2つのブレードがあり、一方がやや幅広になっています。アースタイプのプラグには、2本のブレードと1本のアース用突起があります。幅の広いブレードとアース用突起は、安全のために用意されています。プラグがコンセントに合わない場合は、形状が一致する変換アダプタをご使用ください。
- プラグをコンセントに接続するときは、アース端子を絶対に取り外さないでください。
- プラグや電源コードが、何か物に踏まれたり、挟まれたりしないようにしてください。本体から突出した電源コード部分は、特に注意してください。電源プラグはコンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- 付属品 / アクセサリーはメーカーが指定する物をご使用ください。
- 移動台車を使用して製品を移動する際には、転倒によって怪我をしないようにご注意ください。

- 長期間使用しない場合には、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 本製品は、24 時間連続使用を前提として設計されておりません。部品の消耗を加速させる原因や帯電による不具合の原因となりますので、24 時間連続でのご利用は避けてください。
- 連続使用は 1 日最大約 8 時間が推奨となります。
- ディスプレイは風通しの良い場所に置いてください。また、ディスプレイの内部に熱がこもらないように通風孔周辺には物を置かないでください。



- 製品の修理は ViewSonic® カスタマーサポートセンターにご依頼ください。以下のような破損の場合は、修理が必要となります。
 - » 電源コードまたはプラグが破損している。
 - » 本体に液体がかかったり、何か物を落としてしまった。
 - » 雨や湿気にさらしてしまった。
 - » 本体が正常に操作できない。または落としてしまった。

内容

安全上のご注意	3
はじめに	9
付属品	9
壁取り付けキットの仕様 (VESA).....	10
IFP5550-5 / IFP5550-5F	10
IFP6550-5 / IFP6550-5F	11
IFP7550-5 / IFP7550-5F	12
IFP8650-5 / IFP8650-5F	13
各部の名称	14
IFP5550-5 / IFP5550-5F	14
IFP6550-5 / IFP6550-5F	15
IFP7550-5 / IFP7550-5F	16
IFP8650-5 / IFP8650-5F	17
コントロールパネルと正面入出力ポート	18
I/Oパネル	19
リモコン.....	20
ジェスチャの使用.....	24
本体の接続	26
外部デバイスの接続とタッチ接続	26
USB Type-C接続.....	26
HDMI接続	26
RS-232接続	27
USBおよびネットワーク接続	28
メディアプレーヤー接続.....	29
SPDIF接続	30
ビデオ出力接続.....	31

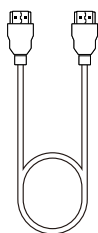
ViewBoardの使用	32
ViewBoardの電源のオン/オフ	32
初期起動セットアップ	33
vLauncher-カスタマイズ可能なホーム画面	35
vLauncherメッセージ	35
アプリケーション	36
サイドツールバー	38
オンスクリーンディスプレイ - OSDメニュー	44
一般設定	45
入力設定	46
設定 - HDMIおよび USB Type-C 入力ソース	47
音声設定	47
画面設定	48
ディスプレイ設定	49
ブルーライト軽減と目の健康	50
設定 - ViewBoardプレーヤー	52
ネットワーク & インターネット	52
ファイル共有	59
ディスプレイ	61
環境設定	65
入力ソース	72
アプリ	75
システム	78

組み込みアプリケーションと設定	86
Air Class	86
Voter (選択問題)	88
Judge (正誤問題)	90
Responder (早押しクイズ)	92
Selector (参加者選択)	93
Grouping (グループ)	93
Message (メッセージ)	94
Manager (管理者)	94
終了	94
myViewBoard Display	95
myViewBoard Live	96
myViewBoard Manager	97
myViewBoard Record	98
myViewBoard Whiteboard	99
ViewBoardCast	102
Windows、Macbook、およびChromeデバイスから送信者をキャスト	103
iOS、Android OSモバイルデバイスから送信者をキャスト	104
注釈をサポートするモバイルデバイスからキャスト	105
その他のデフォルトアプリケーション	106
Chromium	106
フォルダ	107
OfficeSuite	109
画面ロック	110
vSweeper	111
RS-232プロトコル	112
詳細	112
RS-232ハードウェア仕様	112
LANハードウェア仕様	113
RS232通信設定	113
LAN通信設定	113
コマンドメッセージリファレンス	113
プロトコル	114
Set-関数リスト	114
Get-関数リスト	120
リモコンパススルーモード	128

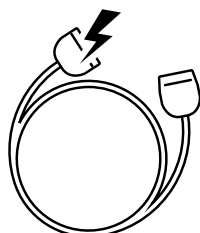
付録	131
仕様.....	131
ディスプレイモード.....	133
VGAモード.....	133
HDMIモード.....	133
トラブルシューティング.....	134
メンテナンス.....	136
お手入れの際の注意.....	136
画面のお手入れ.....	136
ケースのお手入れ.....	136
規制およびサービス情報	137
コンプライアンス情報.....	137
FCCコンプライアンス声明.....	137
カナダ産業省の声明.....	137
欧州諸国のCE適合.....	137
RoHS2コンプライアンス宣言.....	138
ENERGY STAR®に関する声明.....	139
著作権情報.....	140
カスタマーサポート.....	141

はじめに

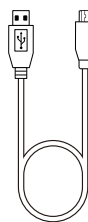
付属品



HDMI ケーブル
(3m)



電源コード



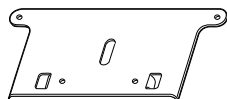
タッチ用 USB Type-B
ケーブル
(3m)



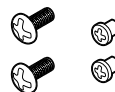
リモコン



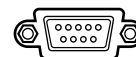
単四電池 x 2



ウェブカメラプレート



ウェブカメラ用ネジ x 4
(M4x6mm x 2、
M3x6mm x 2)



RS-232 アダプタ



クランプ x 5



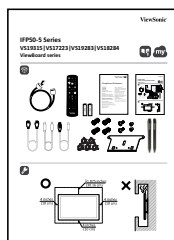
タッチペン x 2



壁取り付けネジ x 4
(M8x25mm x 4)



コンプライアンス
声明



クイックスタート
ガイド



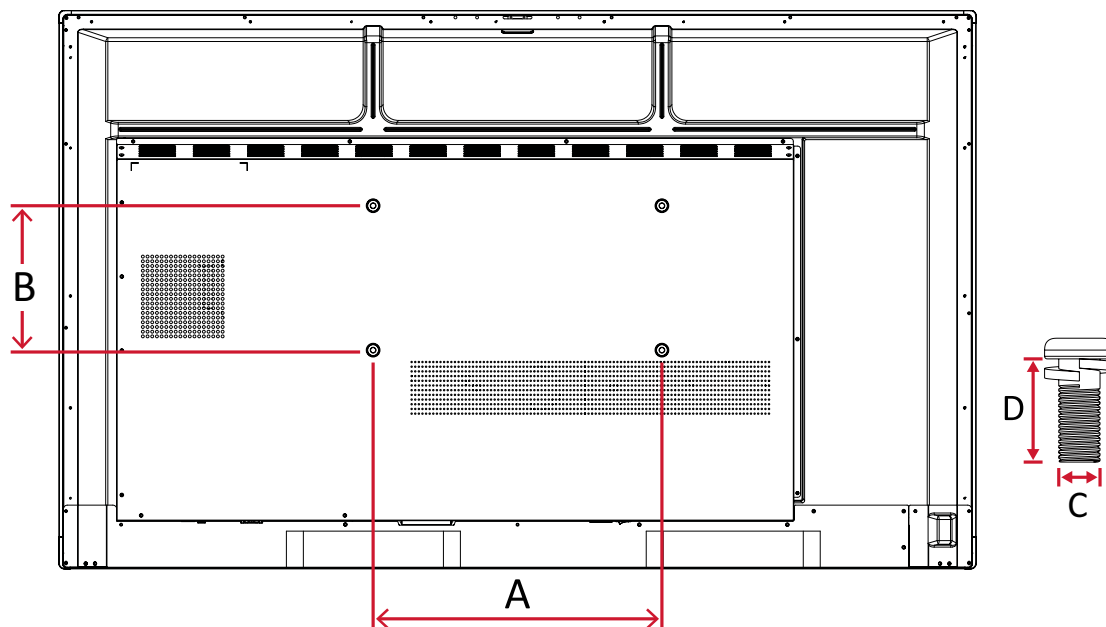
保証書

注意事項： 同梱されている電源コードとビデオケーブルは、お住まいの国や地域によって規格が異なる場合があります。詳細については、ViewSonic カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

壁取り付けキットの仕様 (VESA)

注意事項：壁取り付けまたはモバイルマウントブラケットを取り付ける場合は、壁取り付けガイドの指示に従ってください。他の建築材料に取り付ける場合は、最寄りの販売店または ViewSonic カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

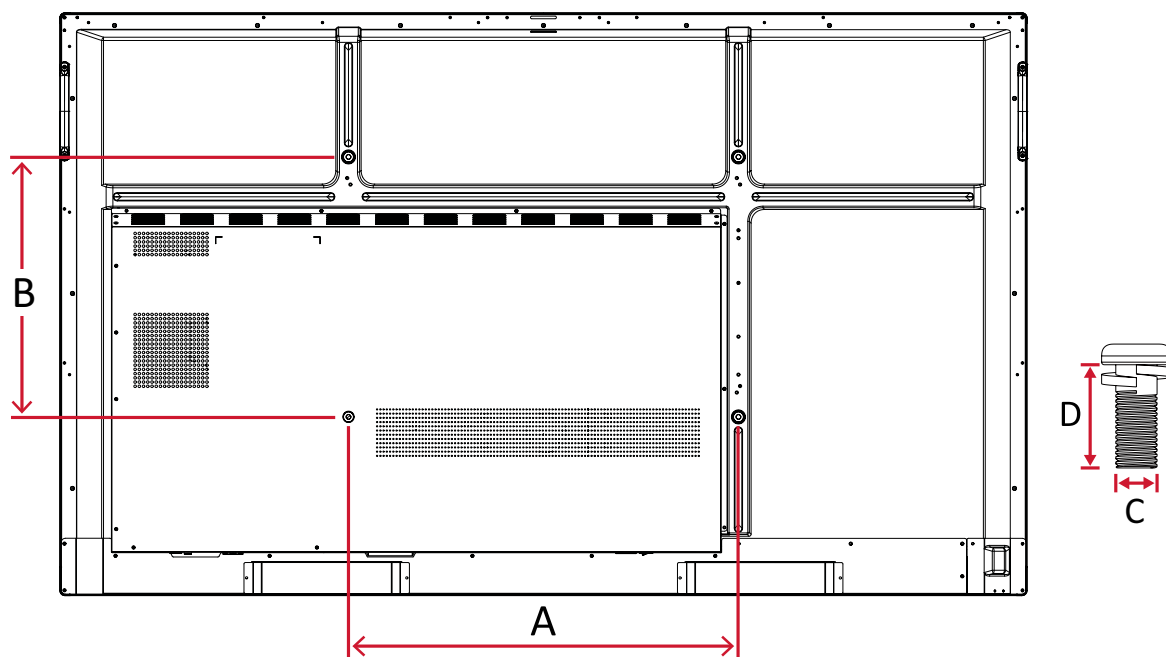
IFP5550-5 / IFP5550-5F



モデル	VESA仕様 (A x B)	標準ネジ (C x D)	数量
IFP5550-5 - 55"	400 x 200mm	M8 x 25 mm	4

注意事項：ディスプレイの内部に損傷を与える可能性があるため、ネジ仕様寸法より長いネジは使用しないでください。

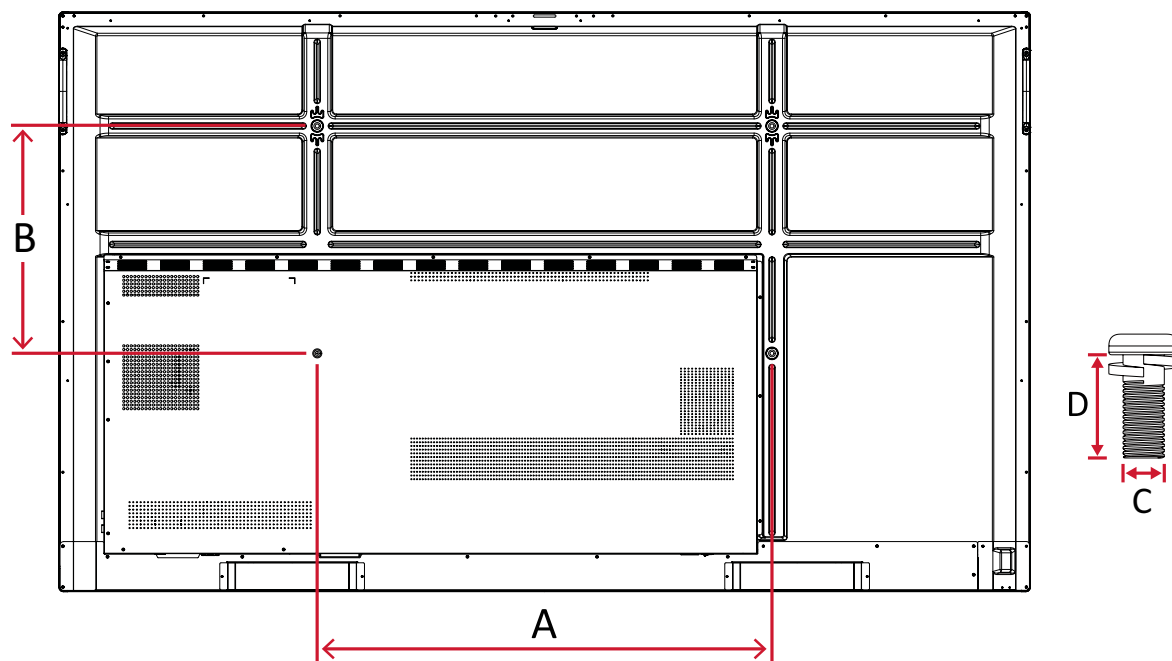
IFP6550-5 / IFP6550-5F



モデル	VESA仕様 (A x B)	標準ネジ (C x D)	数量
IFP6550-5 - 65"	600 x 400mm	M8 x 25 mm	4

注意事項： ディスプレイの内部に損傷を与える可能性があるため、ネジ仕様寸法より長いネジは使用しないでください。

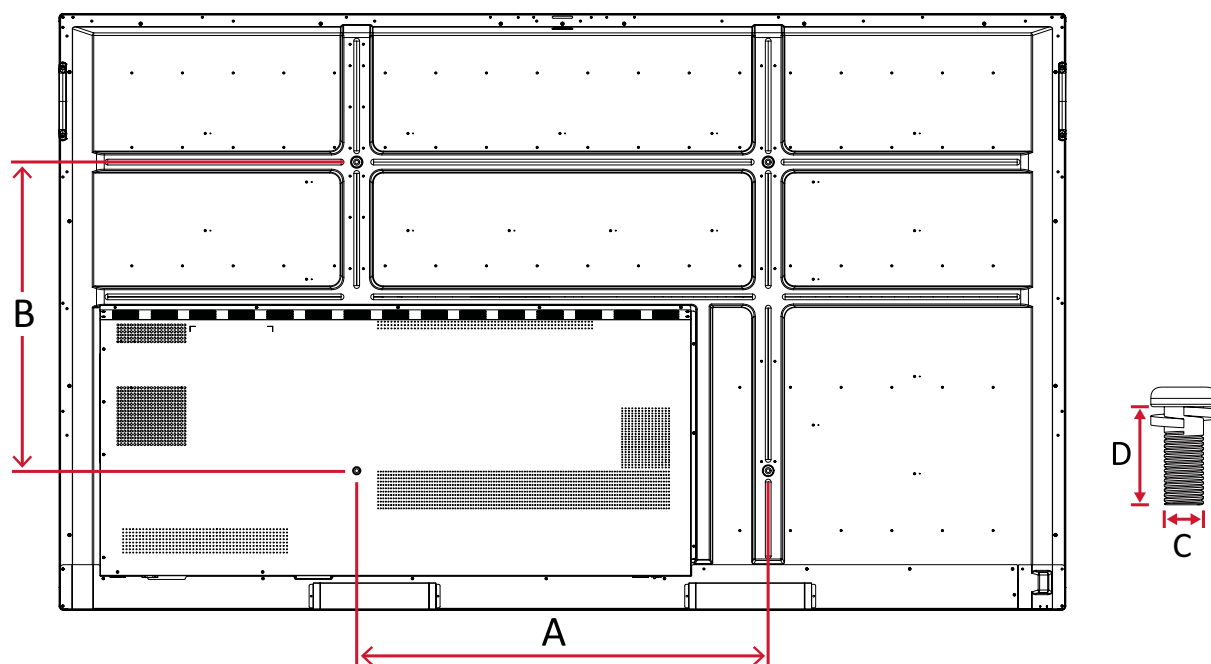
IFP7550-5 / IFP7550-5F



モデル	VESA仕様 (A x B)	標準ネジ (C x D)	数量
IFP7550-5 - 75"	800 x 400mm	M8 x 25 mm	4

注意事項： ディスプレイの内部に損傷を与える可能性があるため、ネジ仕様寸法より長いネジは使用しないでください。

IFP8650-5 / IFP8650-5F



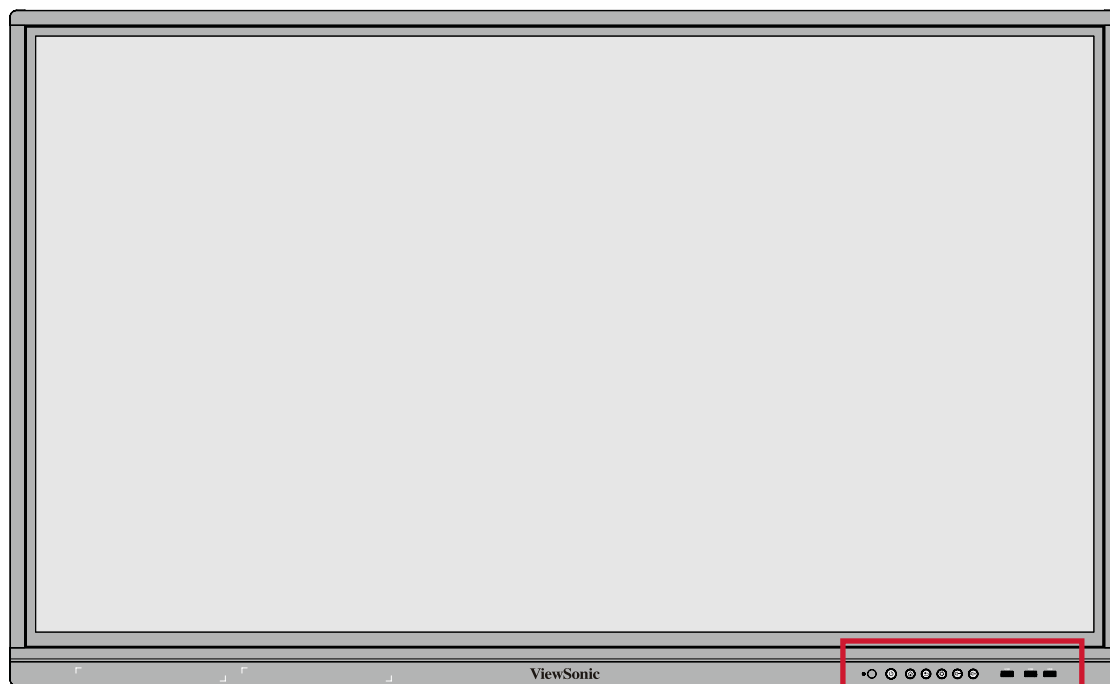
モデル	VESA仕様(A x B)	標準ネジ (C x D)	数量
IFP8650-5 - 86"	800 x 600mm	M8 x 25 mm	4

注意事項：ディスプレイの内部に損傷を与える可能性があるため、ネジ仕様寸法より長いネジは使用しないでください。

各部の名称

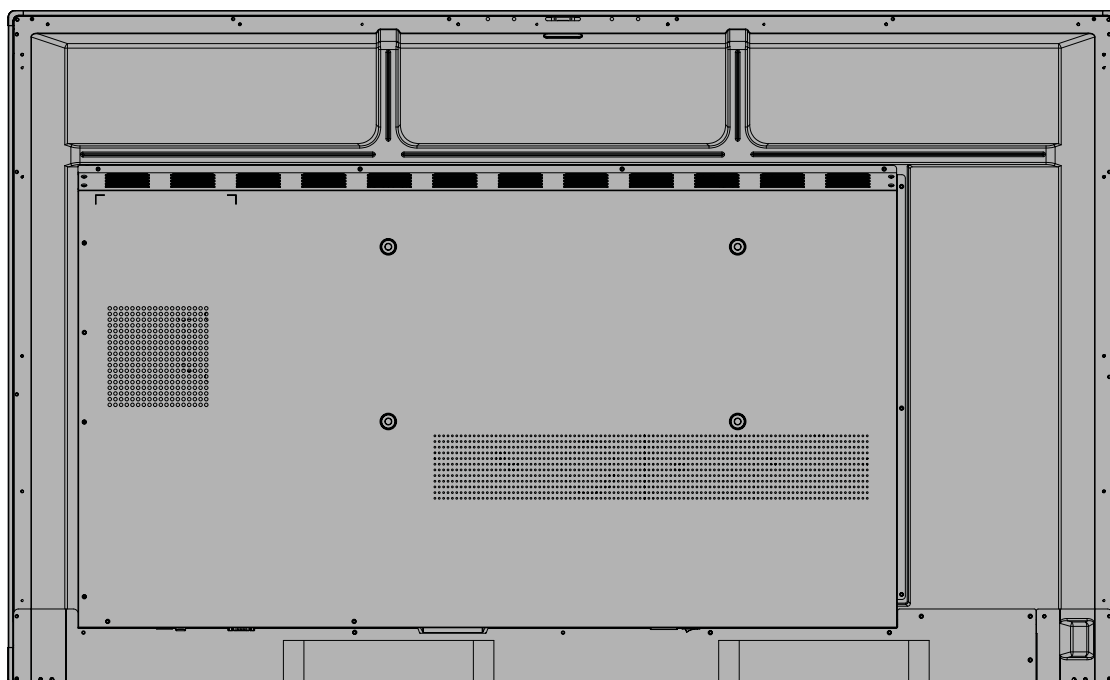
IFP5550-5 / IFP5550-5F

正面



コントロールパネル
正面入出力ポート

背面



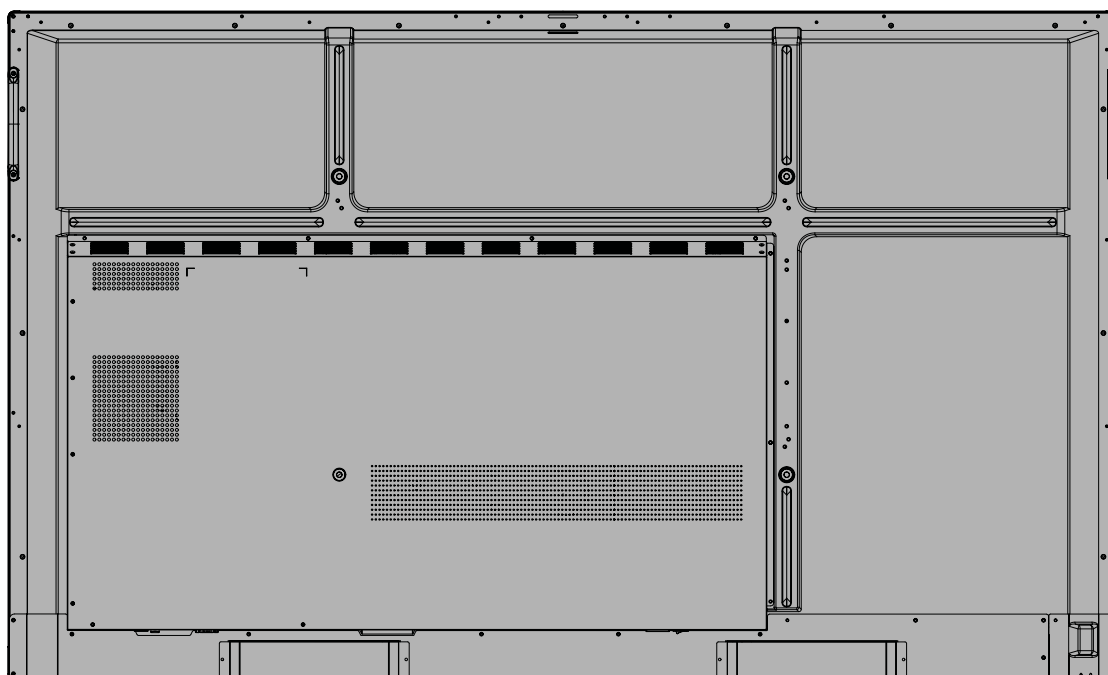
IFP6550-5 / IFP6550-5F

正面



コントロールパネル
正面入出力ポート

背面



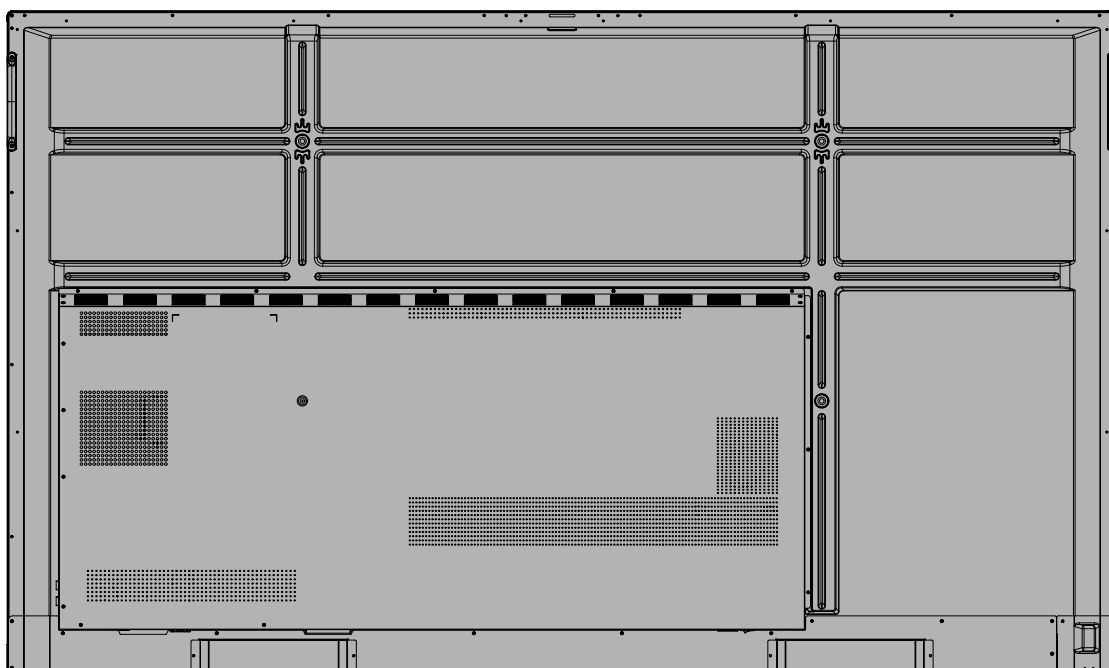
IFP7550-5 / IFP7550-5F

正面



コントロールパネル
正面入出力ポート

背面



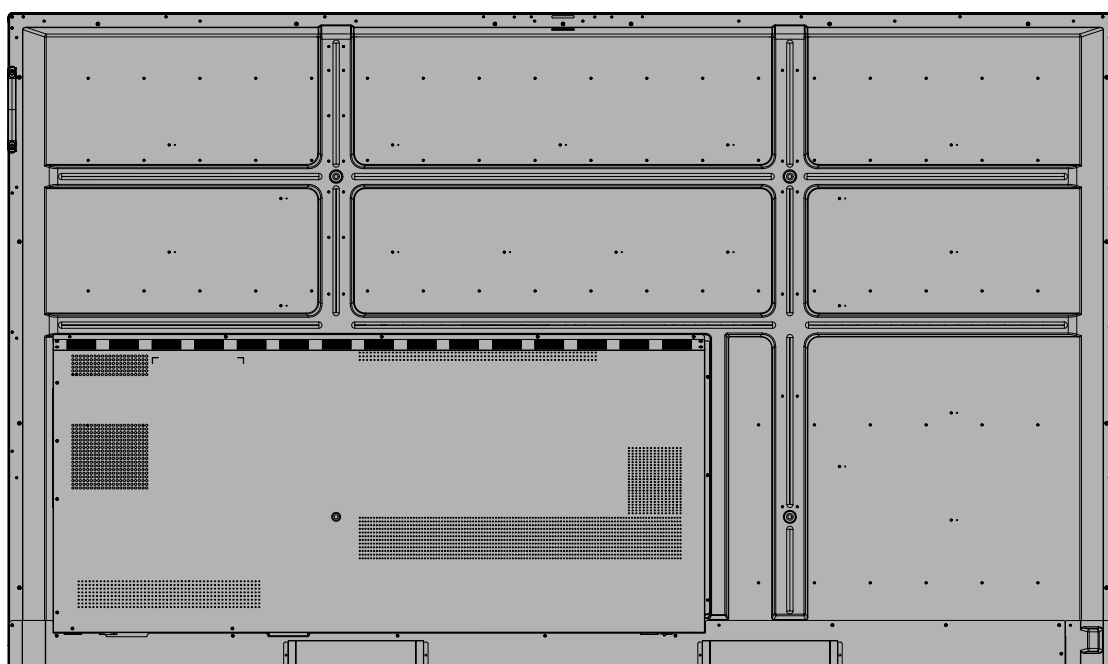
IFP8650-5 / IFP8650-5F

正面

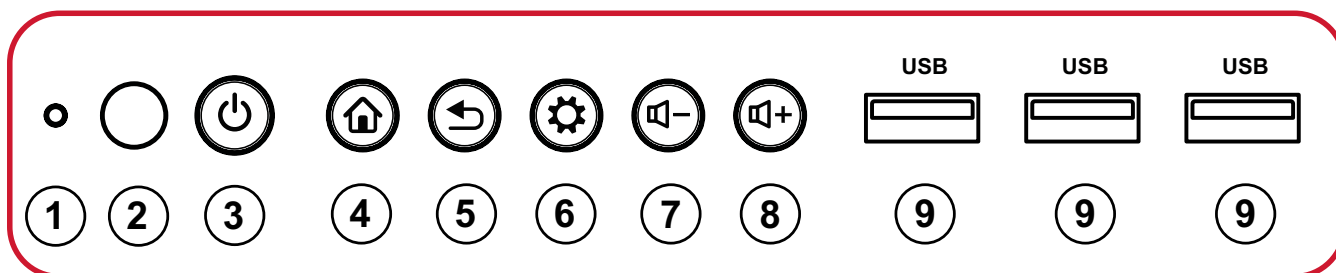


コントロールパネル
正面入出力ポート

背面

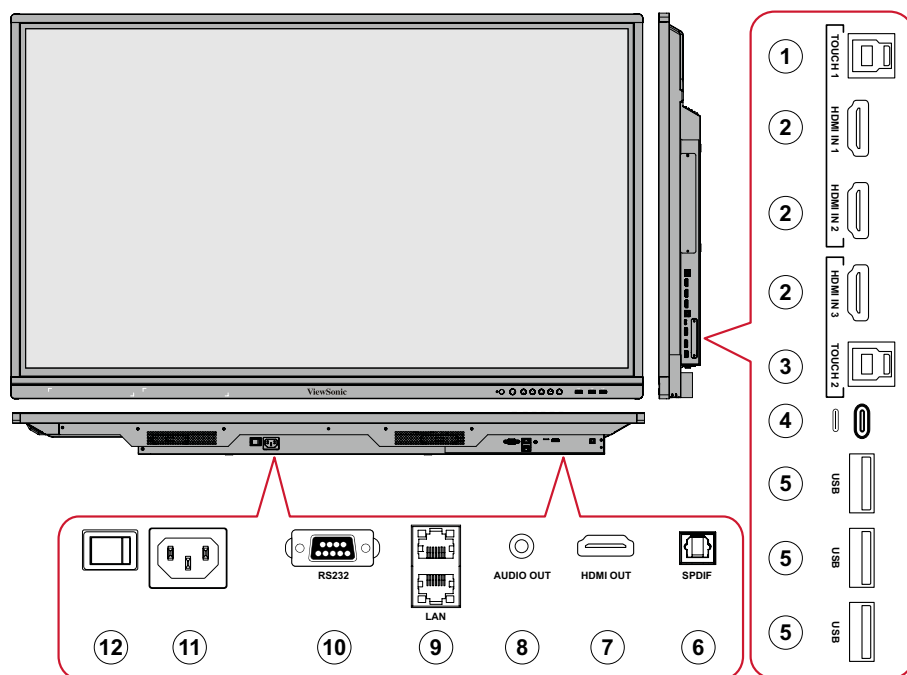


コントロールパネルと正面入出力ポート



数	項目	詳細
1		周囲の明るさを検知する環境光センサー
2		リモコンレシーバー
3		電源ボタン <ul style="list-style-type: none"> ボタン押して、本機の電源を入れます。 電源オンの状態でこのボタン押して、本機のバックライトのみをオンまたはオフにします。 長押しで、本機の電源がオフになります。
4		ホーム画面に移動します。
5		前の画面に戻ります。
6		<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューにアクセスします。 3 秒間長押しして画面フリーズを有効にします
7		音量を下げます。
8		音量を上げます。
9		<ul style="list-style-type: none"> USB Type-A 入力ポート ハードディスク、キーボード、マウスなどの USB デバイスを接続します。

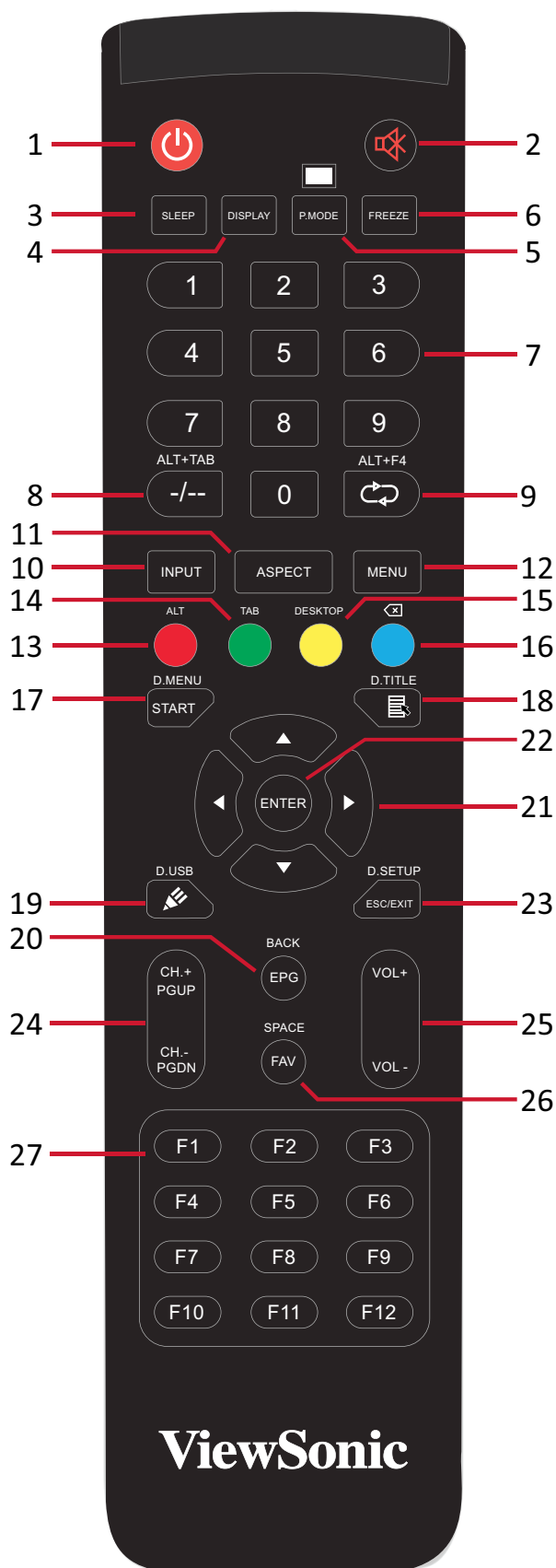
I/O パネル



番号	項目	詳細
1	TOUCH 1	外部 PC へのタッチ信号出力。 注意事項: HDMI 1 および 2 とペアリングします。
2	HDMI 1/2/3	<ul style="list-style-type: none"> 高解像度入力。 HDMI 出力、セットトップボックス、またはその他のビデオデバイスを PC に接続します。 注意事項: HDMI 1 は、HDMI CEC をサポートします。
3	TOUCH 2	外部 PC へのタッチ信号出力。 注意事項: HDMI 3 とペアリングします。
4	USB Type C	<ul style="list-style-type: none"> 65W の最大電力供給。 DP 1.2、USB 2.0 リターン付き。 10M/100M イーサネット。
5	USB Type A	<ul style="list-style-type: none"> USB Type-A 入力。 ハードディスク、キーボード、マウスなどの USB デバイスを接続します。
6	SPDIF	光通信を介してマルチチャンネルサウンド機器に出力することができます。
7	HDMI OUT	<ul style="list-style-type: none"> 3840 x 2160 4K@60Hz の映像出力をサポートします。 外付けデバイスの HDMI 入力機能に接続します。
8	AUDIO OUT	外部スピーカーへのオーディオ出力。
9	LAN	<ul style="list-style-type: none"> 標準 RJ45 (10M/100M/1G) インターネット。 ViewBoard、スロットイン PC に使用されます。
10	RS-232	デバイス間のデータの相互転送用シリアルインターフェイス。
11	AC IN	AC 電源入力ソケット。

番号	項目	詳細
12	電源スイッチ	AC 電源のオン / オフを切り替えます。

リモコン



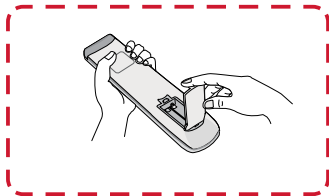
番号	項目	詳細
1	⏻	電源オン / オフ
2	🔇	ミュート / ミュート解除
3	SLEEP	スリープモード
4	DISPLAY	ViewBoard 以外の入力ソースの場合は、現在の入力ソースの情報を表示します。
5	P.MODE	画面を非表示
6	FREEZE	画面をフリーズ
7		数字入力ボタン
8	ALT+TAB -/--	スロットイン PC、スペースバー、Alt+Tab
9	ALT+F4 ↺	スロットイン PC、プログラムウィンドウを閉じます。
10	INPUT	入力ソースを選択
11	ASPECT	スロットイン PC のメインインターフェイスに戻ります。
12	MENU	入力ソースは ViewBoard の場合は、設定を表示します、その他の入力ソースの場合は、タッチメニュー設定を表示します。
13	赤 /ALT	画面キャプチャ
14	緑 /TAB	PC1 の [Tab] ボタン
15	黄 /DESKTOP	スロットイン PC のデスクトップに切り替えます。
16	青 / ⌫	PC1 の [Backspace] ボタン
17	START/D.MENU	PC1 の [Windows] ボタン
18	☰ / D.TITLE	PC1 の [Menu] ボタン
19	🔌 / D.USB	ソフトウェア設定を保存します。
20	EPG/BACK	戻るボタン
21	▲ / ▼ / ◀ / ▶	上、下、左、右にスクロールします。
22	ENTER	選択 / 状態を確認します。
23	ESC/EXIT/ D.SETUP	ダイアログボックスを終了するためのショートカットボキ
24	CH.+ / PGUP / CH.- / PGDN	CH+: PC の前のページに戻ります。 CH-: PC の次のページアクセスします。
25	VOL+ / VOL-	音量を上げる / 下げる
26	FAV / SPACE	PC1 の [Space] ボタン
27	F1-F12	スロットイン PC の F1 ~ F12 の機能ボタン

¹ すべての PC 関連のファンクションキーは、スロットイン PC 無しでは利用できません。

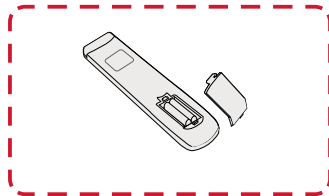
リモコン電池の挿入

電池をリモコンに挿入するには、下図の手順に従ってください：

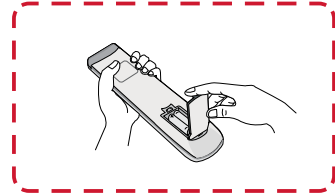
1. リモコンの背面にある電池カバーを取り外します。
2. 2本の「単四」電池の「+」記号が電池ポストの「+」と一致することを確認して、電池を挿入します。
3. 電池カバーをリモコンのスロットに合わせ、ラッチをスナップして閉じて、カバーを元に戻します。



(1)



(2)



(3)

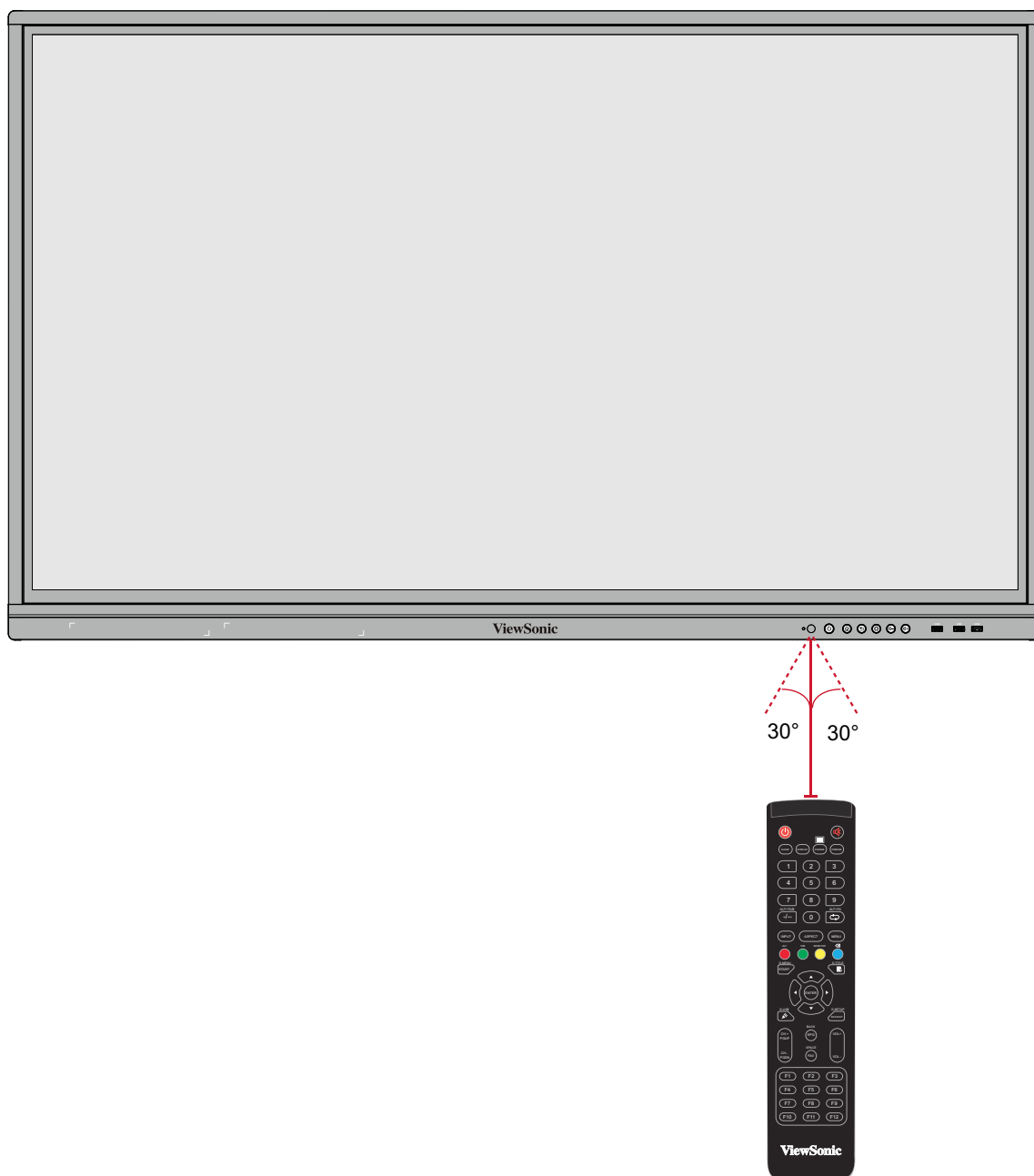
警告： 電池を間違ったタイプに交換すると、発火の危険があります。

注意事項：

- 単四電池以外の電池は使用しないでください。
- リモコンと電池を暑い場所や湿気の多い場所に放置しないでください。
- 使用済みの電池は各自治体の回収規則にしたがって廃棄してください。
- 電池が完全に消耗した場合、またはリモコンを長期間使用しないときには、漏電によりリモコンのコントロール部分が破損しないように電池は外しておいてください。

リモコンレーザーの範囲

リモコンの動作範囲を下図に示します。有効距離は 8 メートル、左右 30 度の範囲です。リモコンのレーザーへの信号を妨げるものがないことを確認してください。

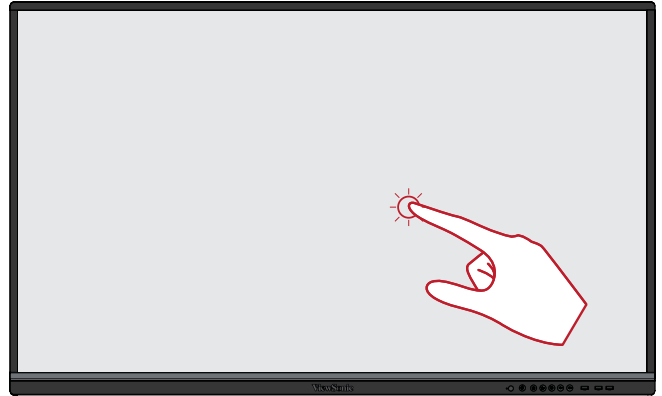


ジェスチャの使用

タッチジェスチャを使用すると、ユーザーはキーボードやマウスを使用せずに、事前に定義されたコマンドを使用できます。ユーザーは、ViewBoard のジェスチャを使用して、オブジェクトの選択 / 選択解除、オブジェクトの場所の変更、設定へのアクセス、デジタルインクの消去などを行うことができます。

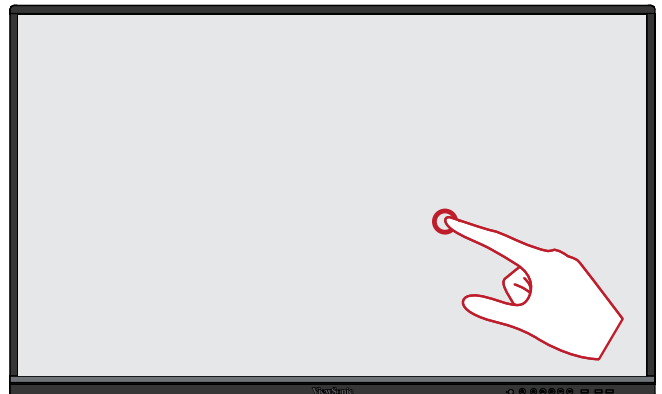
オブジェクトの選択と選択解除 (左クリック)

ViewBoard を押して放し、オプションまたはオブジェクトを選択 / 選択解除します。これは、マウスの左クリックのように操作します。



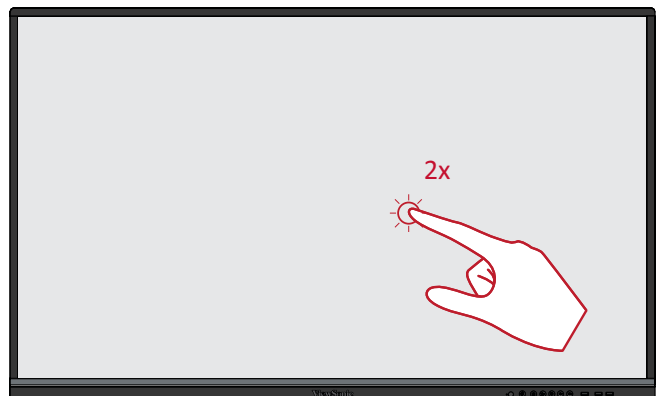
メニューオプションの表示 (右クリック)

ViewBoard を指で長押しします。これはマウスの右クリックのように操作します。



ダブルクリック

ViewBoard の同じ場所ですばやく 2 回押して放します。これは、マウスのダブルクリックのように操作します。



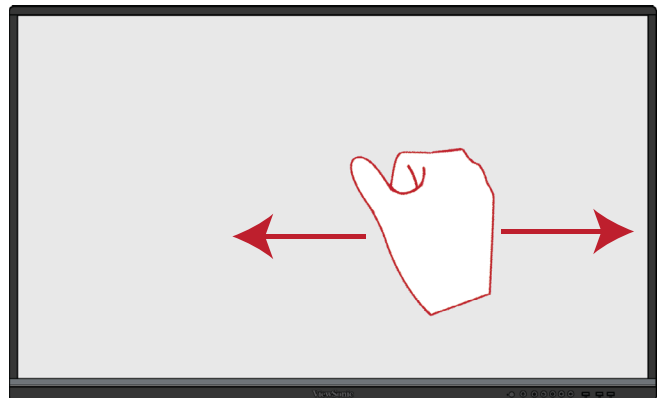
オブジェクトの移動

ViewBoard でオブジェクトを押したまま、指でゆっくりと目的の場所にドラッグします。



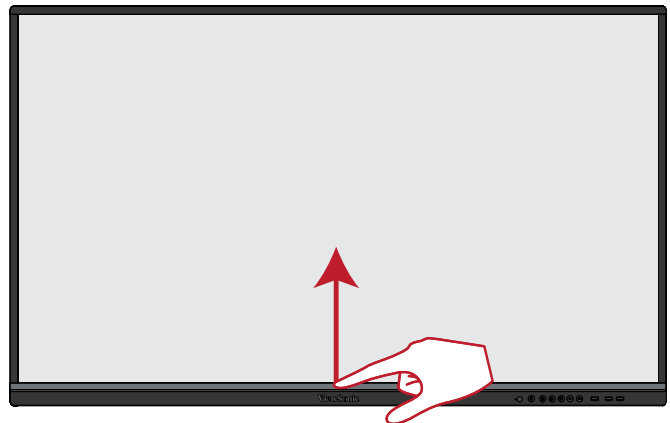
デジタルインクの消去

平らにした手、手のひら、または拳を ViewBoard で使用し、消去したい範囲を横切って手を動かします。



上にスワイプして一般設定

ViewBoard の下から上にスワイプして、一般設定メニューを表示します。

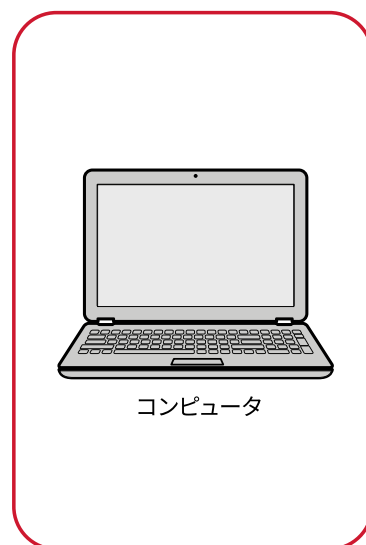
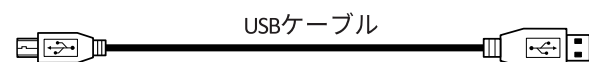
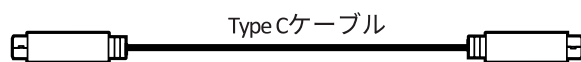
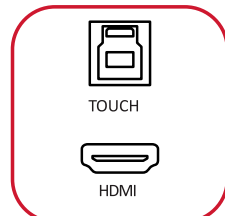


本体の接続

外部デバイスの接続とタッチ接続



または



外部デバイスは、次の構成のいずれかで接続できます。

USB Type-C 接続

USB Type-C 経由で接続するには：

USB Type-C ケーブルを外部デバイスから ViewBoard の USB Type-C ポートに接続します。

HDMI 接続

HDMI 経由で接続するには：

1. HDMI ケーブルを外部デバイスから ViewBoard の HDMI 1/2/3 ポートに接続します。
2. USB ケーブルを ViewBoard の TOUCH ポートから外部デバイスに接続します。

注意事項： TOUCH 1 ポートは、HDMI 1 および HDMI 2 ポート用です。
TOUCH 2 ポートは、HDMI 3 ポート用です。

RS-232 接続



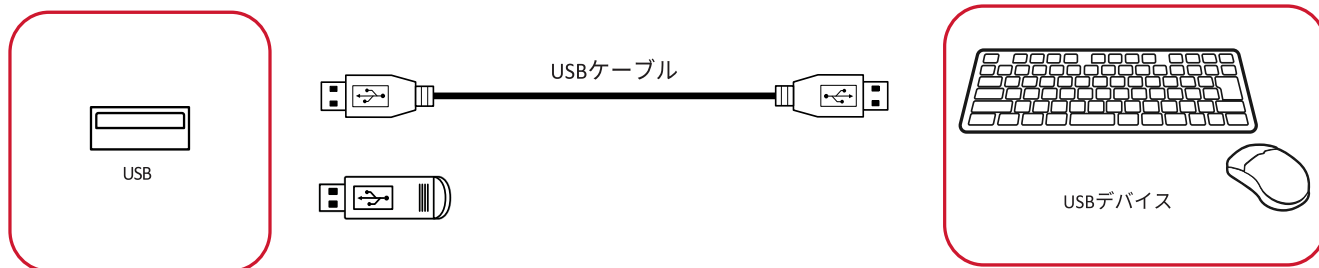
RS-232 シリアルポートケーブルを使用してディスプレイを外部コンピュータに接続すると、電源のオン/オフ、音量調整、入力選択、輝度など、特定の機能を PC からリモートで制御できます。

USB およびネットワーク接続

PC と同じように、さまざまな USB デバイスやその他の周辺機器を ViewBoard に簡単に接続できます。

USB 周辺機器

USB ケーブルで USB デバイスと ViewBoard の USB ポートに接続します。

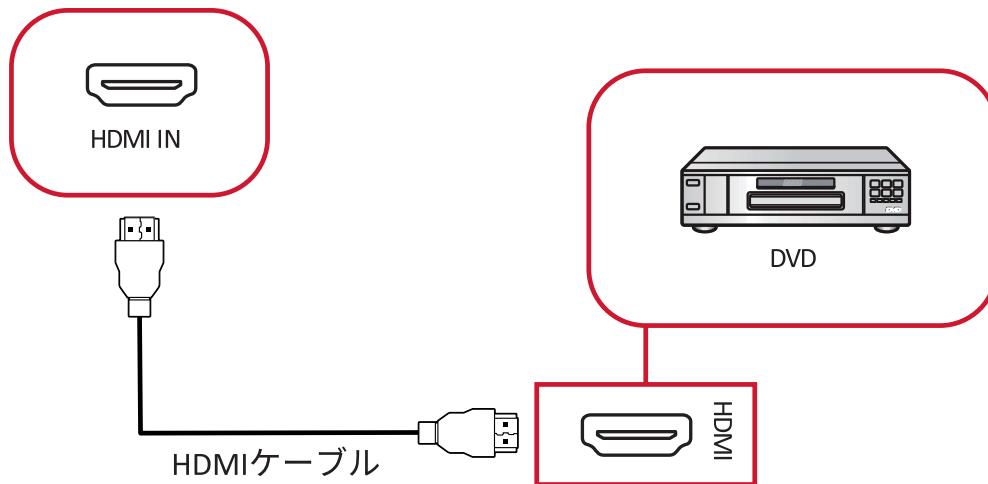


ネットワーク


ネットワークケーブルをルーターと ViewBoard の LAN ポートに接続します。



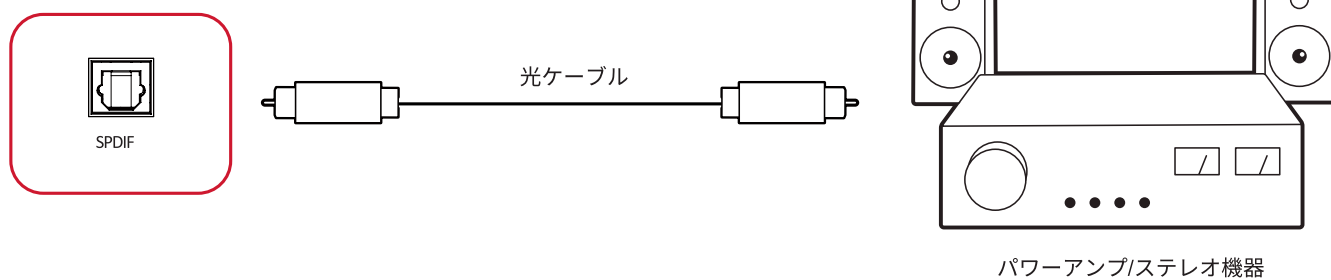
メディアプレーヤー接続




メディアプレーヤーに接続するには：

1. HDMI ケーブルを ViewBoard および周辺機器の HDMI 入力ポートに接続します。
2. ViewBoard の電源コードを差し込み、電源スイッチをオンにします。
3. ViewBoard の右側にある  電源ボタンを押して画面をオンにします。
4. リモコンの入力ボタンを押して、「HDMI」入力ソースに切り替えます。

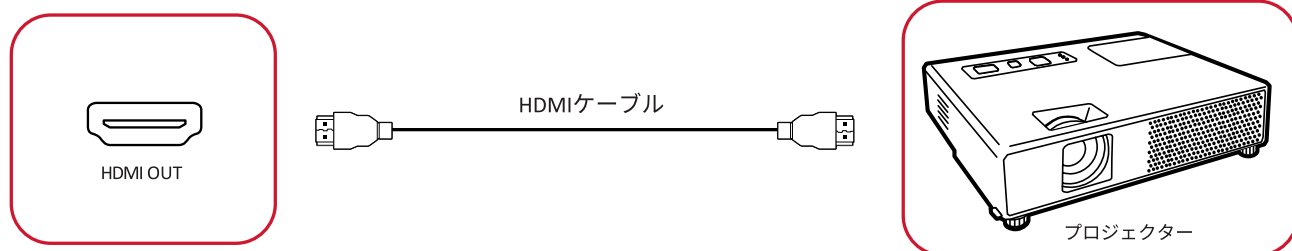
SPDIF 接続




外部サウンドシステムに接続するには：

1. SPDIF ポートからサウンドシステムの光コネクタに光ケーブルを接続します。
2. ViewBoard の電源コードを差し込み、背面の電源スイッチをオンにします。
3. ViewBoard の右側にある  電源ボタンを押して画面をオンにします。

ビデオ出力接続



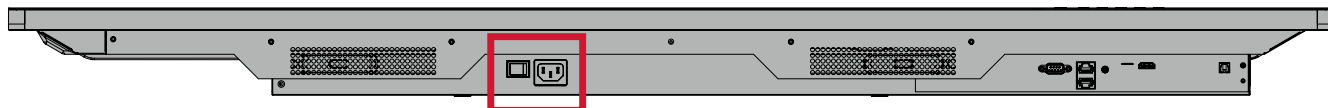
映像機器を介してビデオを出力するには：

1. HDMI ケーブルを映像機器の HDMI 入力ポートに接続し、もう一方の端を ViewBoard の HDMI 出力ポートに接続します。
2. ViewBoard の電源コードを差し込み、電源スイッチをオンにします。
3. ViewBoard の右側にある  電源ボタンを押して画面をオンにします。

ViewBoard の使用

ViewBoard の電源のオン / オフ

1. 電源コードが接続され、電源コンセントに差し込まれ、電源スイッチが「オン」の位置に切り替えます。



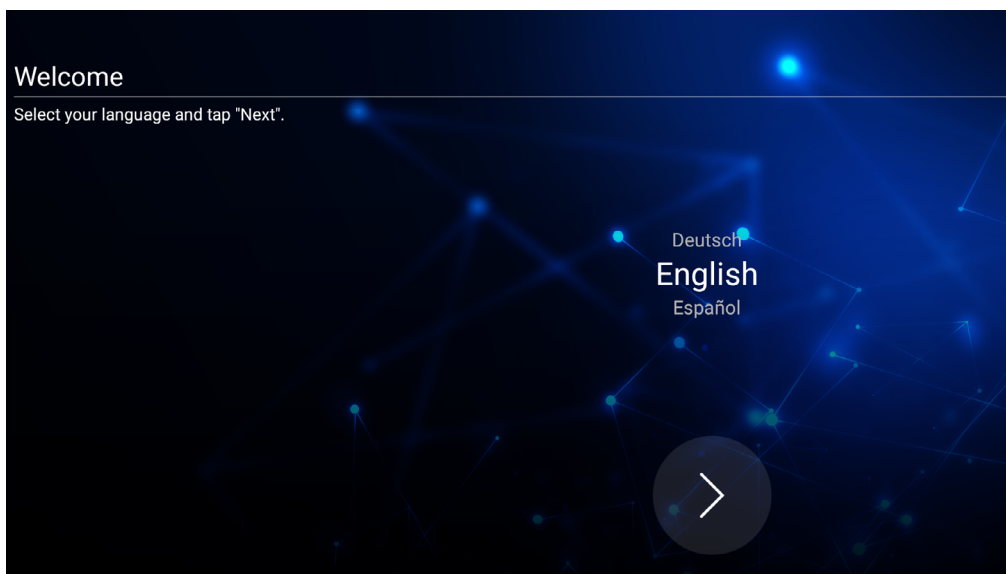
AC 電源入力とスイッチは、
本機の下部にあります。

2. 電源ボタンを押して、ViewBoard をオンにします。
3. ViewBoard をオフにするには、電源ボタンを長押しします。

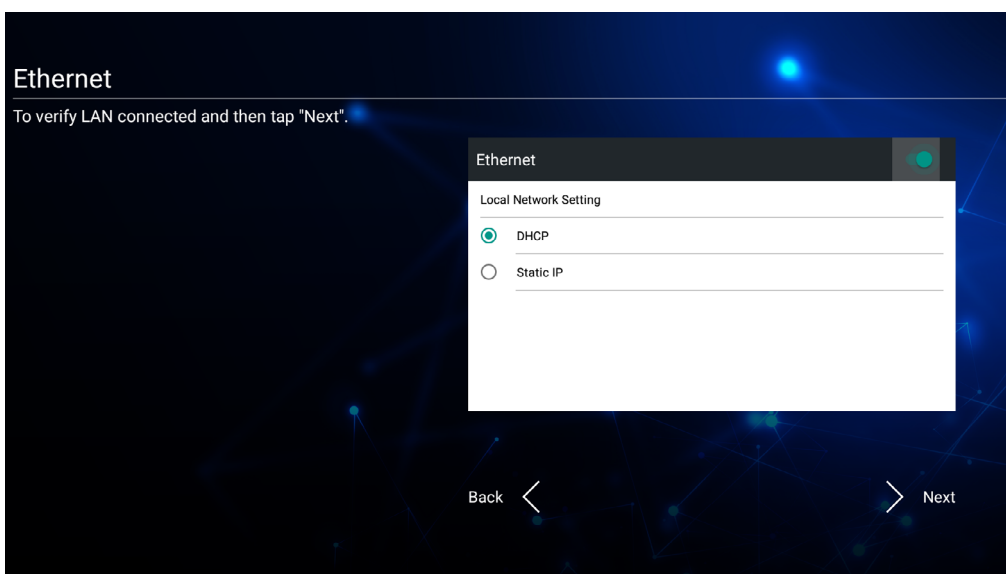
初期起動セットアップ

ViewBoard を最初にオンにすると、初期セットアップウィザードが起動します。

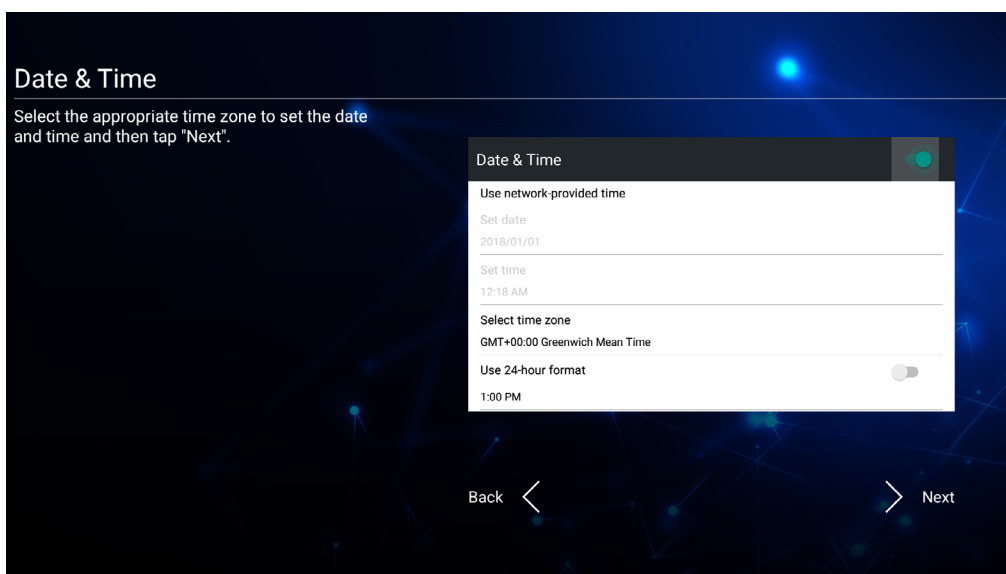
1. 言語を選択します。



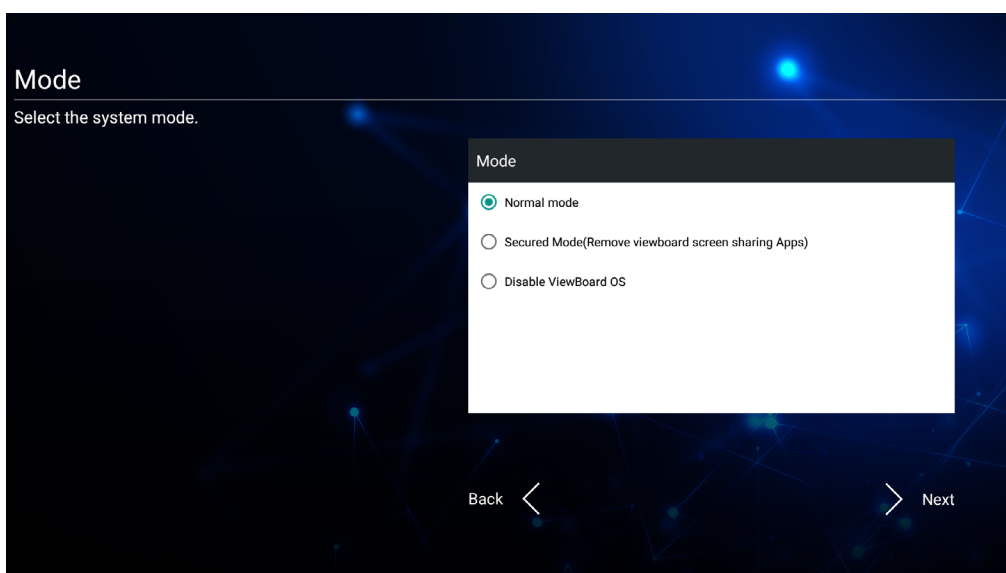
2. LAN 接続の設定と確認:



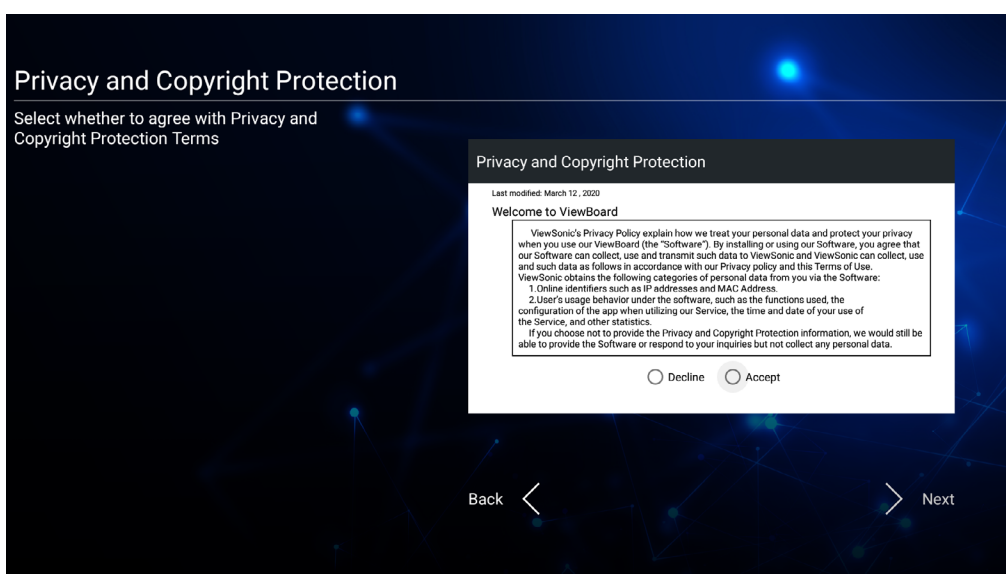
3. タイムゾーンを選択して日付と時刻を設定します。



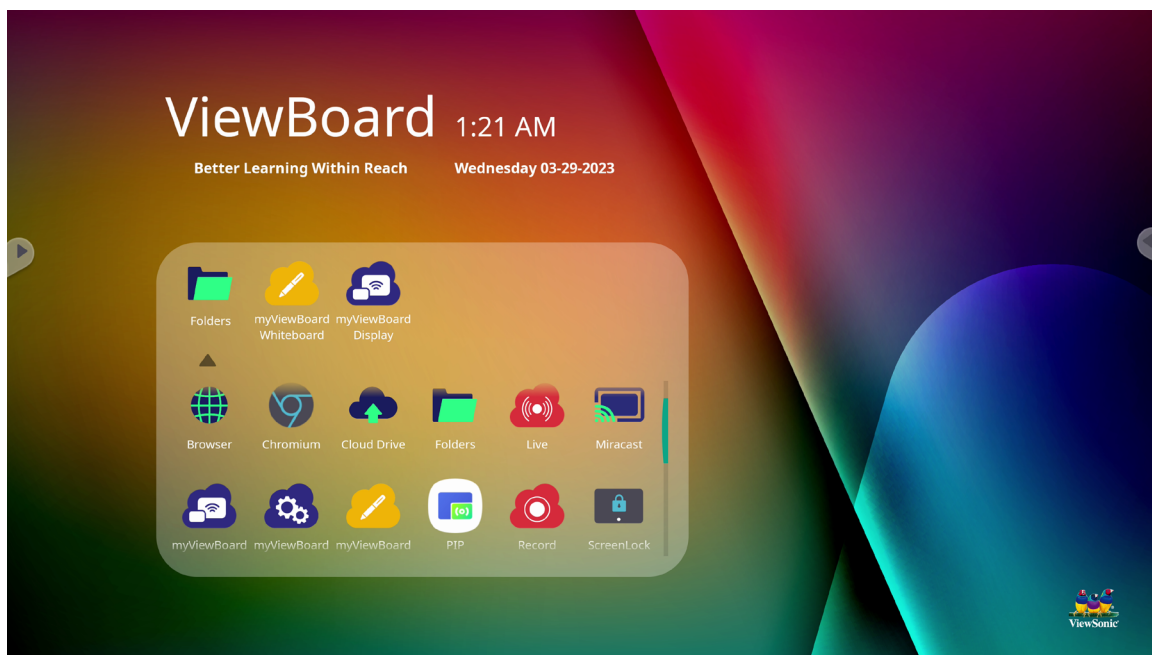
4. ご希望のシステムモードの選択:



5. プライバシーと著作権保護の条件に同意するか拒否します。

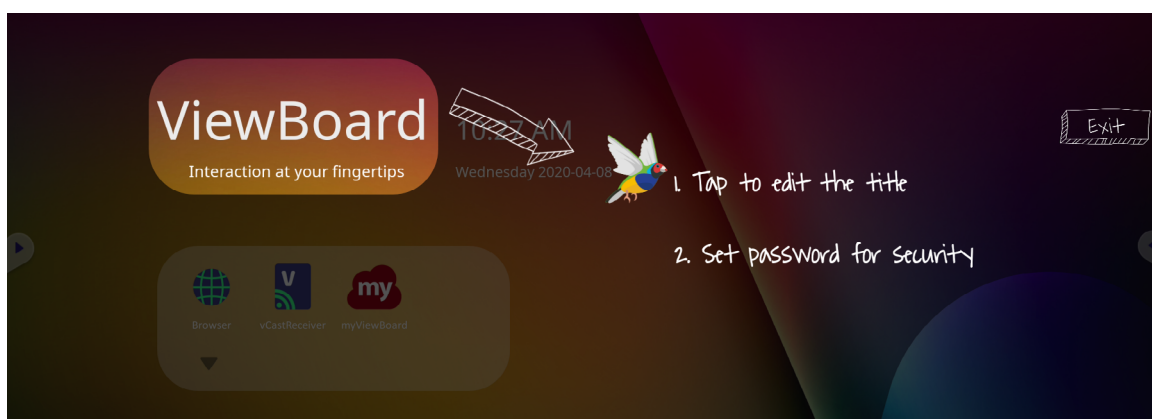


vLauncher- カスタマイズ可能なホーム画面

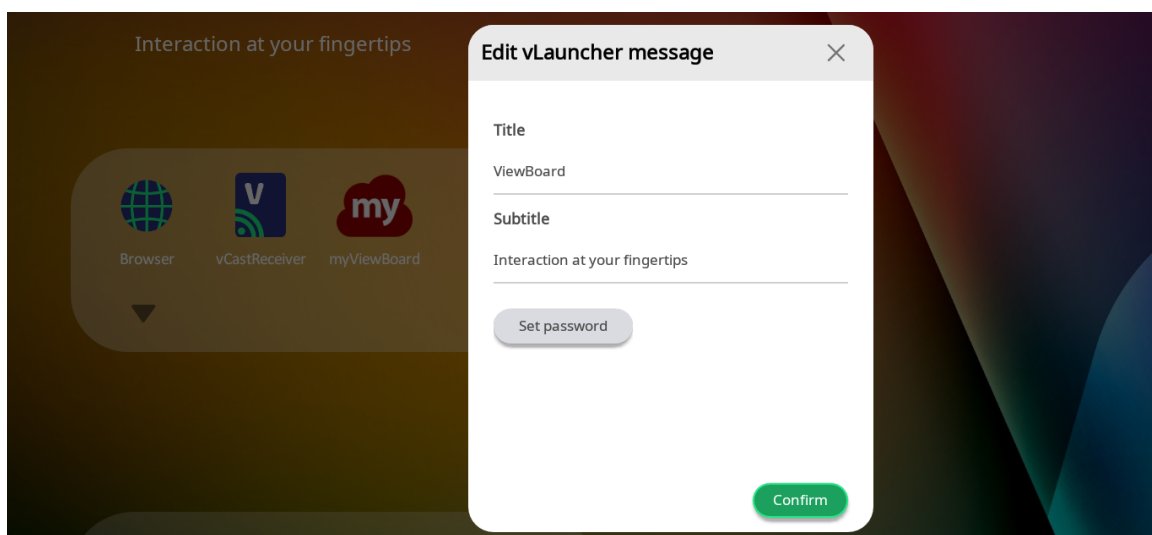


vLauncher メッセージ

vLauncher のタイトルとサブタイトルはどちらもタップすることでカスタマイズすることができます。

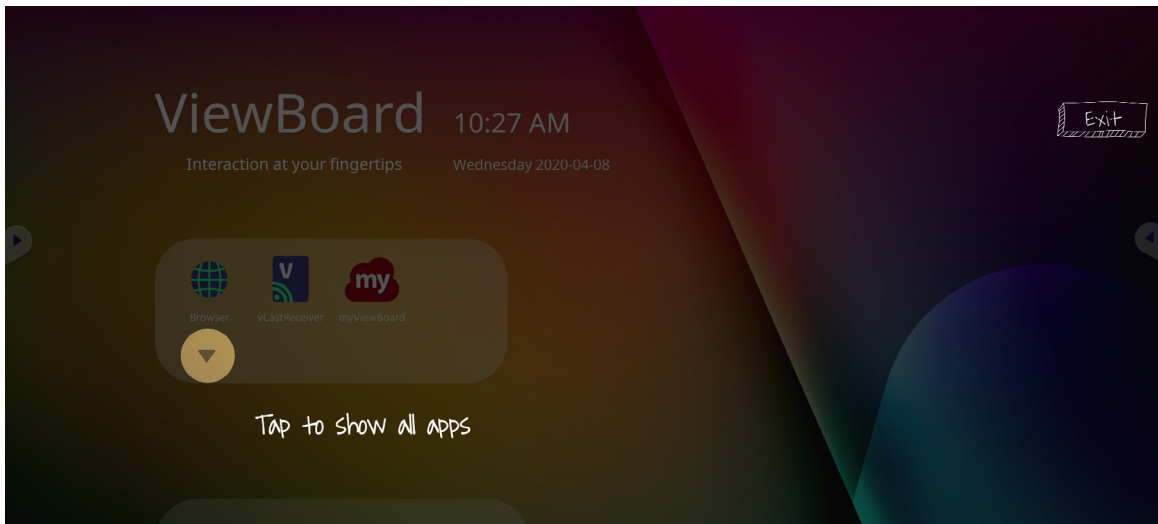


さらに、パスワードの設定をタップしてパスワードを設定できます。

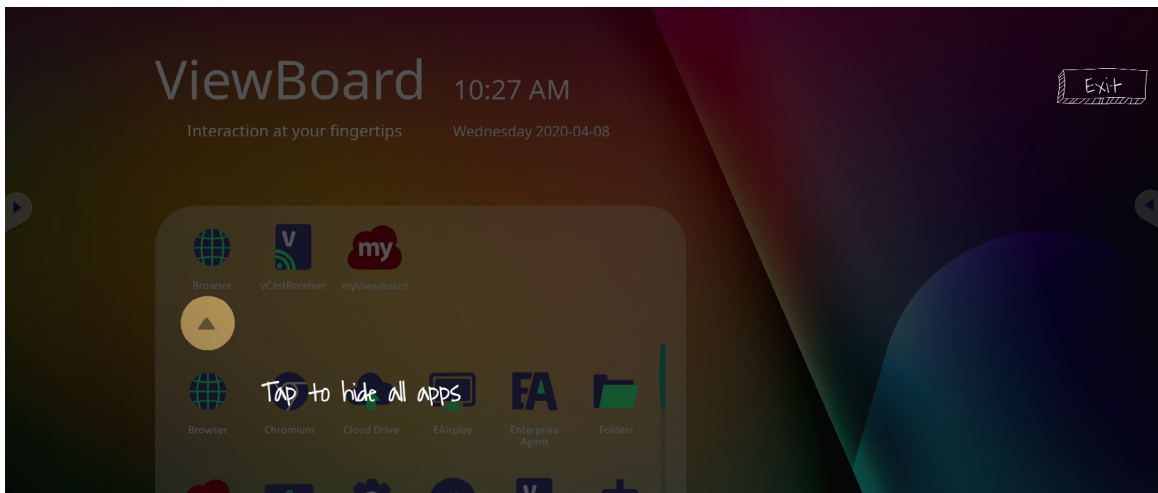


アプリケーション

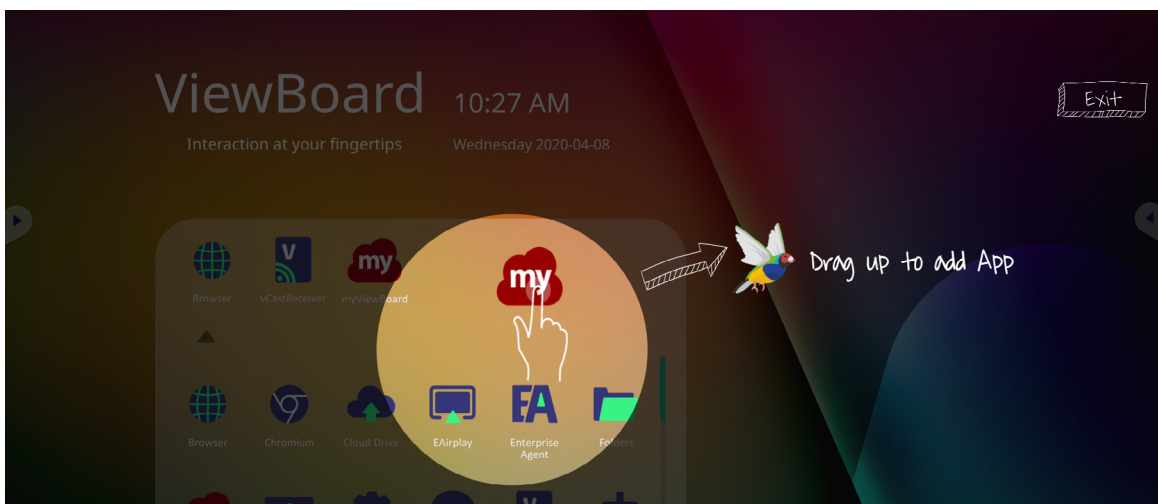
インストールされているアプリケーションはすべて、ホーム画面に表示されます。すべてのアプリケーションを表示するには、下矢印をタップします。



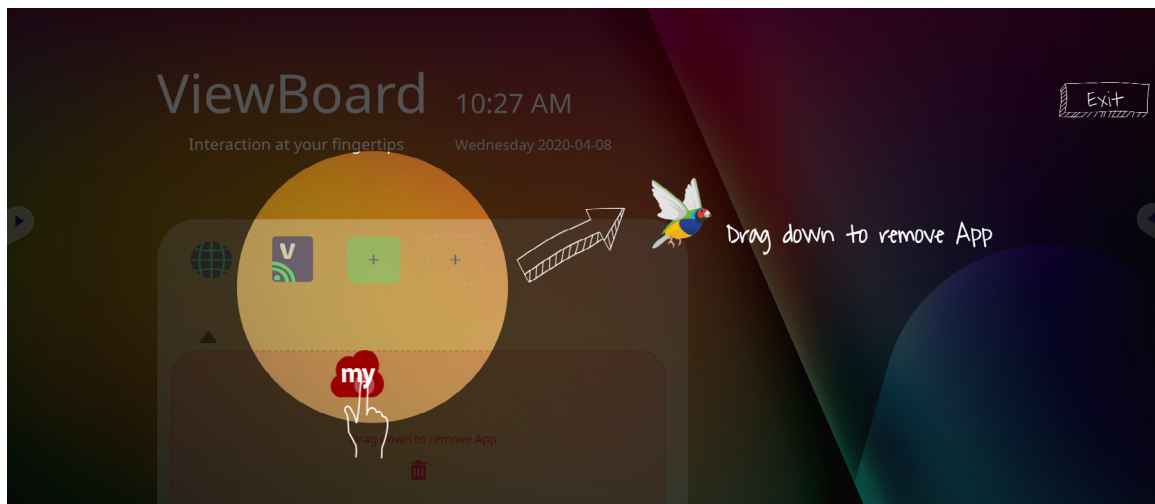
アプリケーションドローワーを非表示にするには、上矢印をタップします。



アプリケーションにショートカットを追加するには、アイコンをタップして押したまま上にドラッグします。



アプリケーションのショートカットを削除するには、アイコンをタップして押しのままドラッグします。



サイドツールバー

サイドツールバーのトリガーアイコンは、ViewBoard ホーム画面の端にあり、タブするとサイドツールバーへのアクセスが可能です。












ツールを起動するには：













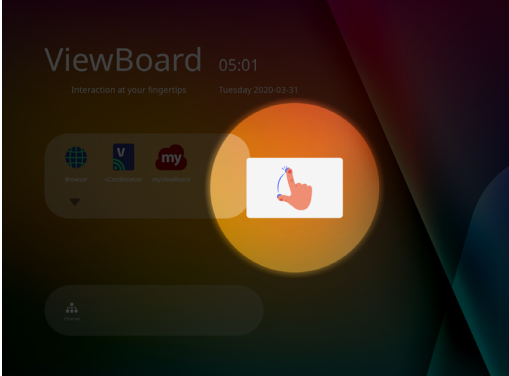
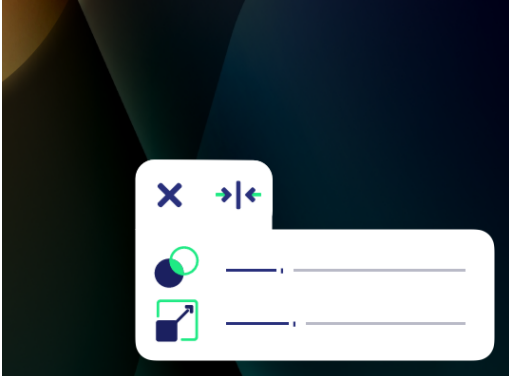
1. ツールバーのアイコンをタップします。
2. 使いたいツールアイコンをタップします。




注意事項： デフォルトのツールバー設定は、すべての入力ソースで使用することができます。ただし、設定 > 環境設定 > ツールバー設定に移動すると、オプション：(1) サイドツールバーを表示、(2) サイドツールバーを非表示、(3) すべての入力ポートソースで無効にするを調整することができます。

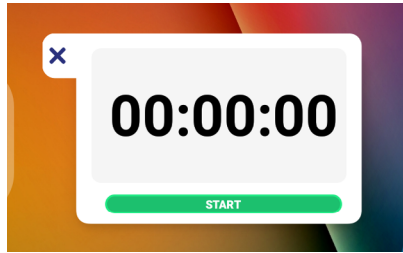
アイコン	詳細
 戻る	<p>前の操作画面に戻ります。</p> <p>注意事項:内蔵の vLauncher オペレーションシステムのみに対応します。</p>
 ホーム	<p>ホーム画面に戻ります。</p>
 アプリ	<p>インストールされているすべてのアプリケーションを表示します。</p>
 Whiteboard	<p>myViewBoard Whiteboard を起動します。</p>
 レコーダ	<p>myViewBoard Recorder ソフトウェアで画面上のコンテンツを記録、表示、および保存します。</p>

アイコン	詳細
 描画	<p>ペン、蛍光ペン、クリア、および保存オプションにアクセスします。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  ペン </div> <div style="text-align: center;">  蛍光ペン </div> <div style="text-align: center;">  消しゴム </div> <div style="text-align: center;">  元に戻す </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  やり直し </div> <div style="text-align: center;">  消去 </div> <div style="text-align: center;">  保存 </div> <div style="text-align: center;">  終了 </div> </div>
	<p><u>ペン</u> 入力ソースのオーバーレイに、お好みのインクで注釈を付けます。 注意事項:最大 10 ポイントの書き込みをサポートします。</p>
	<p><u>蛍光ペン</u> お好みのインクでマークしてハイライトします。 注意事項:最大 10 ポイントのマーキングをサポートします。</p>
	<p><u>消しゴム</u> 画面上のデジタルインクを選択的に取り除きます。</p>
	<p><u>元に戻す</u> 前のアクションを元に戻します。</p>
	<p><u>やり直し</u> 前のアクションをやり直します。</p>
	<p><u>消去</u> 画面上のすべてのデジタルインクを消去します。</p>
	<p><u>保存</u> 画面イメージと注釈を保存します。</p>
	<p><u>終了</u> 描画ツールを閉じます。</p>

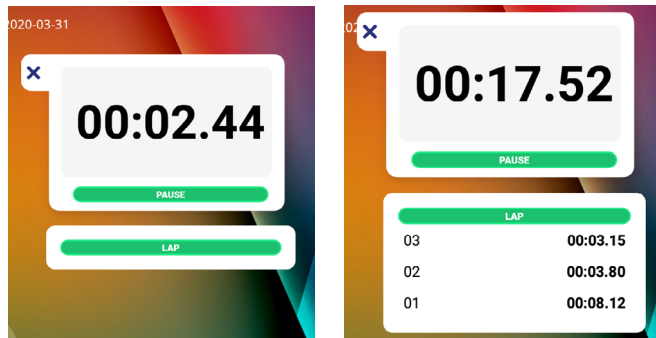
アイコン	詳細
	<p>ViewBoard サイドツールバー内のその他のアプリケーションを表示します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> 画面フリーズ</div> <div style="text-align: center;"> スポットライト</div> <div style="text-align: center;"> ストップウォッチ</div> <div style="text-align: center;"> タイマー</div> <div style="text-align: center;"> 画面キャプチャ</div> <div style="text-align: center;"> エアクラス</div> <div style="text-align: center;"> 非表示/再表示</div> </div>
<p>● ● ● その他</p>	<p>画面フリーズ </p> <p>現在表示されているコンテンツを静止画像に変換します。次に、ズームイン、ズームアウト、全画面表示に戻って終了することができます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> ズームイン</div> <div style="text-align: center;"> ズームアウト</div> <div style="text-align: center;"> フル画面</div> <div style="text-align: center;"> 終了</div> </div> <p>スポットライト </p> <p>フォーカスコンテンツゾーンを強調表示します。設定アイコンをタップして、スポットライトのサイズとアルファブレンディング効果を調整します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

ストップウォッチ 


開始をタップすると、ストップウォッチが開始されます。



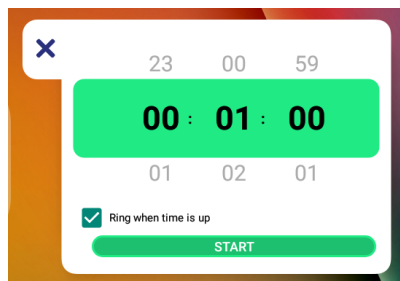
ストップウォッチはいつでも一時停止、再開、分割、またはリセットすることができます。



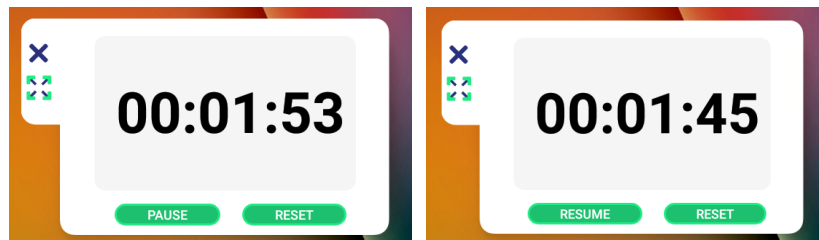
 その他





タイマー 

オプションのアラーム設定でカウントダウンタイマーにアクセスします。タッチしてスワイプして数値を調整し、開始をタップします。



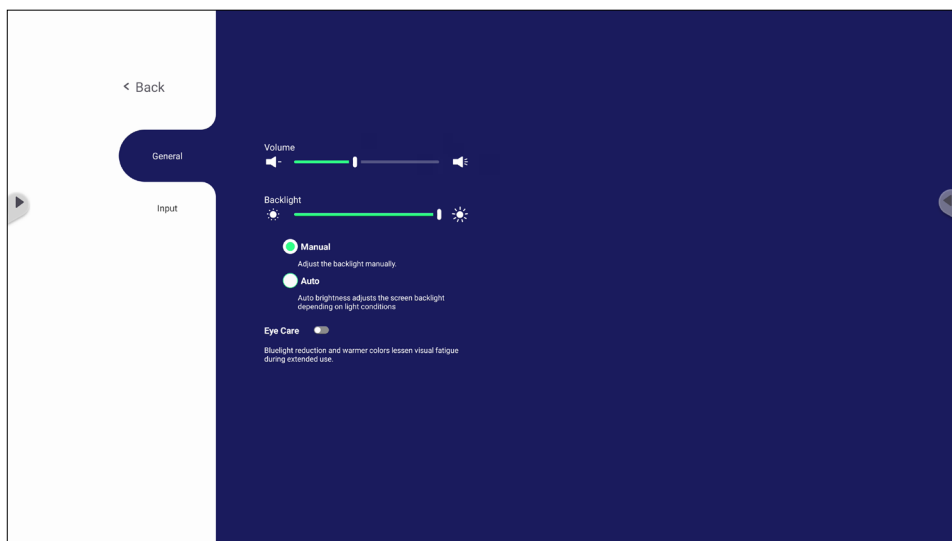
カウントダウンタイマーはいつでも一時停止、再開、またはリセットすることができます。



アイコン	詳細
<p>● ● ●</p> <p>その他</p>	<p><u>画面キャプチャ</u> </p> <p>現在の画面のスクリーンショットを取得します。</p> <p><u>エアクラス</u> </p> <p>教室で使用するための対話型の指導用ツールです。</p> <p><u>非表示 / 再表示</u> </p> <p>ツールバーのトリガーアイコンを非表示または再表示します。</p>
<p></p> <p>設定</p>	<p>一般設定にアクセスします。</p>

オンスクリーンディスプレイ - OSD メニュー

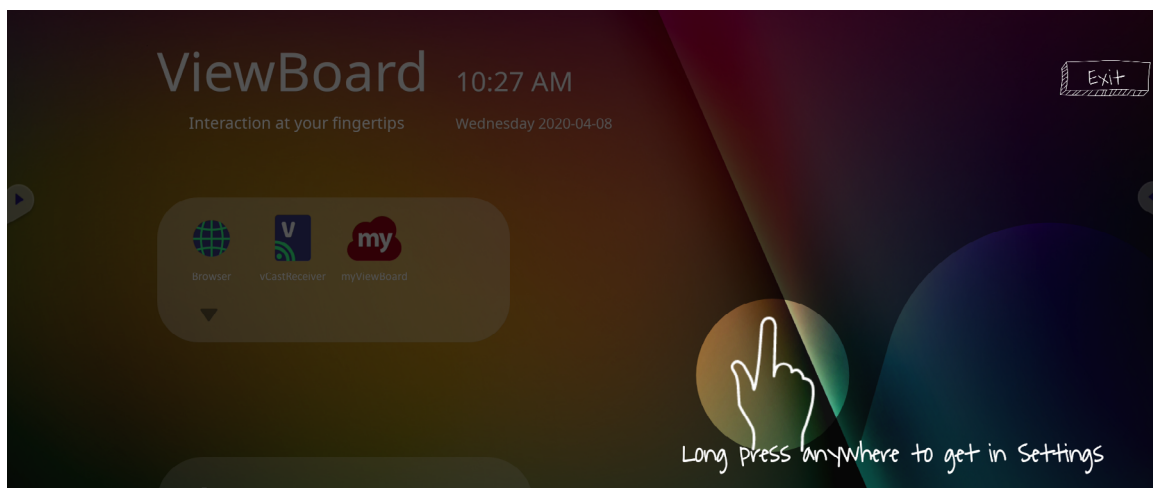
OSD メニューから一般設定と入力設定にアクセスできます。



ViewBoard には、OSD メニューを開く方法は 2 つの方法があります。

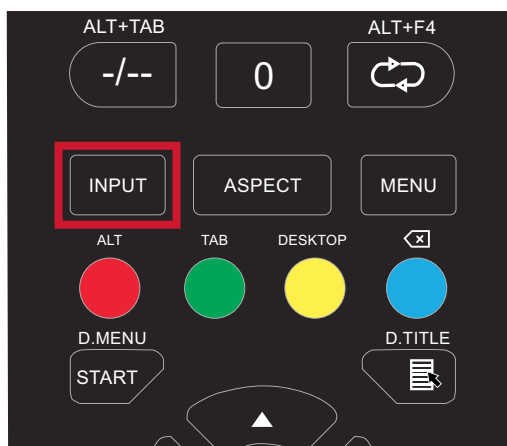
方法 1

vLauncher ホーム画面の背景の任意の場所を長押しします。

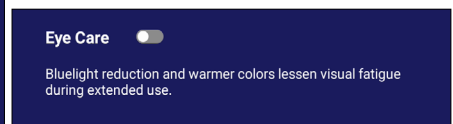
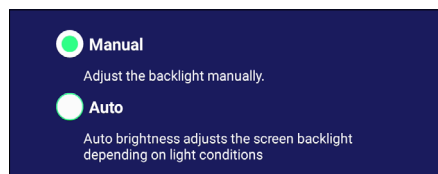
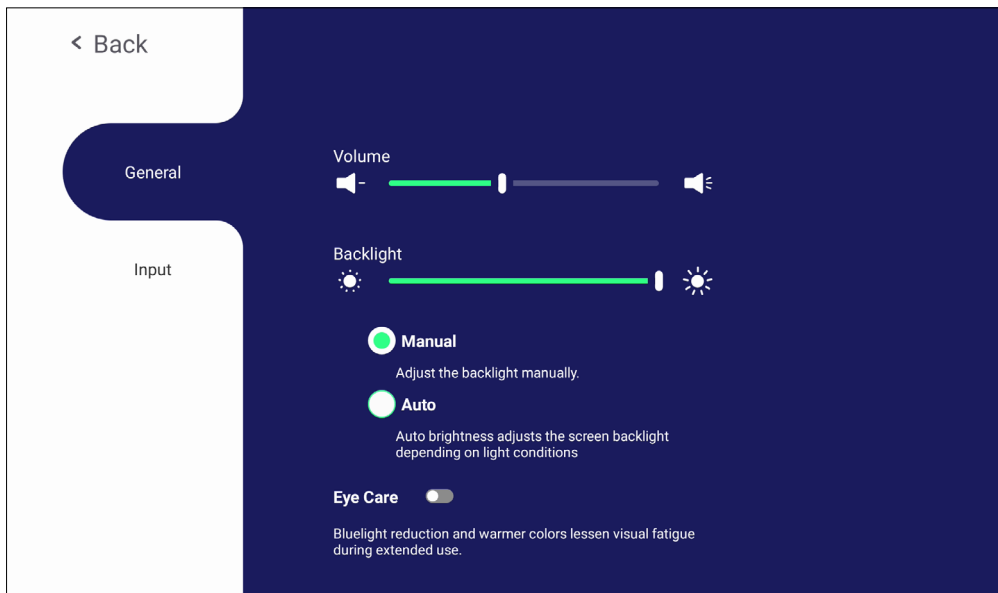


方法 2

リモコンの INPUT ボタンを押します。

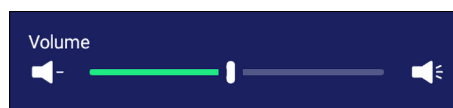


一般設定




バックライトの調整、明るさの自動調整とアイケアを有効 / 無効にするには：

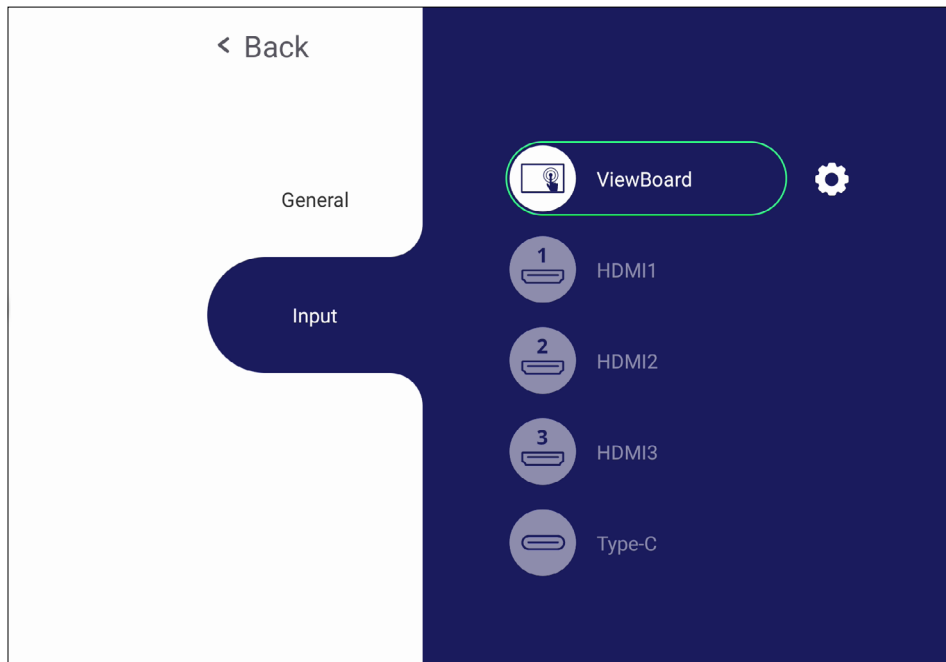
1. リモコンの INPUT を押すか、vLauncher ホーム画面の背景を長押しし、画面の一般をタッチして、一般設定メニューを表示します。
2. バックライトスライダーを直接ドラッグしてバックライト値を調整するか、オンまたはオフをタッチして機能を有効 / 無効にします。
3. リモコンの EPG/BACK を押すか、メニューの外側の領域をタッチして終了します。





音量を調整するには：

1. リモコンの INPUT を押すか、vLauncher ホーム画面の背景を長押しし、画面の一般をタッチして、一般設定メニューを表示します。
2. 音量スライダーを直接ドラッグして値を調整します。
3. リモコンの  ボタンを押すと、ミュート機能を有効または無効にします。
4. リモコンの EPG/BACK ボタンを押すか、メニューの外側の領域をタッチして終了します。

入力設定



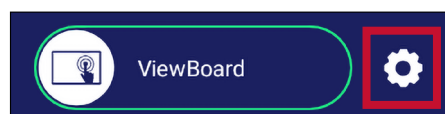
入力ソースを選択するには：

1. リモコンの INPUT を押すか、正面コントロールパネルの設定ボタン  を押すか、ツールバーの  設定アイコンを押して、入力設定メニューを表示します。
2. ▼/▲/◀/▶ を押して、必要な入力ソースを選択します。

注意事項： PC ソースは、スロットイン PC が接続されている場合にのみ表示されます。

3. リモコンの ENTER を押すか、入力ソースをタッチします。
4. リモコンの EPG/BACK を押すか、メニューの外側の領域をタッチして終了します。

注意事項： 入力ソースの設定を調整するには、下図のように入力ソースの横にある設定アイコンをタッチしてください。




設定 - HDMI および USB Type-C 入力ソース

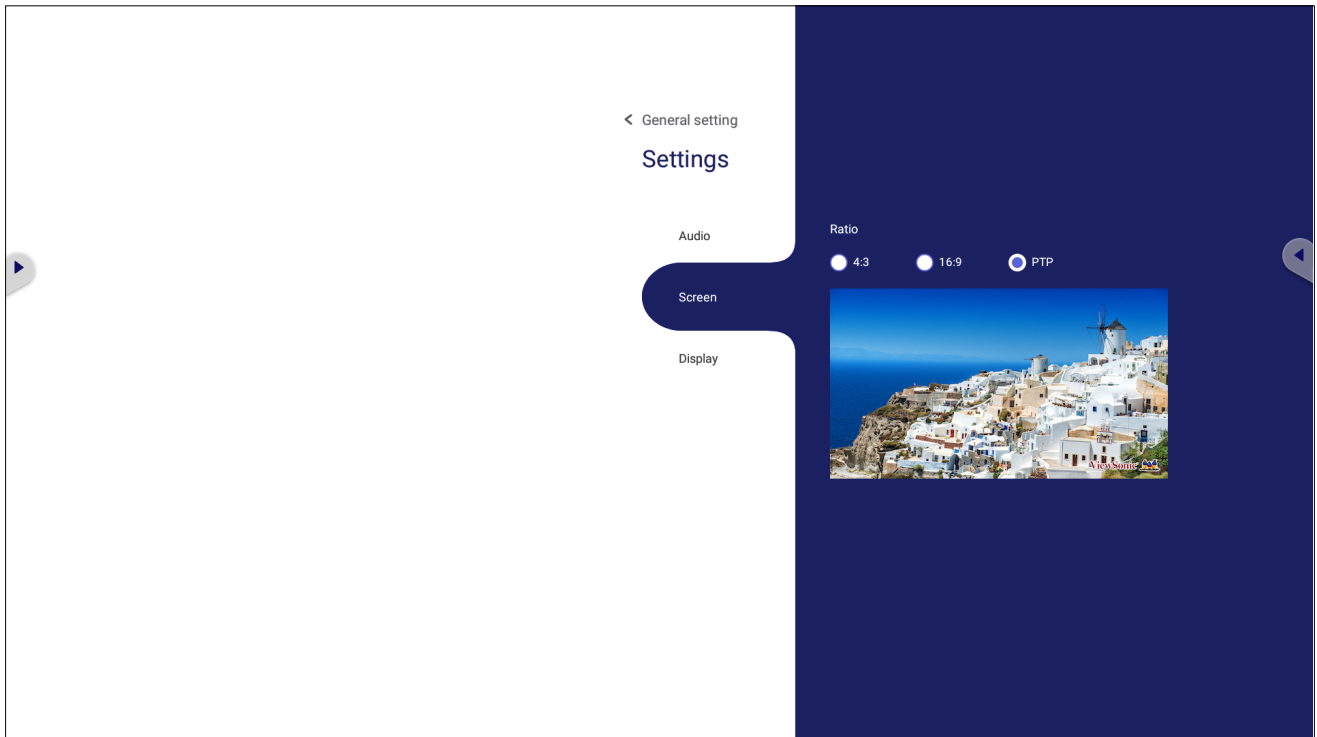
リモコンの MENU を押すか、入力設定の入力ソースの横にある設定アイコンを選択して、設定メニューが表示されます。設定には、音声、画面、ディスプレイが含まれます。

音声設定



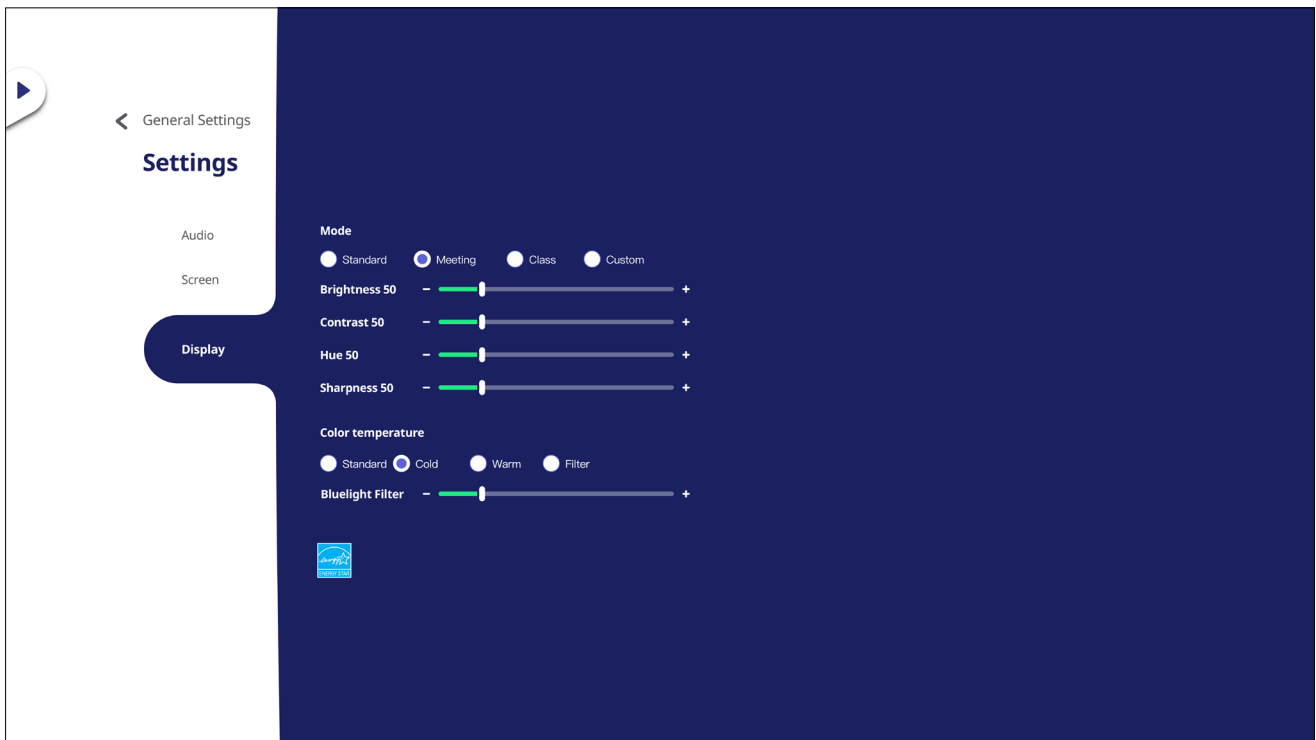
1. リモコンの ▼ を押して、音声メニューを選択します。
2. リモコンの ▼/▲/◀/▶ を押すか、オプションを直接タッチして選択します。
3. 音量、低音、高音、バランスを直接調整するには、各値をタッチして調整します。**ENTER** を押してリモコンを使ってオプションを調整します。
4. ミュートスライダーを直接タッチしてミュートを有効 / 無効にするか、リモコンの  ミュートボタンを押します。
5. リモコンの EPG/BACK を押すか、メニューの外側の領域をタッチして終了します。

画面設定



1. リモコンの ▼ を押して、Screen (画面) メニューを選択します。
2. リモコンの ▼/▲/◀/▶ を押すか、オプションを直接タッチして選択します。
3. 各値を直接タッチするか、ENTER を押してリモコンを使って設定を調整します。
4. リモコンの EPG/BACK を押すか、メニューの外側の領域をタッチして終了します。

ディスプレイ設定



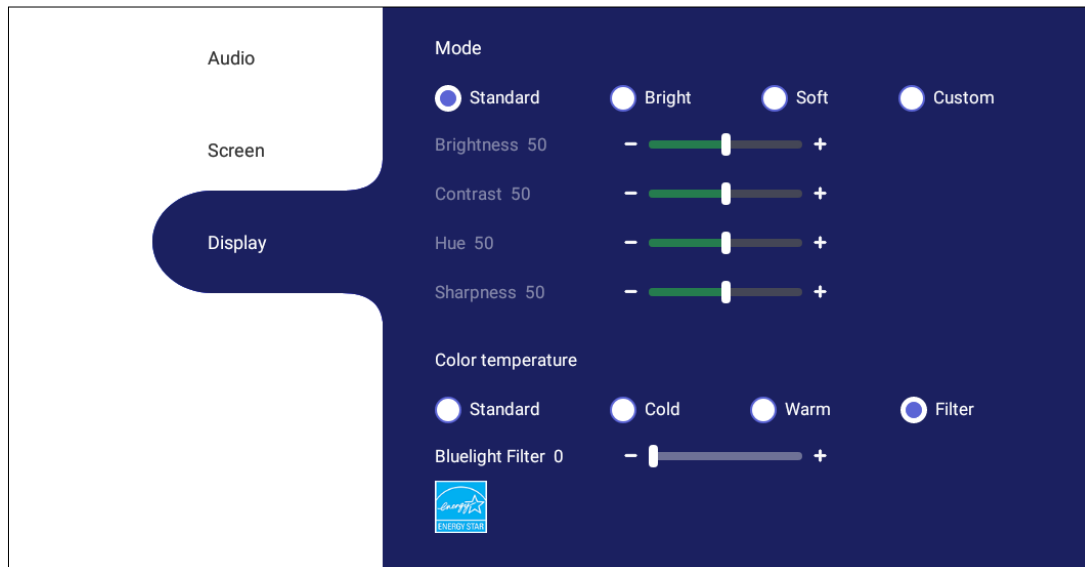
1. リモコンの ▼ を押して、ディスプレイメニューを選択します。
2. リモコンの ▼/▲/◀/▶ を押すか、オプションを直接タッチして選択します。
3. 輝度、コントラスト、色相、シャープネスを直接調整するには、各値をタッチして調整するか、ENTER を押してリモコンを使ってオプションを調整します。
4. ブルーライト軽減スライダーを直接ドラッグして、ブルーライトの値を調整します。



5. リモコンの EPG/BACK を押すか、メニューの外側の領域をタッチして終了します。

ブルーライト軽減と目の健康

ブルーライト軽減は高エネルギー可視光線を遮断し、より快適な視聴体験を実現します。



注意事項： TÜV Rheinland ブルーライト軽減認定を満たすには、ディスプレイ設定を次のようにする必要があります。

- モード：標準
- 輝度とコントラスト：50
- 色温度：フィルター
- ブルーライト軽減：0

休憩の計算

画面を長時間表示する場合は、定期的に休憩をはさまれることをお勧めします。約 1 時間の連続視聴の後、少なくとも 10 分の短い休憩をお勧めします。

より短い、より頻繁な休憩を取ることは、頻度の少ない長い休憩よりも一般的に有益です。

集中疲労 - 20-20-20 ルール

常に画面を見ることでの眼精疲労のリスクを減らすには、少なくとも 20 分ごとに画面から目をそらし、少なくとも 20 フィート (6m) 離れた遠くの物体を、少なくとも 20 秒間注視します。

遠くの物を見る

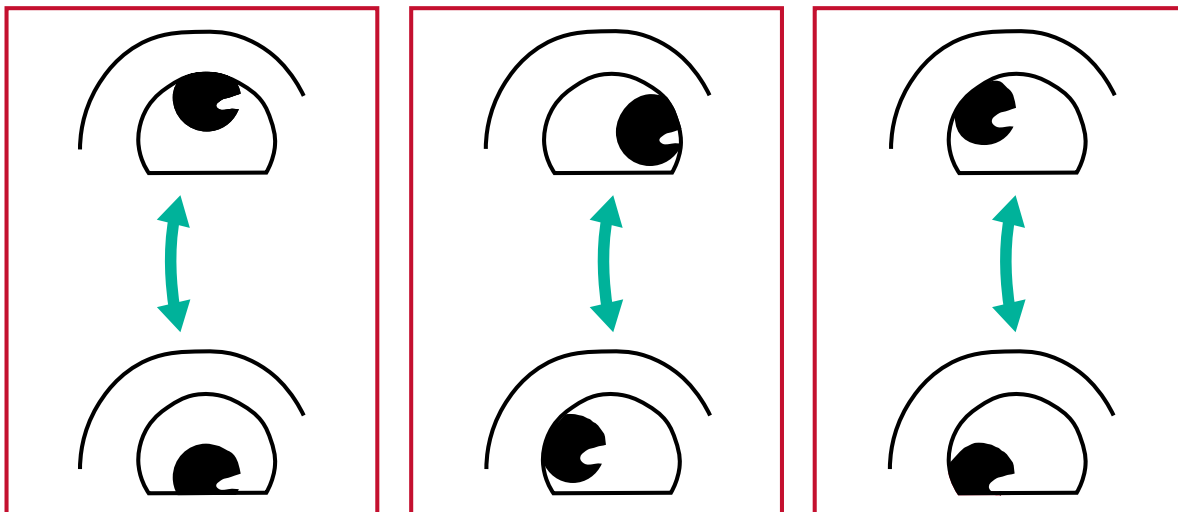
休憩を取りながら、10 ～ 15 秒間離れた場所にある物体に焦点を合わせ、10 ～ 15 秒間近くのを注視することで、目の疲れや乾燥をさらに軽減できます。これを最大 10 回繰り返します。このエクササイズは、長時間のコンピューター作業の後に目の焦点が合う能力が「ロックアップ」するリスクを軽減します。

目と首の運動

目の運動

目の運動は目の疲れを最小限に抑えるのに役立ちます。ゆっくりと目を左、右、上、下に回転させます。必要な回数だけ繰り返します。

目の運動



(1) 体と頭を直立させます。目を上に動かして天井を見てから、下に動かして床を見てください。

(2) 目を左にゆっくり動かして、両側のオブジェクトを見てください。

(3) 目を動かして、右上の方向、次に右下の方向のオブジェクトを確認します。上方向と下方向について繰り返します。

首の運動

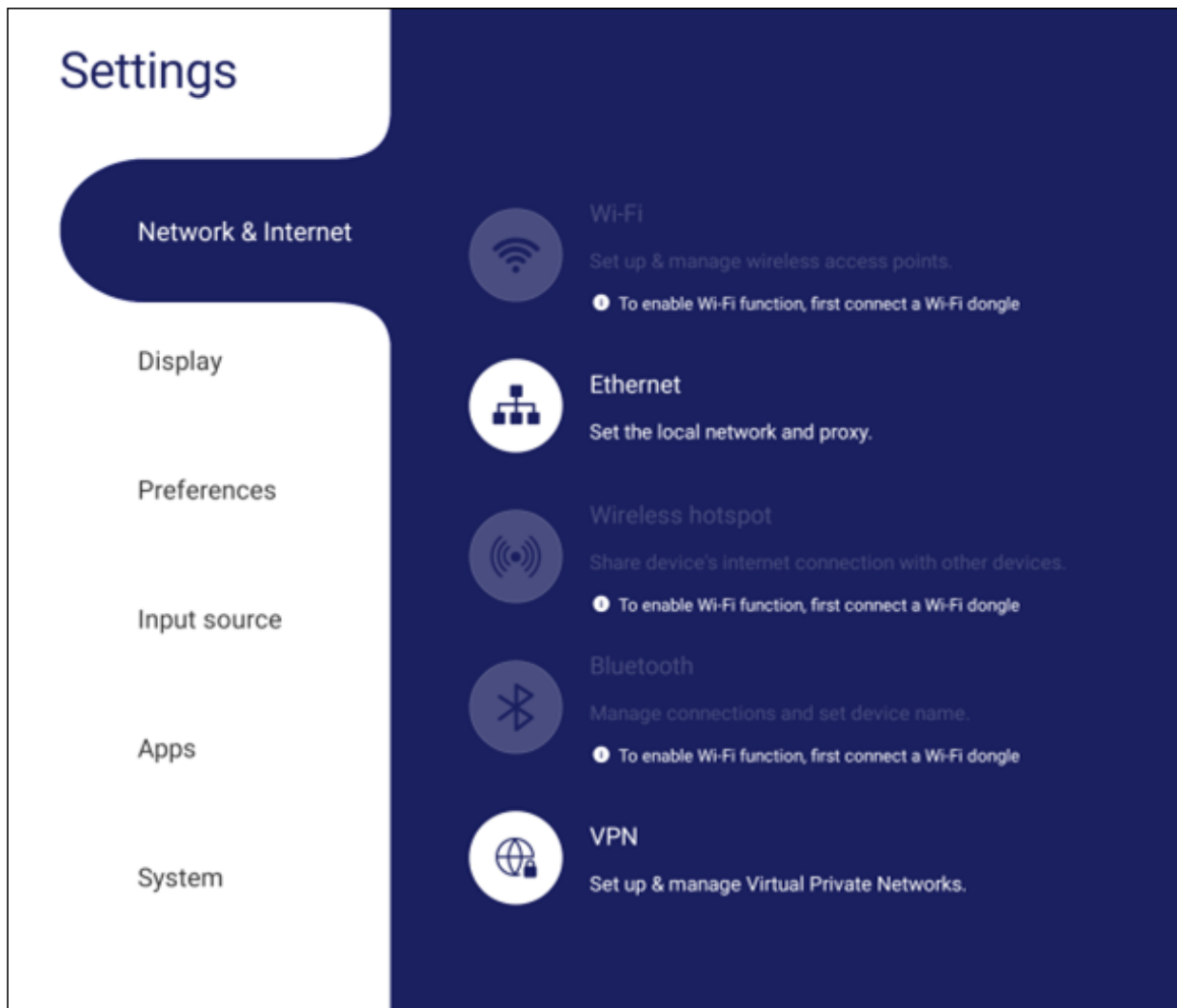
首の運動も目の疲れを最小限に抑えるのに役立ちます。腕をリラックスして脇にぶら下げ、少し前に曲げて首を伸ばし、頭を右および左に向けます。必要な回数だけ繰り返します。

設定 - ViewBoard プレーヤー

IFP 電子黒板が ViewBoard 入力ソースにある場合は、リモコンの MENU を押すか、OSD メニューの入力設定の横にある設定アイコンをタップして、設定メニューに入ります。

ネットワーク & インターネット

現在のネットワーク接続ステータスの確認、Wi-Fi、イーサネット、Bluetooth、および VPN の設置および管理、ワイヤレスホットスポットを共有します。



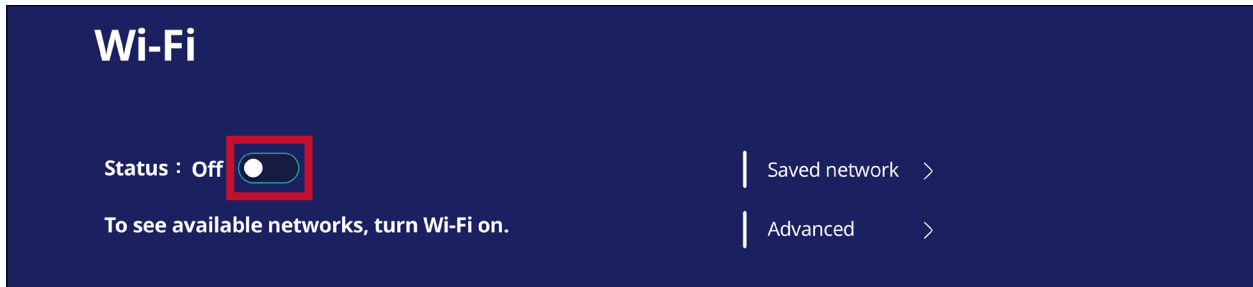
注意事項：

- Wi-Fi、ワイヤレスホットスポット、Bluetooth の設定は、別売オプションの Wi-Fi モジュールが取付けされている場合のみに表示されます。
- Wi-Fi が有効になると、イーサネットは自動的に無効になります。イーサネットが有効になると、Wi-Fi は自動的に無効になります。ワイヤレスホットスポットが有効になっている場合、Wi-Fi は無効になりません。
- ワイヤレスホットスポットが有効になっている場合、デバイスはインターネットに接続することができません。

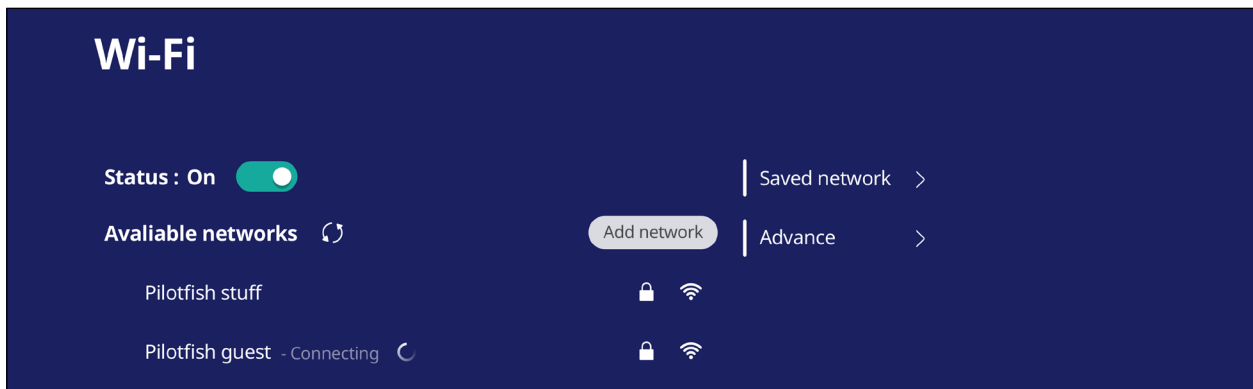
Wi-Fi

ワイヤレスアクセスポイントをセットアップおよび管理します。

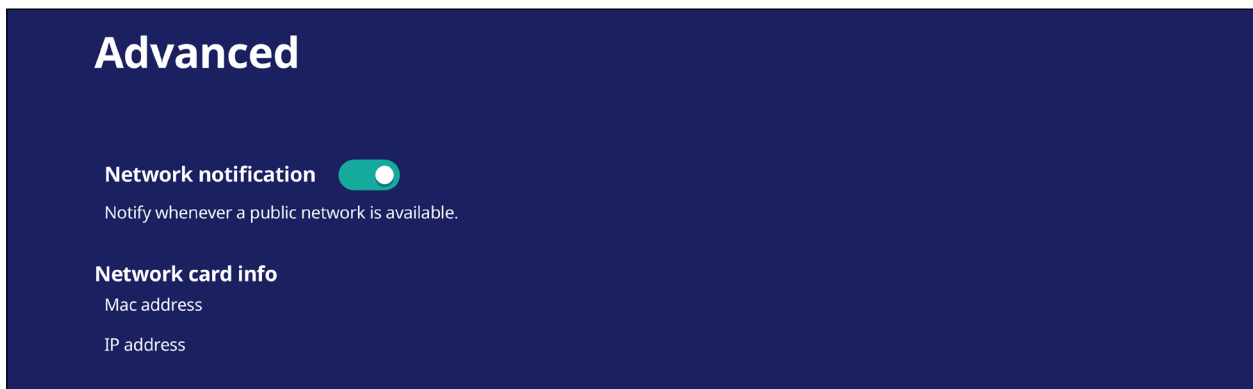
- トグルボタンをタップして、Wi-Fi をオン またはオフにします。



- オンにすると、次の操作を行うことができます。ネットワークを追加、保存済のネットワークの表示、ネットワークリストの更新、または詳細設定の表示。



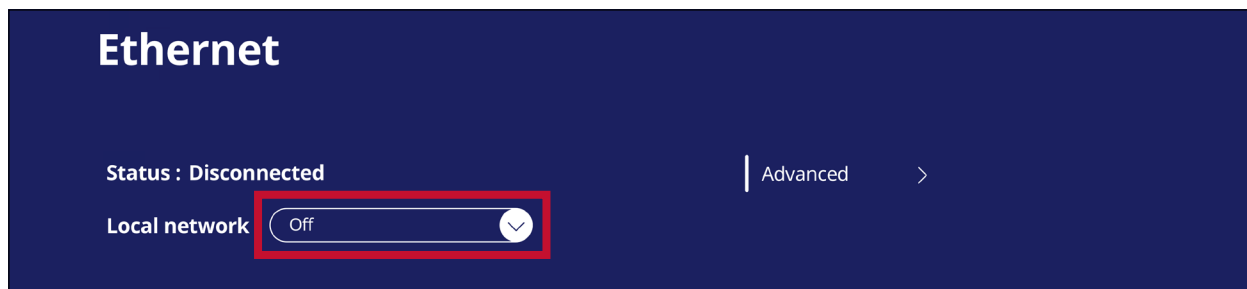
- 詳細設定では、ネットワーク通知のオンとオフを切り替えて、ネットワークカード情報を表示することができます。



イーサネット

ローカルネットワークとプロキシを設定します。

- ドロップダウンメニューをタップして、イーサネットを接続 / 切断します。



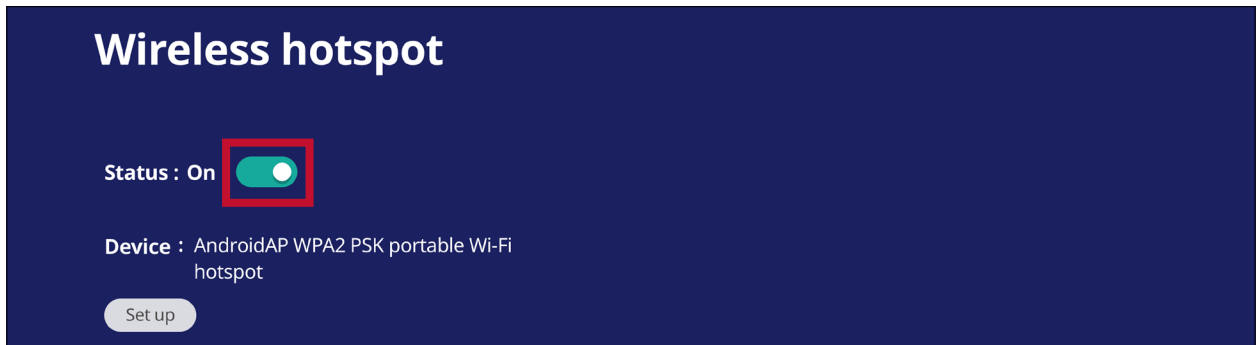
- ローカルネットワークとプロキシの設定も調整できます。



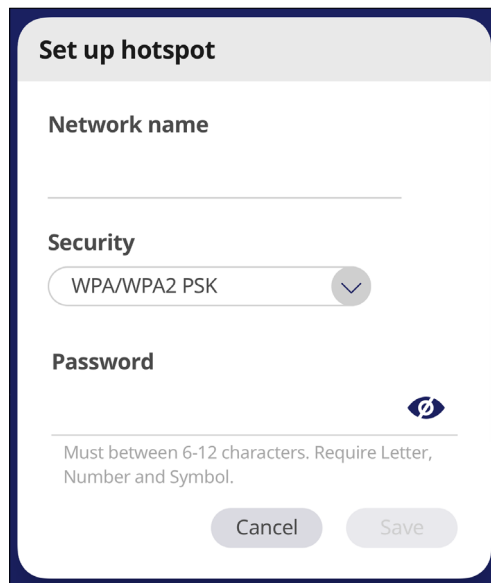
ワイヤレスホットスポット

インターネット接続を設定して他のデバイスと共有します。

- トグルボタンをタップして、ワイヤレスホットスポットをオンまたはオフにします。



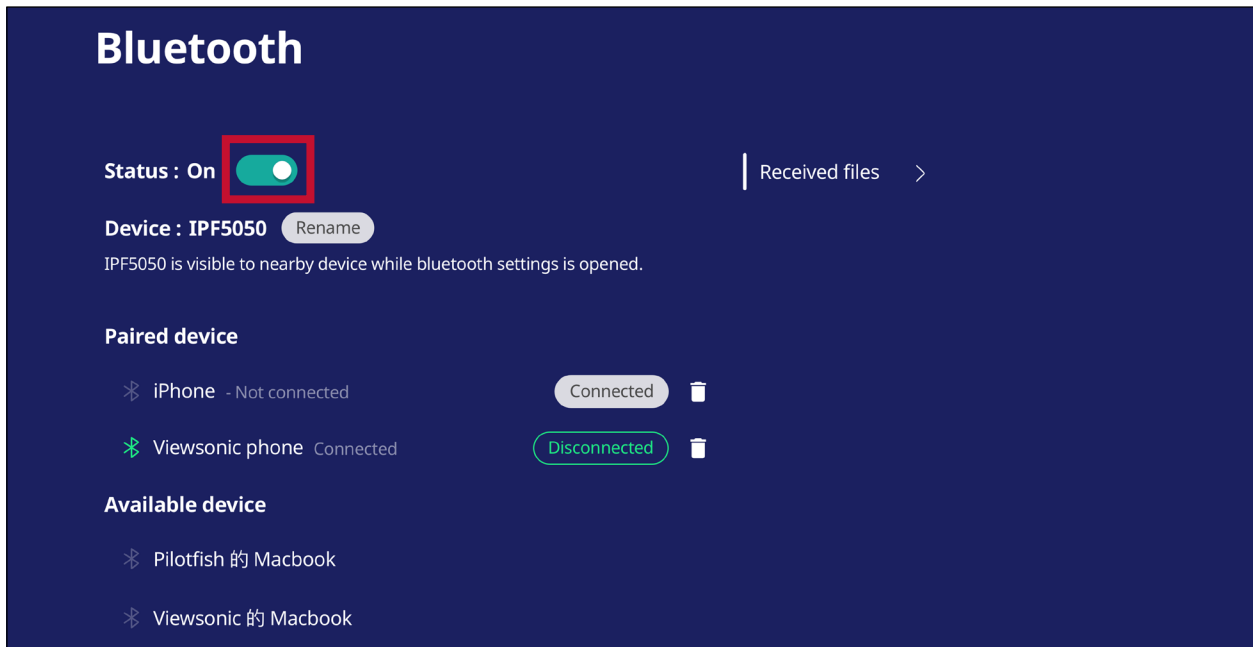
- 設定をタップして、ネットワーク名、セキュリティ、およびパスワードを設定します。



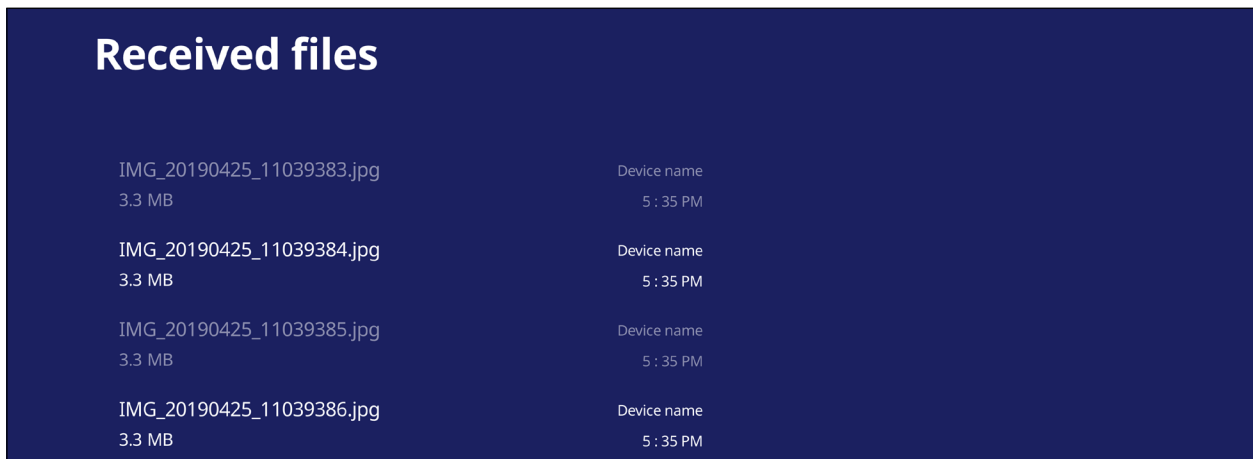
Bluetooth

Bluetooth 接続を管理し、デバイス名と検出可能性を設定します。

- トグルボタンをタップして、Bluetooth をオンまたはオフにします。
オンにすると、ユーザーは一覧表示されたデバイスを選択してペアリングして接続したり、デバイスの名前を変更したり、デバイスを削除したり、ファイルを受信したりできます。

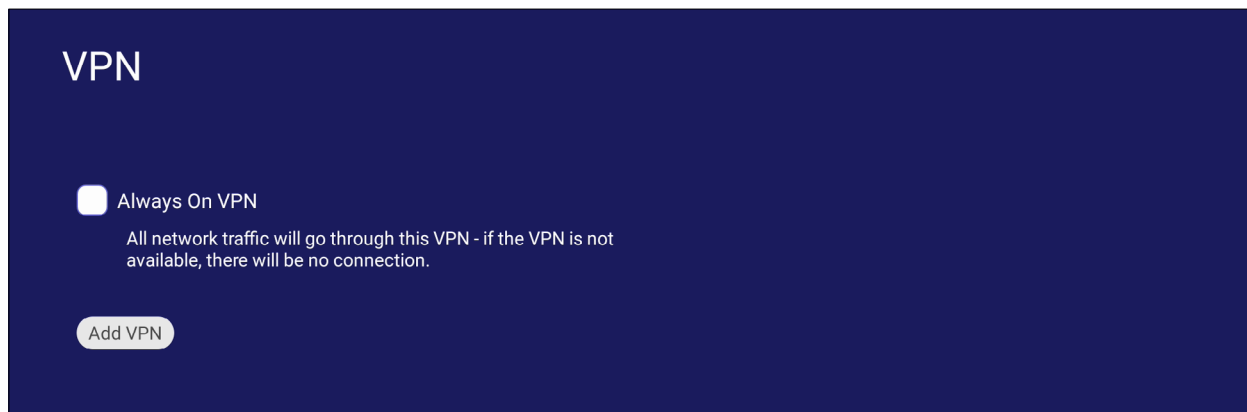


- 受信したファイルをタップして、受信したすべてのファイルを表示します。



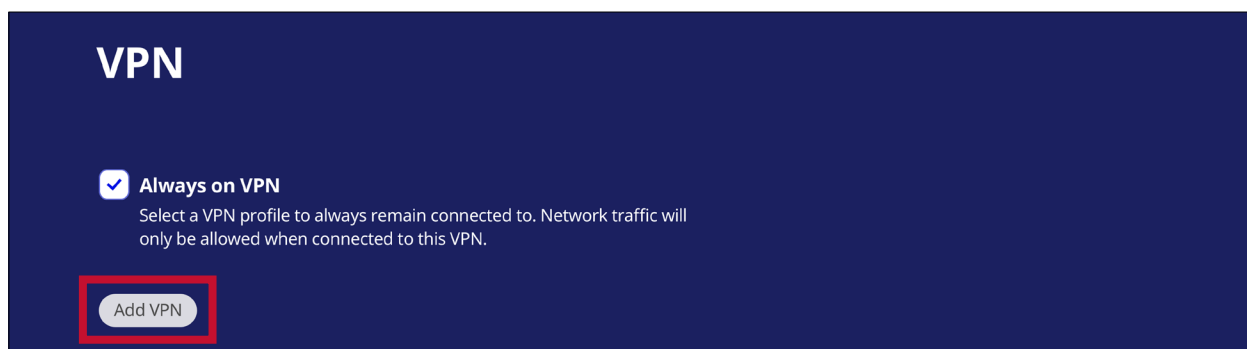
VPN

仮想プライベートネットワークを設定および管理します。

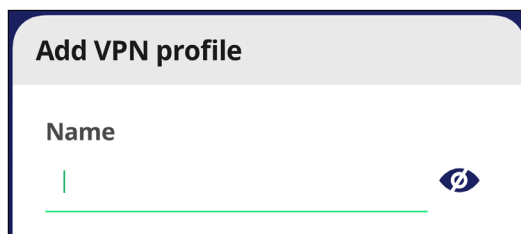


VPN プロファイルを作成するには:

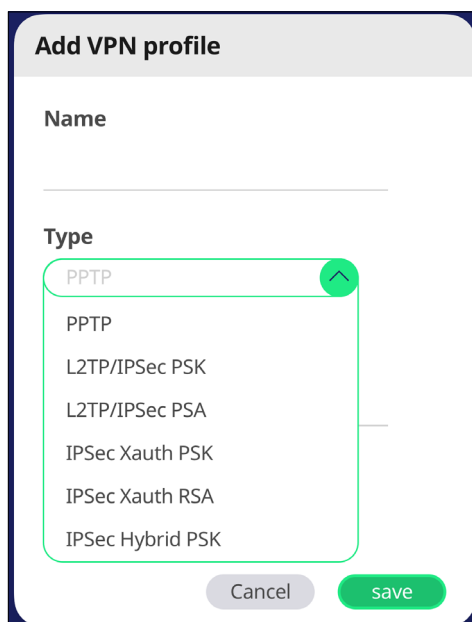
1. 以下に進みます: 設定 > ワイヤレス & ネットワーク > VPN、VPN の追加をタップします。



2. 名称を入力します。

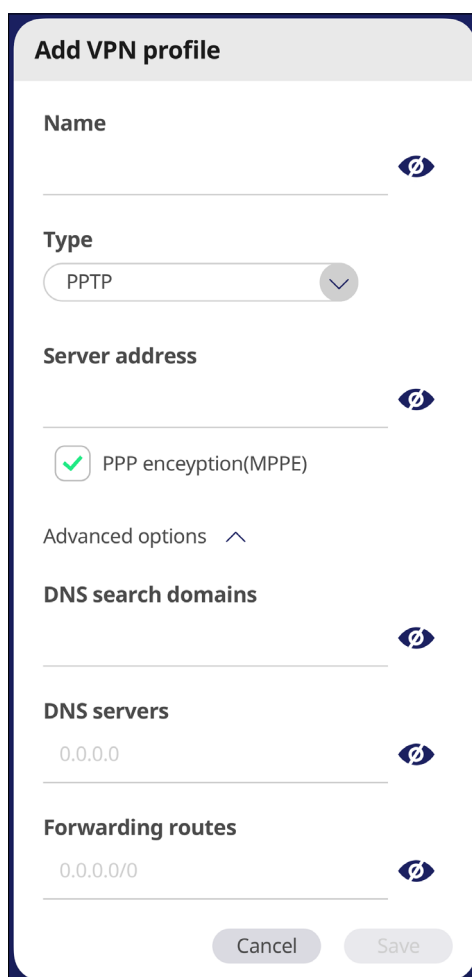
A screenshot of the 'Add VPN profile' dialog box. The title 'Add VPN profile' is at the top. Below it, there is a label 'Name' followed by a text input field. To the right of the input field is a toggle switch icon. The input field is currently empty.

3. VPN タイプを選択します。



The screenshot shows the 'Add VPN profile' dialog box. The 'Name' field is empty. The 'Type' dropdown menu is open, showing a list of options: PPTP (selected), L2TP/IPSec PSK, L2TP/IPSec PSA, IPSec Xauth PSK, IPSec Xauth RSA, and IPSec Hybrid PSK. At the bottom, there are 'Cancel' and 'save' buttons.

4. PPP 暗号化を有効 / 無効にするか、詳細オプションを表示するかを選択します。



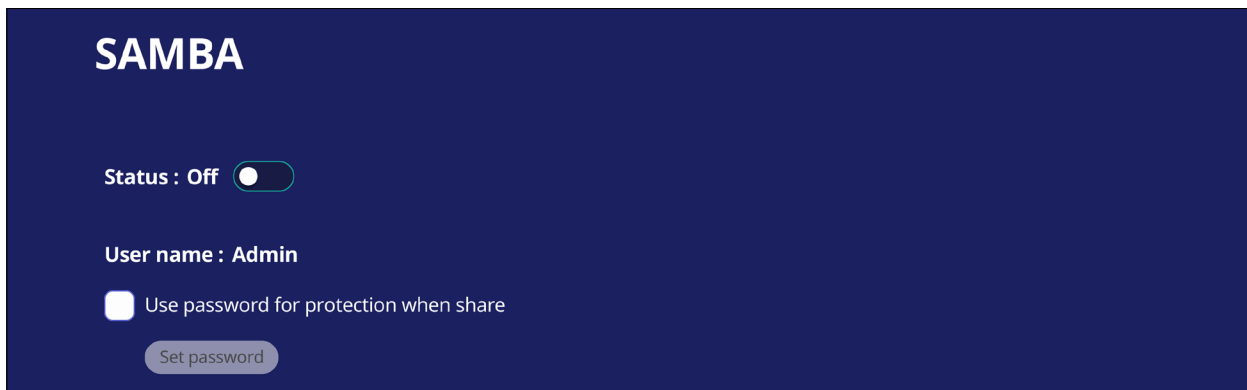
The screenshot shows the 'Add VPN profile' dialog box with the 'Type' dropdown set to 'PPTP'. The 'Server address' field is empty. The 'PPP encryption(MPPE)' checkbox is checked. The 'Advanced options' section is expanded, showing 'DNS search domains', 'DNS servers', and 'Forwarding routes' fields, all of which are empty. At the bottom, there are 'Cancel' and 'Save' buttons.

ファイル共有

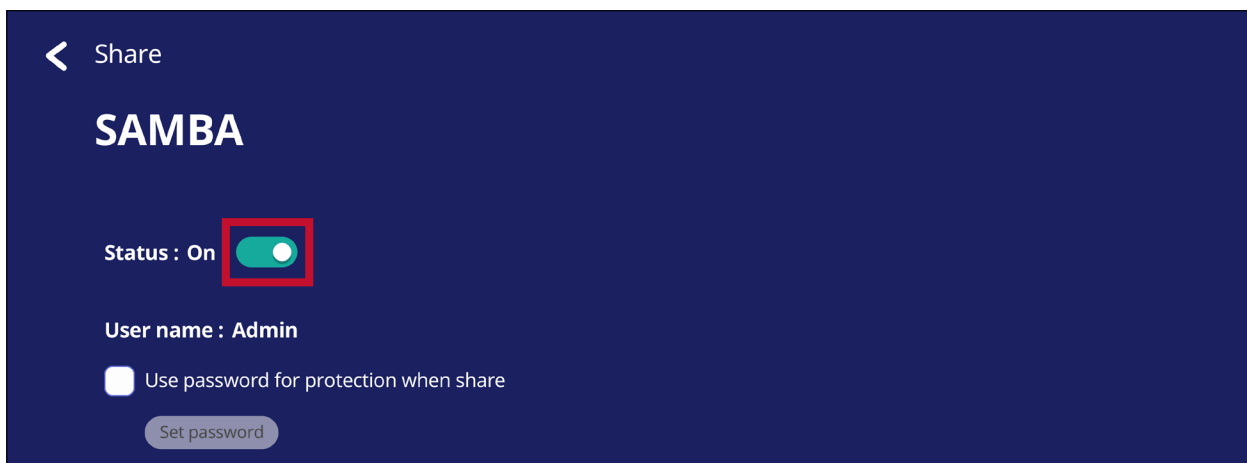
SAMBA

SAMBA サービスは、LAN を介したファイル共有を提供します。SAMBA サービスが有効になっている場合、ユーザーは PC またはモバイル機器を使用して ViewBoard ファイルシステムを探索できます。

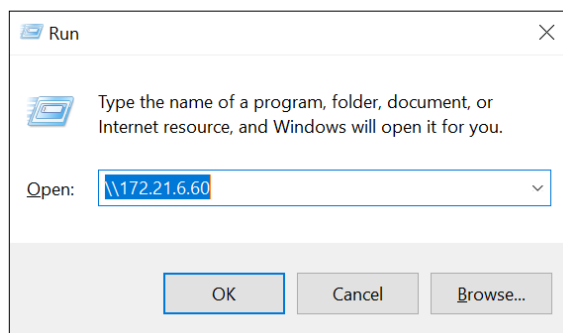
1. アクセスするには、設定 > 共有 > SAMBA に移動します。



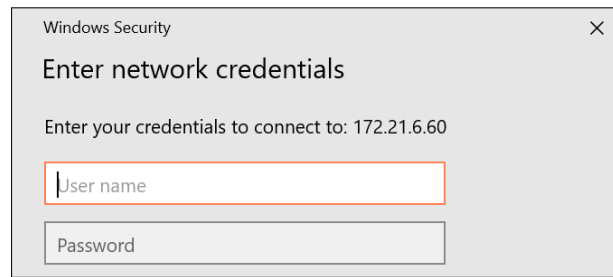
2. トグルボタンをタップして SAMBA サービスを有効にし、必要に応じてパスワードを設定します。



3. ViewBoard とクライアント機器が同じネットワークに接続されていることを確認してください。
4. クライアント機器を使用して ViewBoard にログインします。ViewBoard の IP アドレスを入力します。

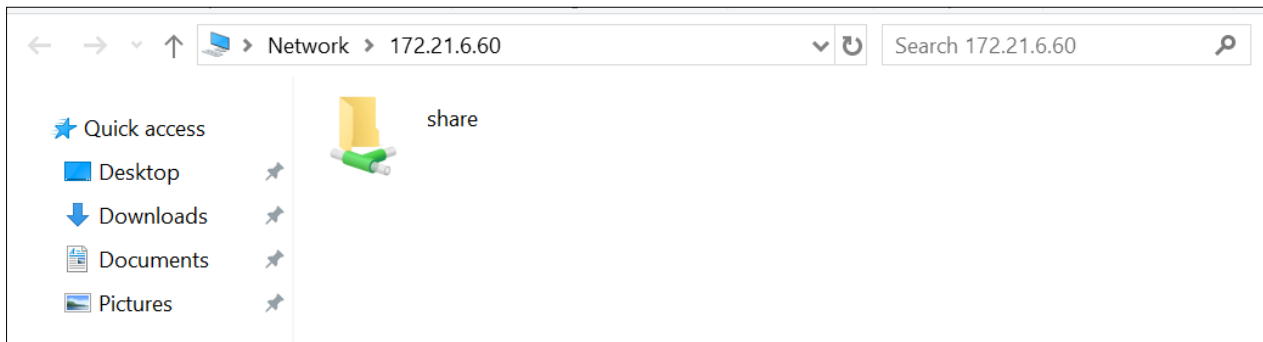


5. ユーザー名とパスワードを入力し、必要な場合は OK を選択します。



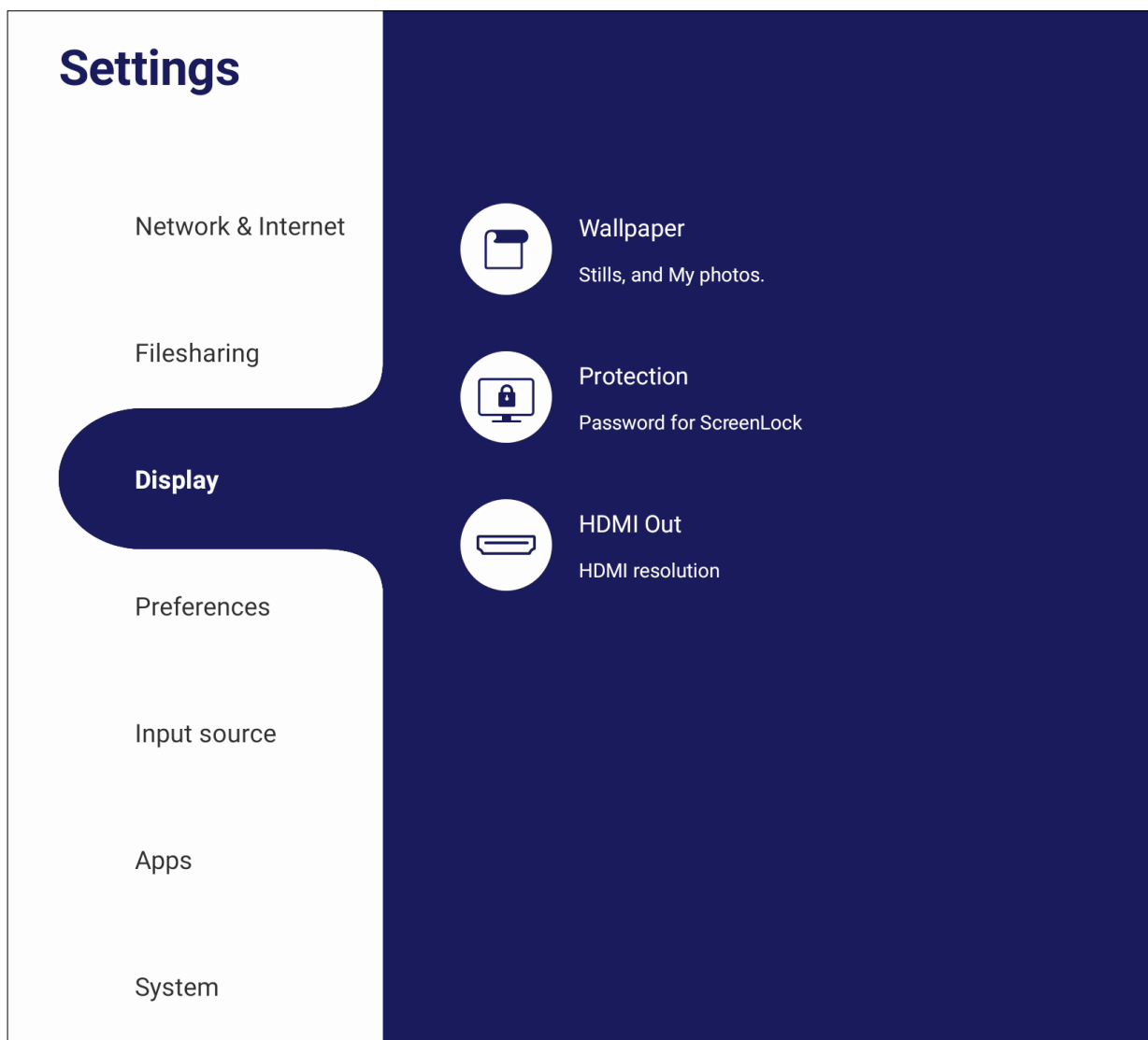
A screenshot of a Windows Security dialog box titled "Enter network credentials". The dialog prompts the user to "Enter your credentials to connect to: 172.21.6.60". It features two input fields: "User name" and "Password". The "User name" field is currently active and highlighted with a red border.

6. ログインに成功すると、ViewBoard ファイルが利用可能になります。



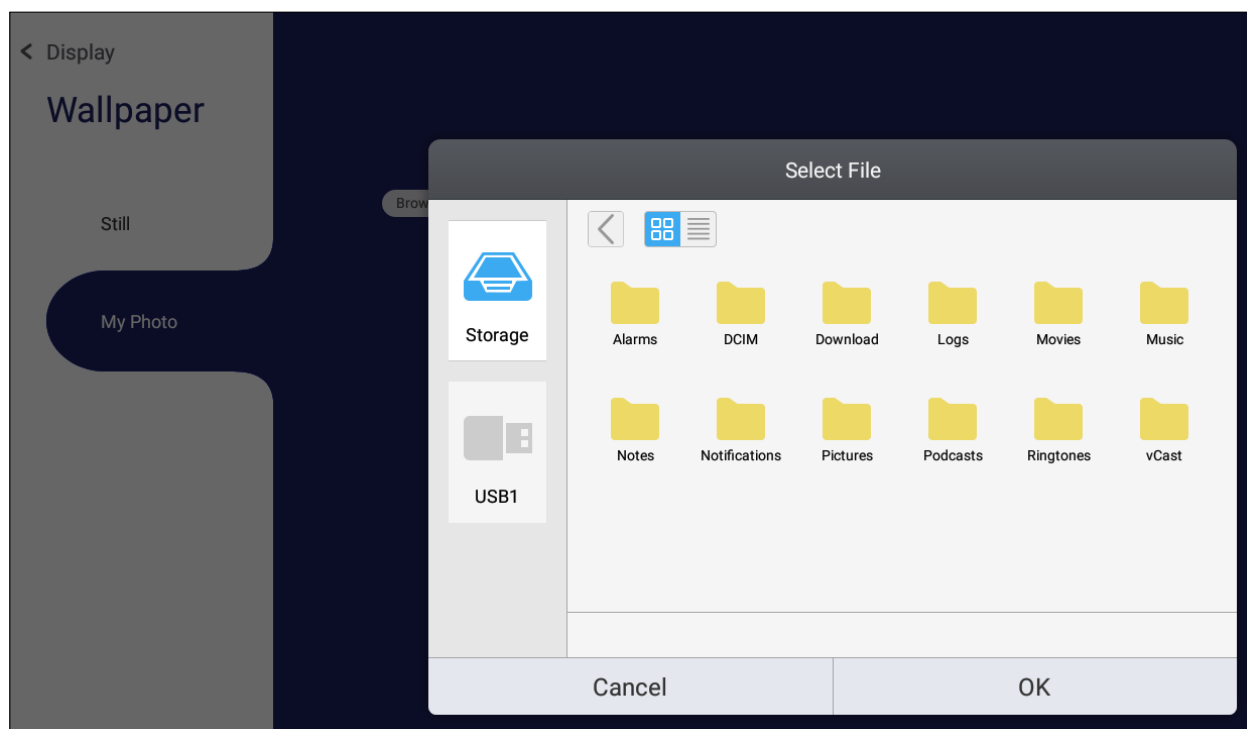
ディスプレイ

壁紙、保護、HDMI 出力の設定を調整します。



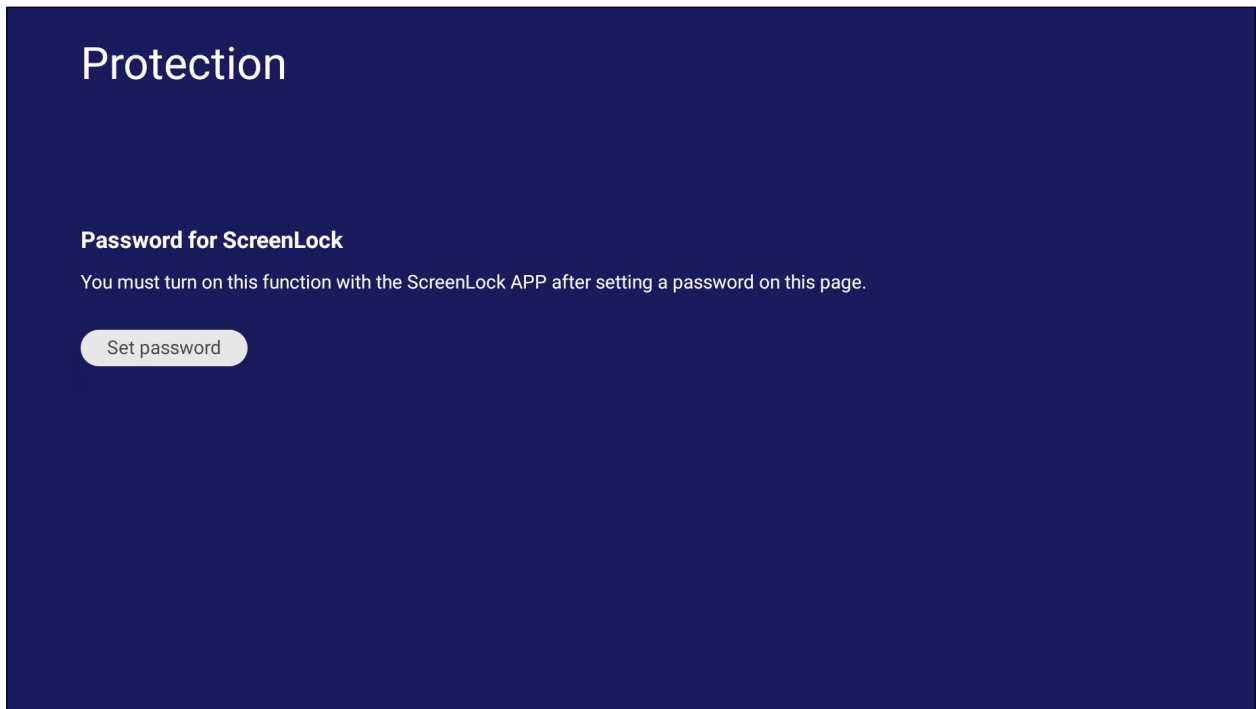
壁紙

デフォルトの画像（静止画とライブ画像の両方）で壁紙を変更するか、マイフォトをタップして画像ファイルを選択することで独自の壁紙を使用することができます。

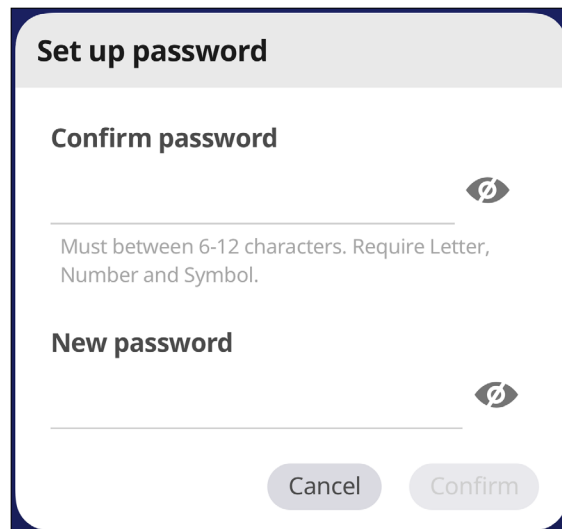


保護

画面ロック用パスワードを設定します。



- 画面ロック用パスワードを設定するには、パスワードの設定をタップして、ご希望のパスワードを入力します。

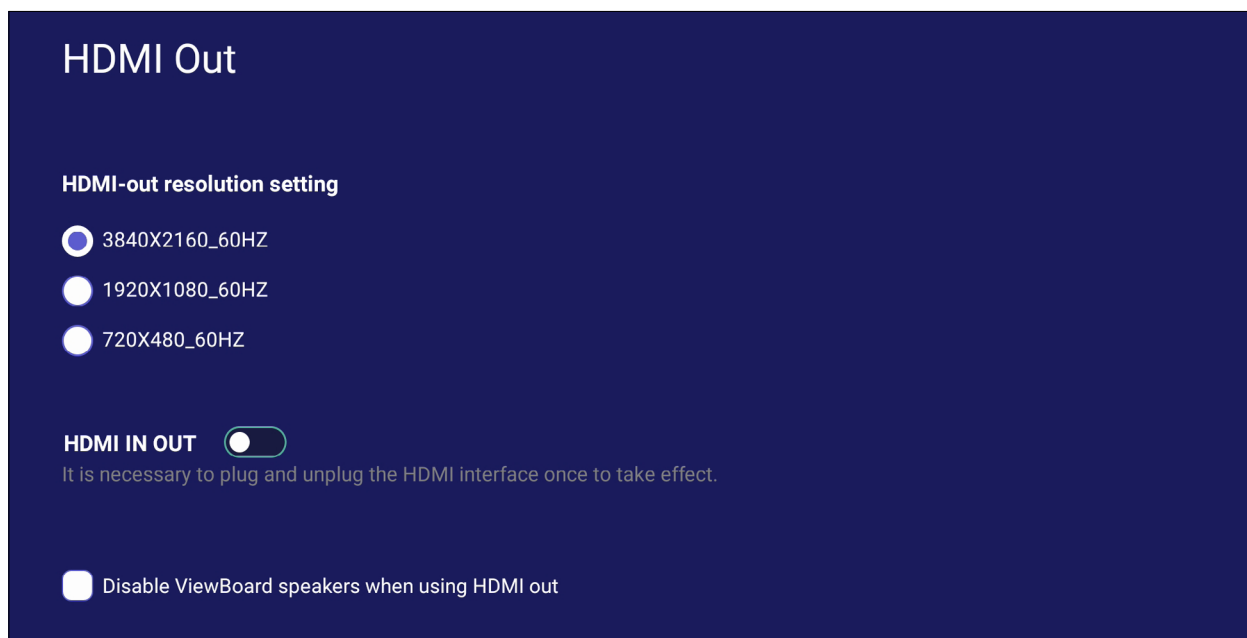


HDMI 出力

HDMI 出力解像度設定を調整し、ビデオ出力を有効にします。

HDMI 出力経由で接続されている場合にディスプレイスピーカーをミュート / ミュート解除にすることができます。

注意事項： ViewBoard スピーカーを無効にするオプションボックスは、デフォルトではオフになっています。



環境設定

タッチ、言語選択、キーボードと入力方式、日時、起動モードと詳細設定、スタートアップとシャットダウン、ツールバー設定メニューを表示および調整します。



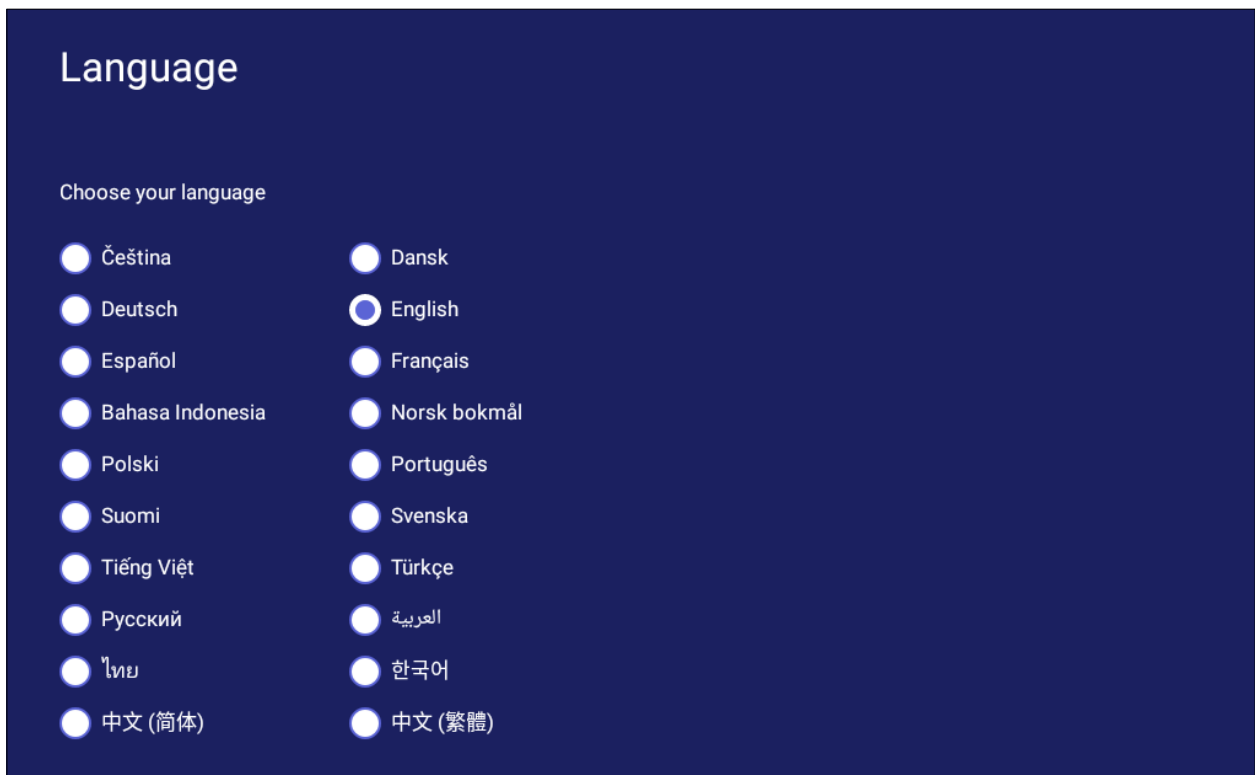
タッチ

タッチ設定を調整し、タッチ音および Windows Ink のオン / オフ切り替えます。



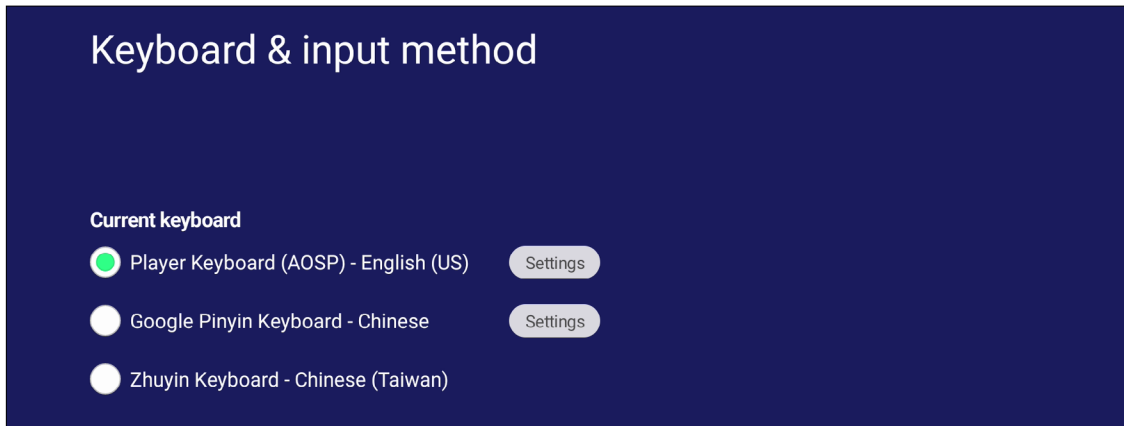
言語選択

使用可能な言語リストから、使用したい言語を選択します。

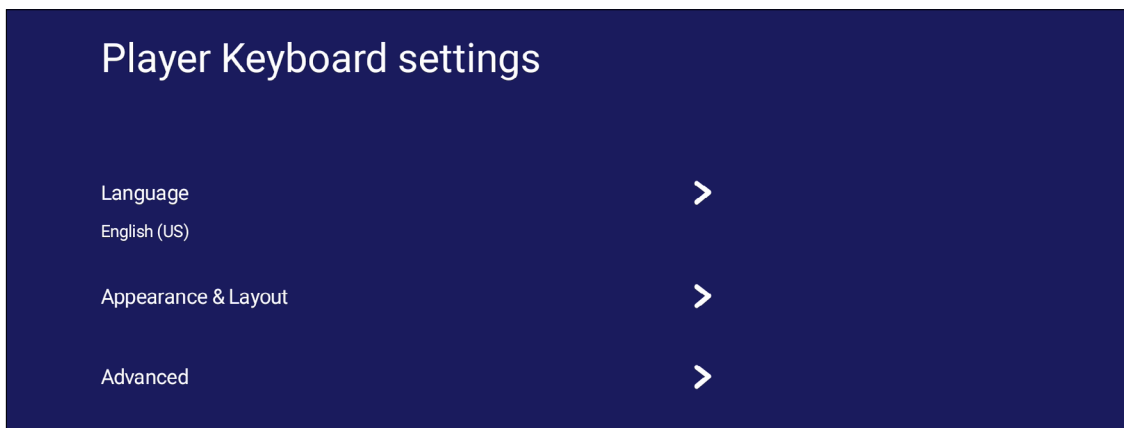
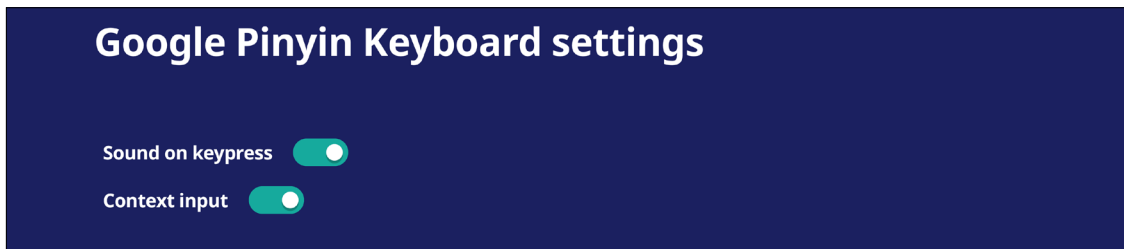


キーボードと入力方式

バーチャルキーボードの表示 / 非表示にしたり、キーボードと入力方法を変更したりします。



- 設定をタップして、キーボードの詳細設定を調整します。



日時

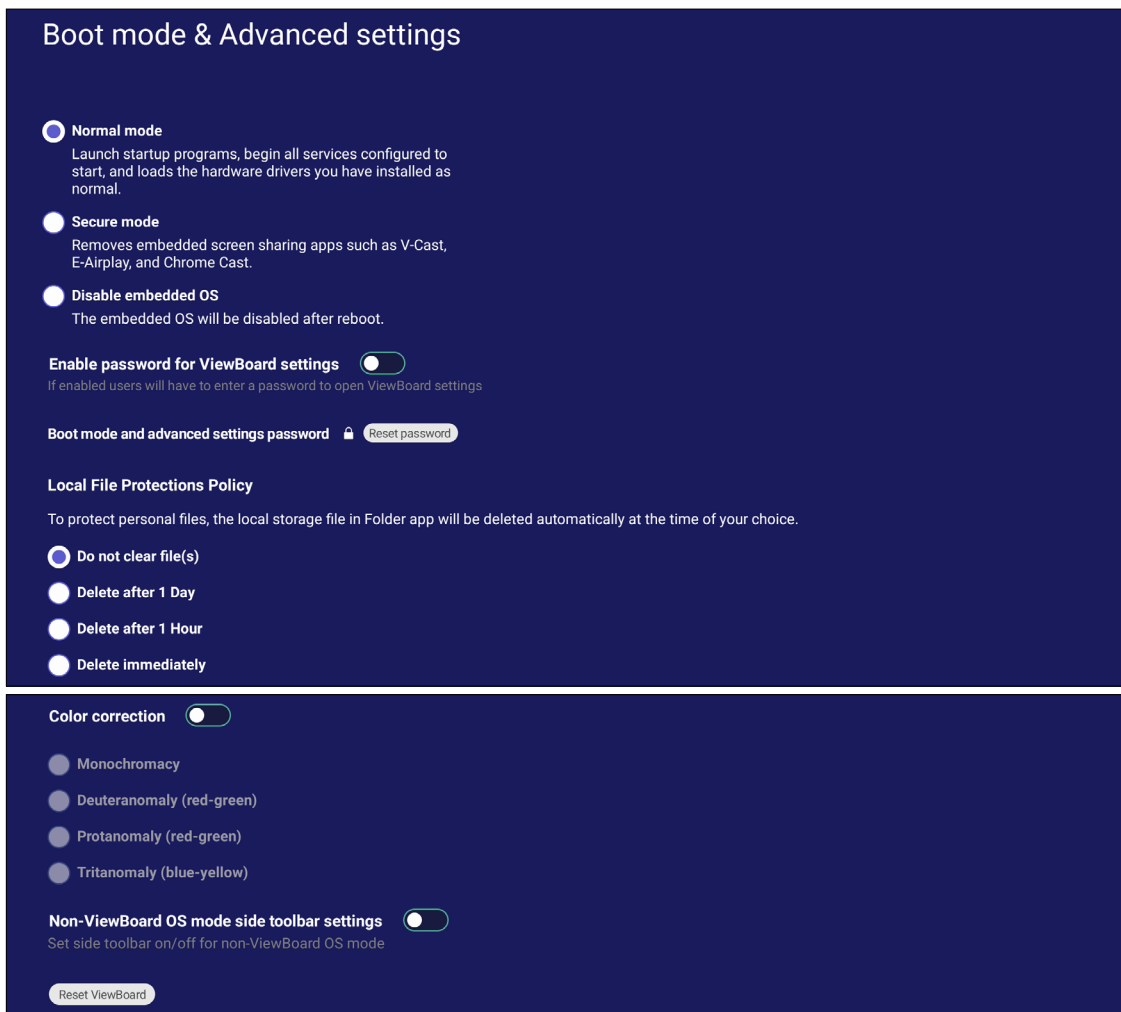
システムの日時、タイムゾーンと形式を設定します。



項目	詳細
日時を自動設定	有効にすると、ViewBoard はインターネットを介して日付と時刻を自動的に同期します。
タイムゾーン	適切なタイムゾーンを選択します。
24 時間の時刻表示	12 時間形式または 24 時間形式を切り替えます。
日付形式	使用可能な日付形式から選択します。

起動モードと詳細設定

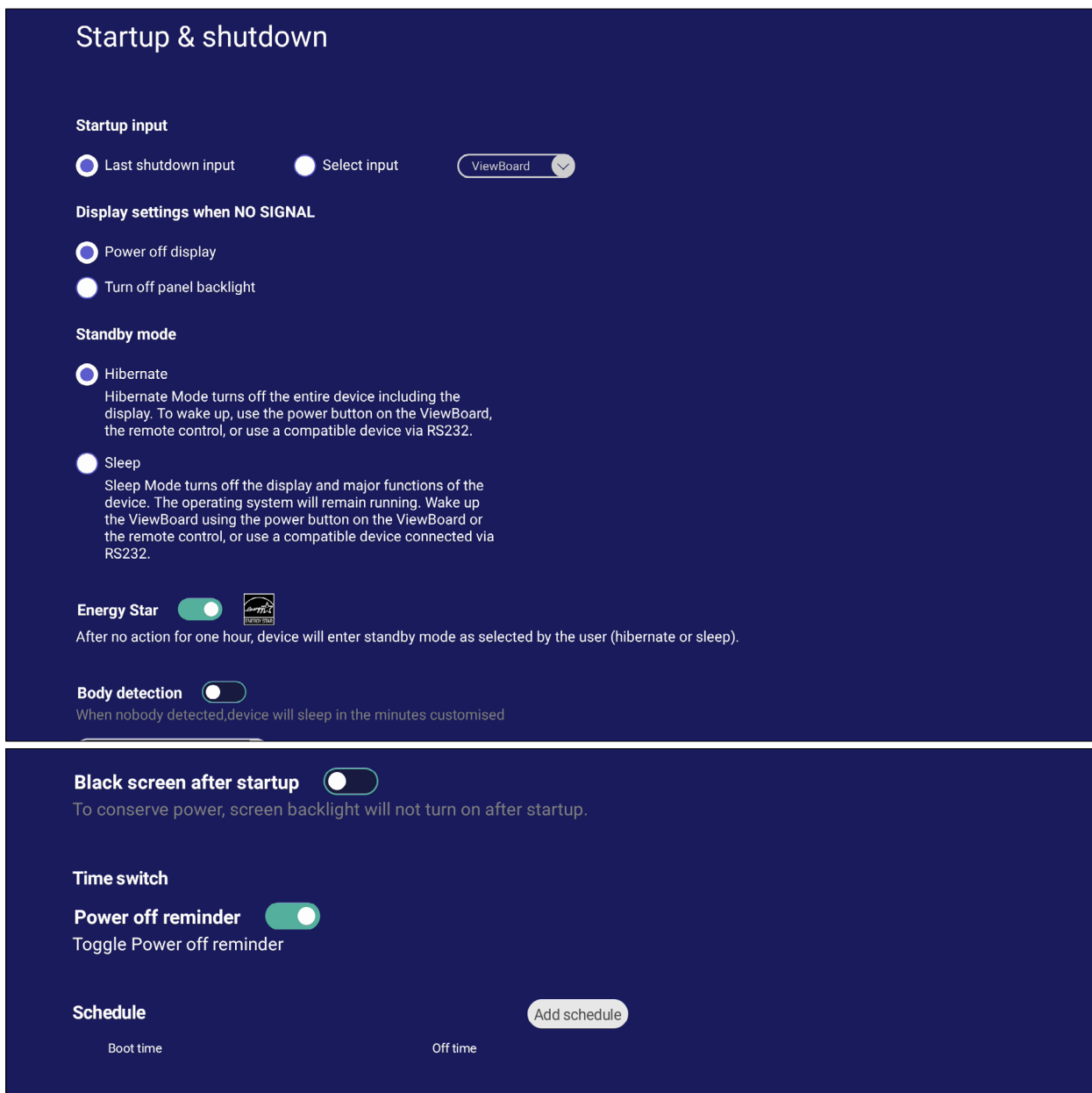
起動モードを調整し、パスワードを設定 / リセットします。



項目	詳細
通常モード	有効に設置されたサービスを起動にし、インストールしたアプリとドライバーは正常に実行されます。
セキュアモード	V-Cast、E-Airplay、Chrome Cast などの組み込み画面共有アプリを削除します。
組み込み OS を無効にする	システムが自動的に再起動し、組み込み OS は無効になります。
ViewBoard 設定のパスワード	ViewBoard 設定をロック / ロック解除が行えます。
起動モードと詳細設定用パスワード	起動モードと ViewBoard 設定の入力パスワードを変更します。
ローカルファイル保護ポリシー	フォルダーアプリケーションでローカルストレージファイルを保持する期間を選択します。
色補正	ViewBoard 画面の色を補正します。
非 ViewBoard OS モードのサイドツールバー設定	非 ViewBoard OS 用のサイドツールバーを有効にします。
ViewBoard をリセット	ViewBoard を工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。

スタートアップとシャットダウン

起動時入力ソース、スタンバイモード、Energy Star、起動後に画面を表示しない、電源オフリマインダー、スケジュールを設定します。



項目	詳細
起動時入力ソース	起動時入力ソース設定を調整します。
入力信号なしのディスプレイ設定	HDMI、PC、または VGA ソースの入力信号がない場合は本機がどのように動作するかを決定します。
スタンバイモード	ViewBoard がオンのときに電源ボタンを押したときの動作を決定します。
Energy Star	画面が 1 時間アイドル状態のときに、スリープモードを自動的に開始できるようにします。
起動後に画面を表示しない	有効にすると、ViewBoard は起動後にバックライトを自動的にオフにします。

項目	詳細
時刻切替 電源オフリマインダー	有効にすると、ViewBoard は、スケジュールされたオフ時間の後にリマインダーなしでオフになります。
スケジュール	起動および電源オフ時刻をスケジュールします。

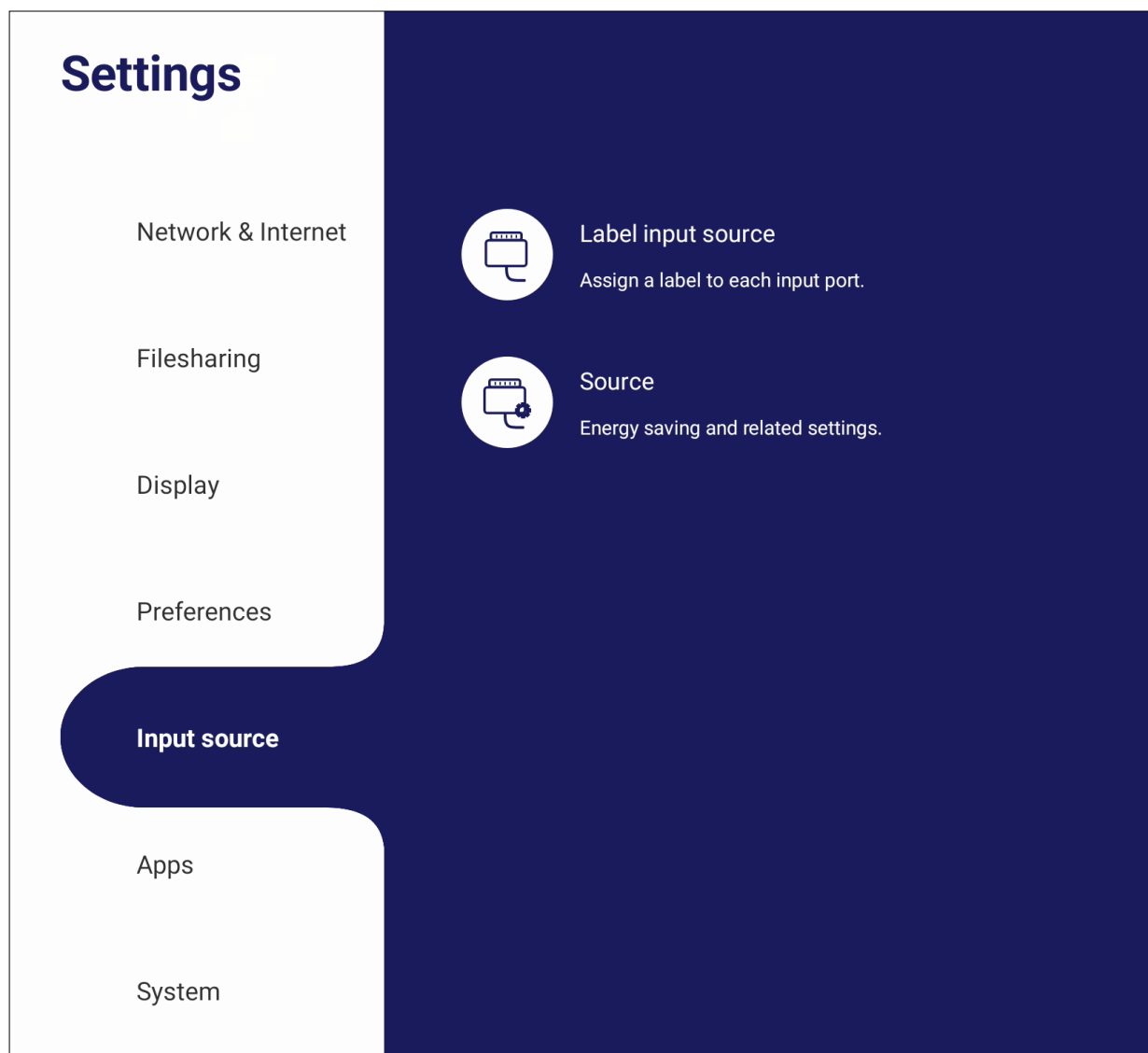
ツールバー設定

サイドツールバーの設定を調整します。



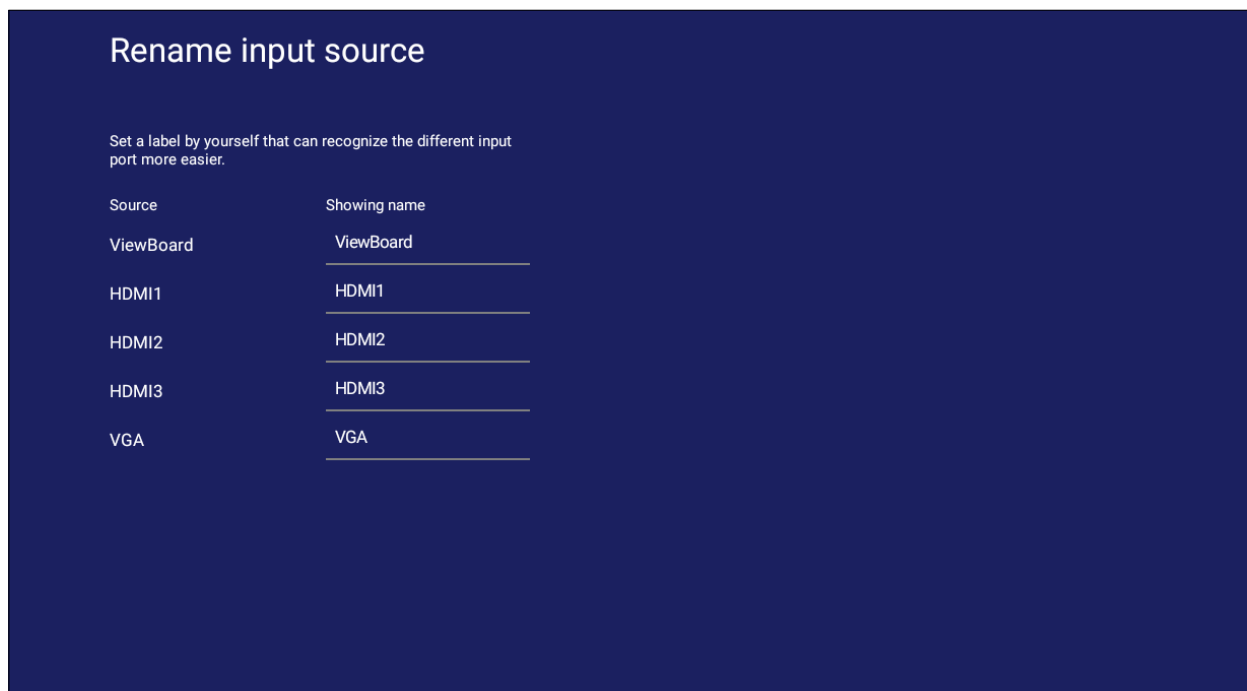
入力ソース

入力ソースの名前変更と設定を調整します。



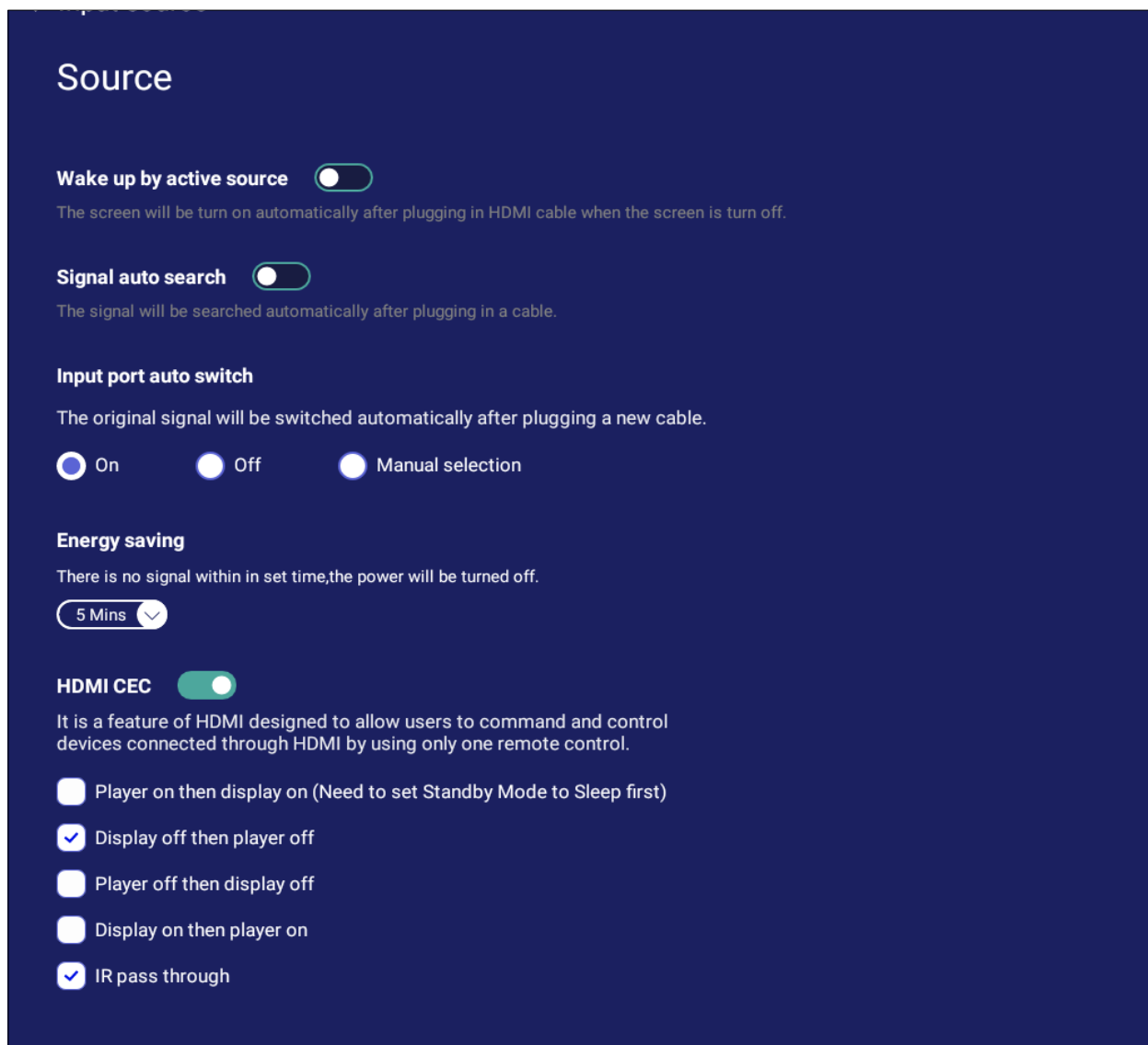
入力ソースの名称変更

表示時に簡単に認識できるように、各入力ソースの名称をカスタマイズできます。



入力ポート

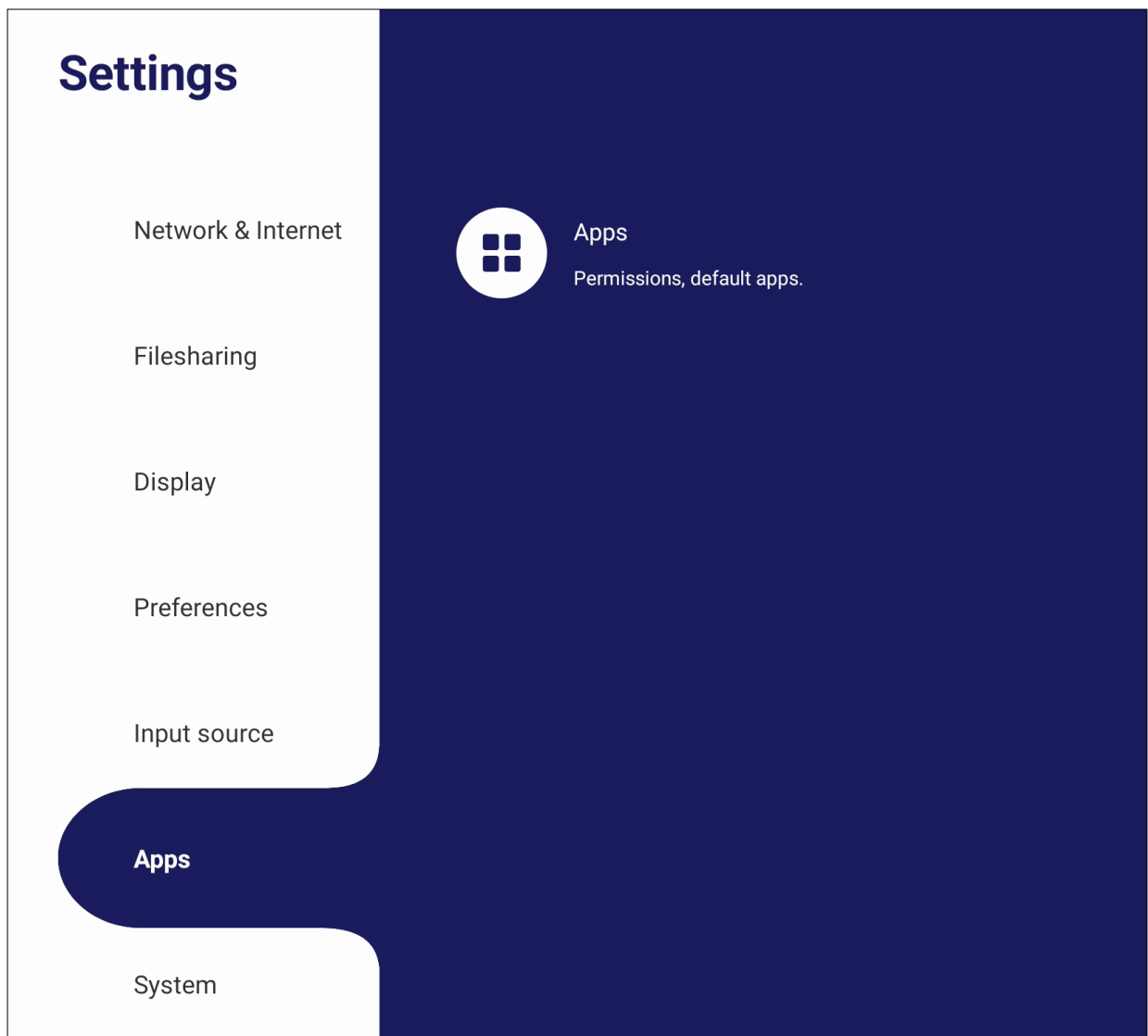
HDMI 入力ソースが有効になるとウェイクアップ、入力信号の自動検索、HDMI CEC を切り替えて、入力ポート自動スイッチを選択します。



項目	詳細
HDMI 入力ソースが有効になるとウェイクアップ	待機中の時に、信号のある HDMI ケーブルを接続すると、画面が自動的にオンになります。
入力信号の自動検索	有効にすると、選択されているソースに信号がない場合、ViewBoard は入力ソースを自動的に検索します。
入力ポート自動切替	新しいケーブルを接続すると、元の信号が自動的に新しい入力ソースに切り替わられます。
省エネ	指定された時間内に入力信号が検出されない場合は、電源が自動的にオフになります。
HDMI CEC	HDMI CEC 機能を有効 / 無効にします。

アプリ

アプリケーション情報を表示し、強制停止、アンインストール、USB ストレージへの移動、データのクリア、キャッシュのクリア、デフォルトのクリアを行うことができます。

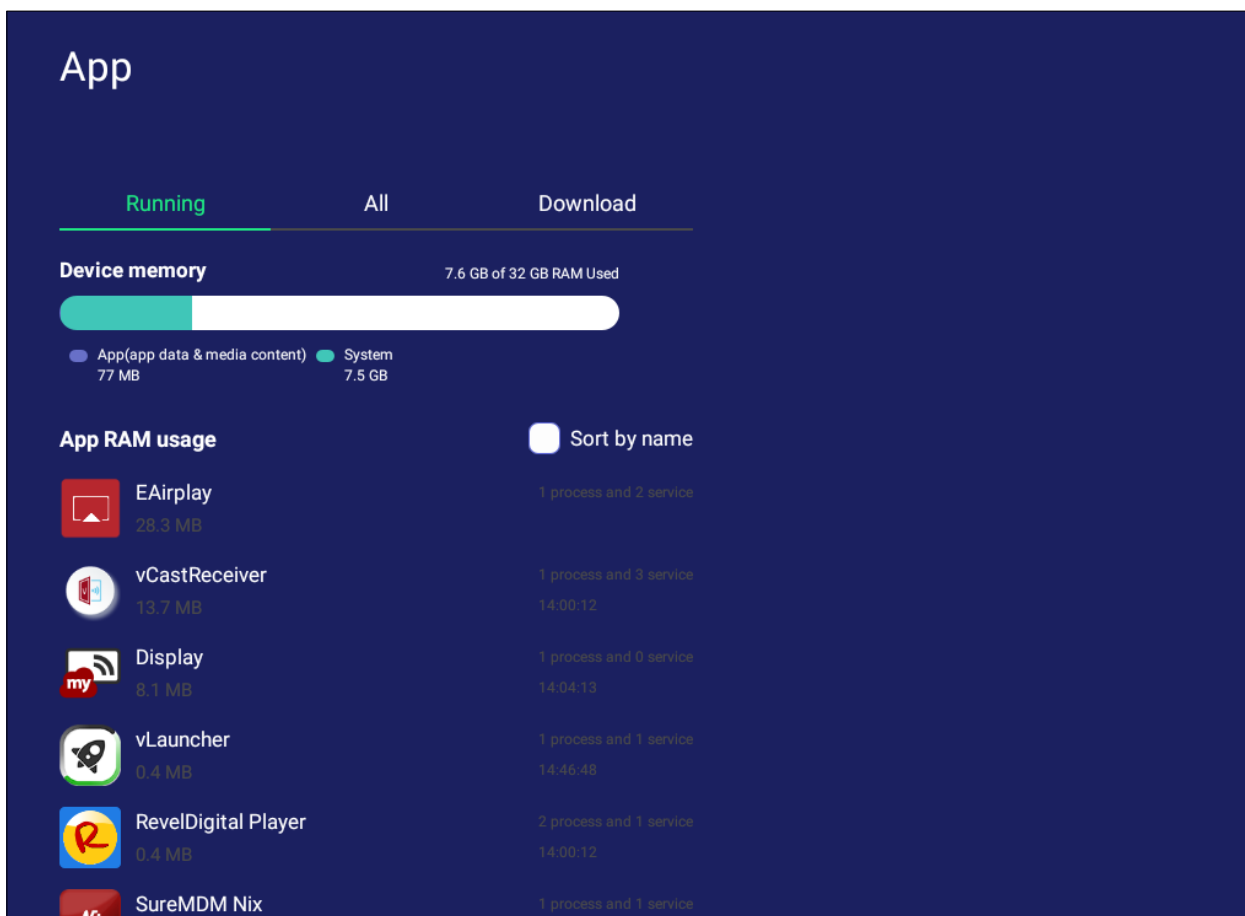


注意事項：

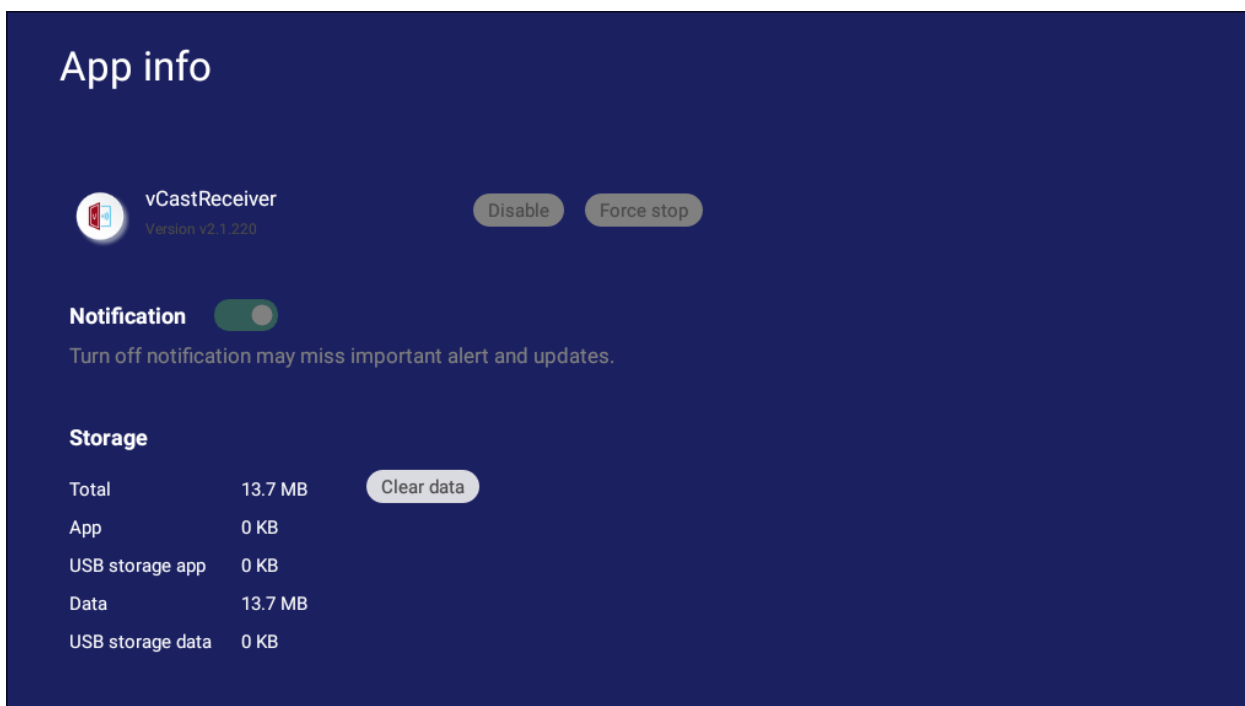
- プリロードされたアプリはアンインストールできません。
- すべてのアプリが、USB ストレージの移行機能をサポートしているわけではありません。
- すべてのアプリがデフォルトのクリアをサポートしているわけではありません。

アプリ

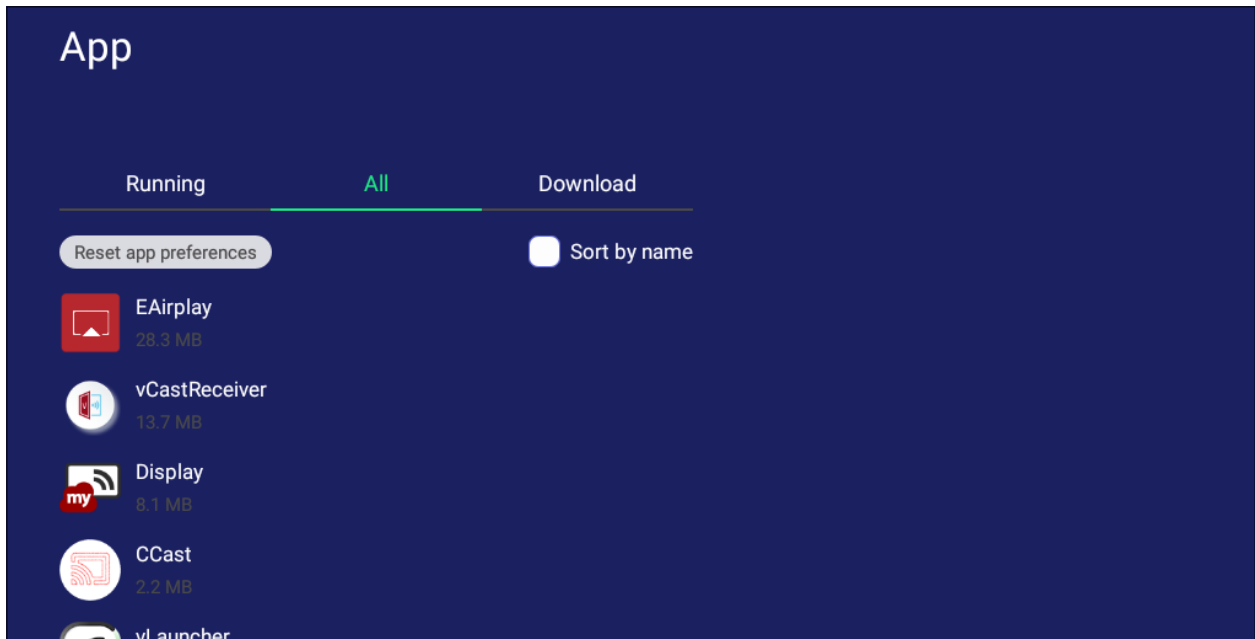
実行中またはインストール済みのアプリケーションを表示します。アプリ詳細とオプションについては、それらをタップしてください。



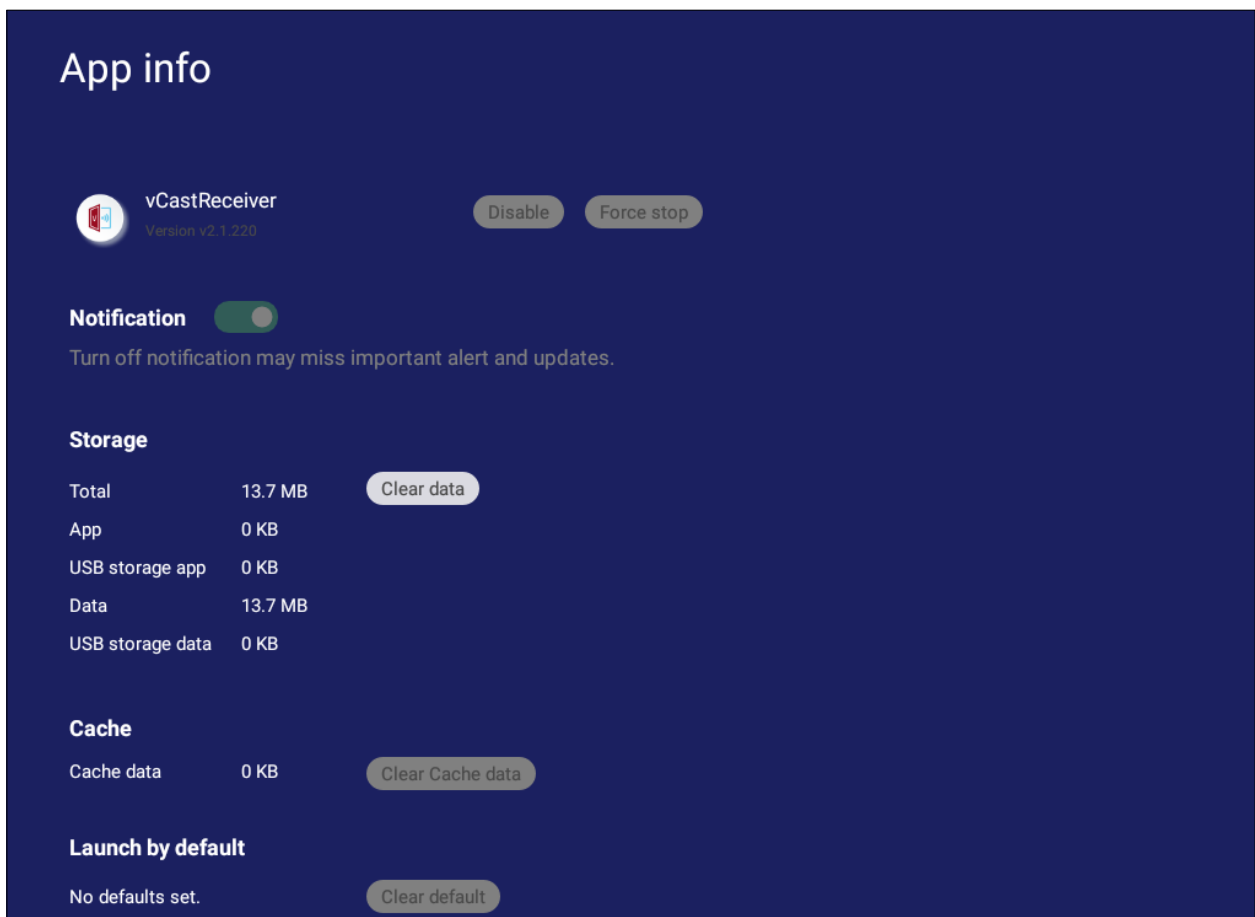
- 実行中のアプリケーションをタップすると、アプリケーションの詳細を表示したり、停止したり、レポートしたりすることができます。



- すべて、ダウンロード、USB ストレージを選択すると、インストールされているすべてのアプリケーションが一覧表示されます。

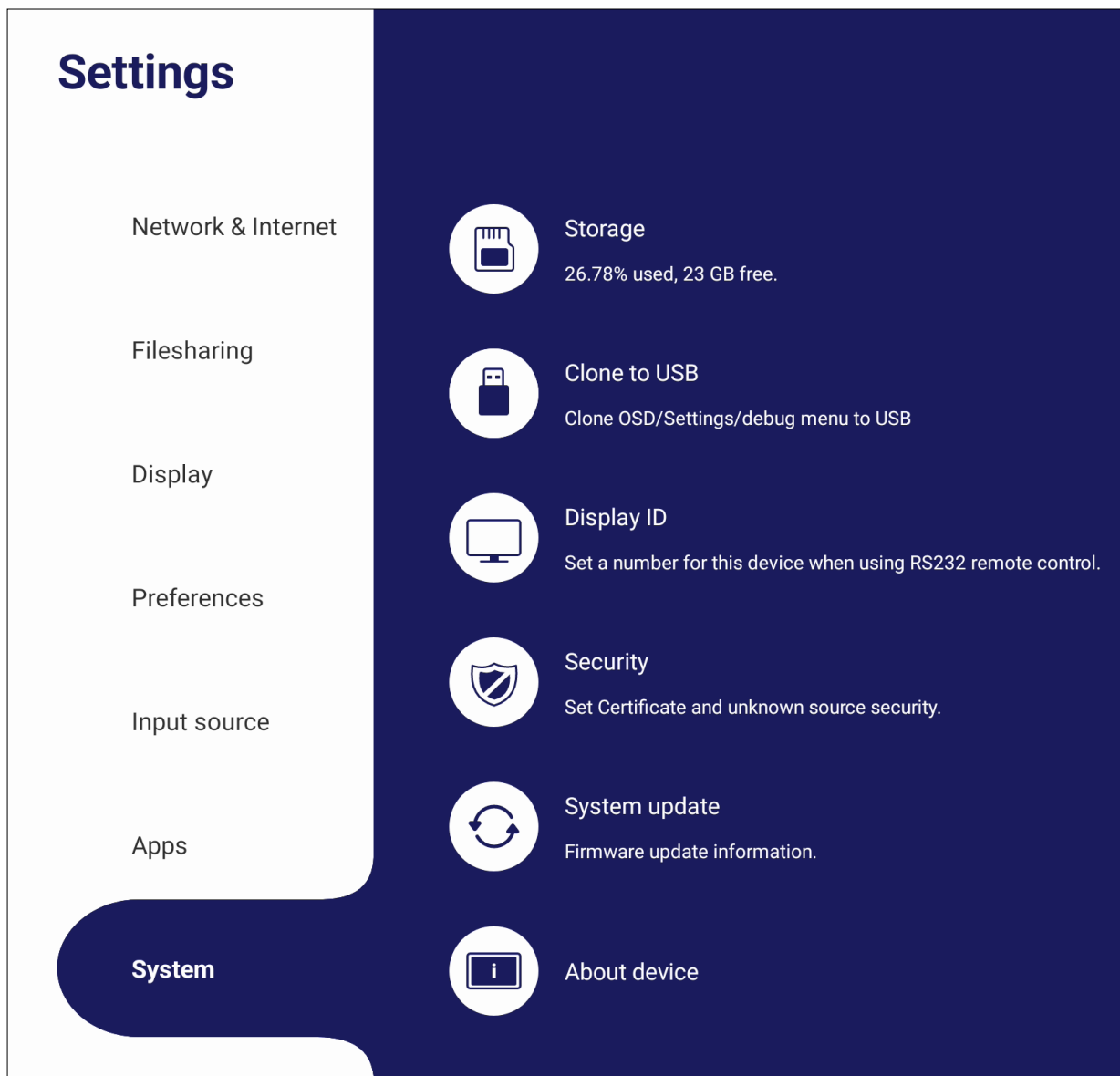


- アプリケーションをタップすると、詳細情報とオプションが表示されます。



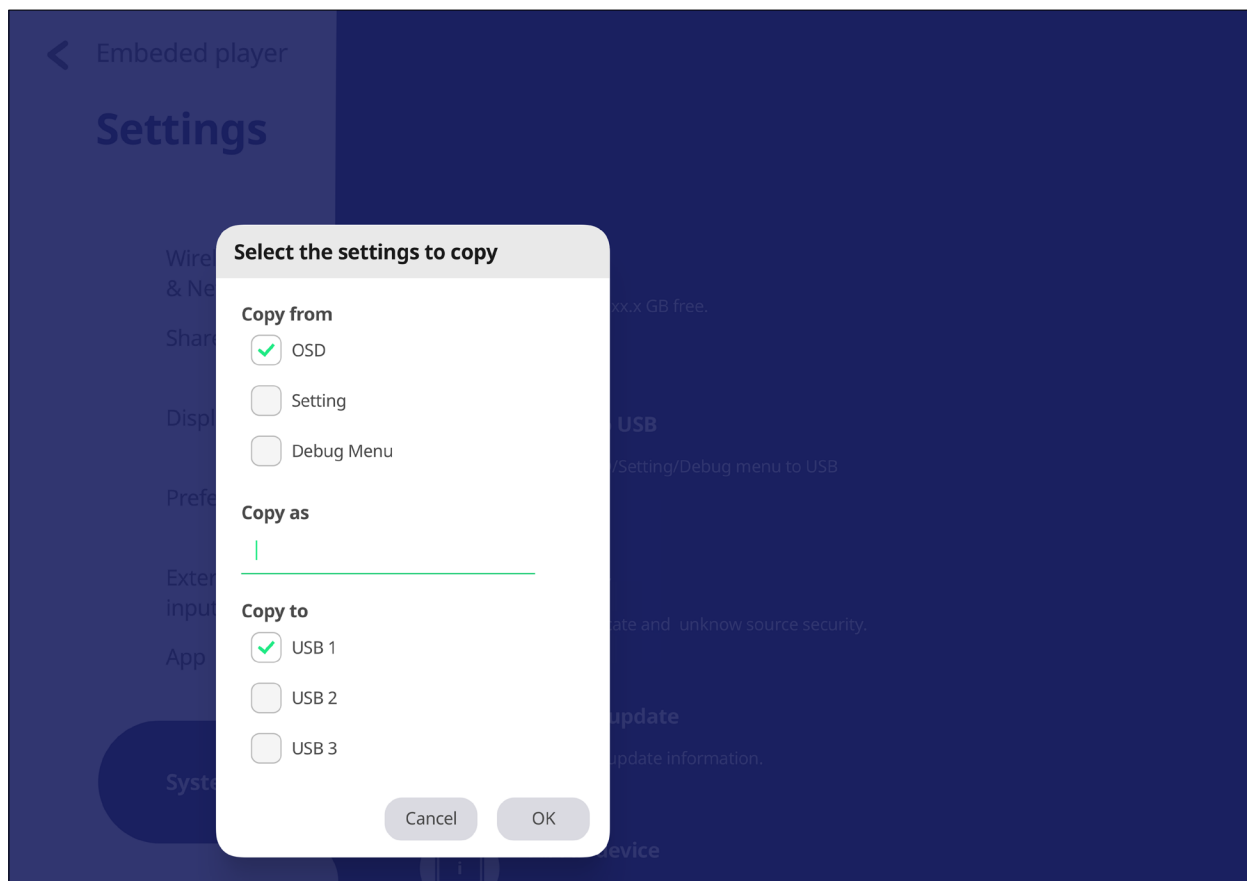
システム

ローカルストレージ、USB メモリへの複製、ディスプレイ ID、セキュリティ、システムアップデート、本機についての設定を表示および調整します。



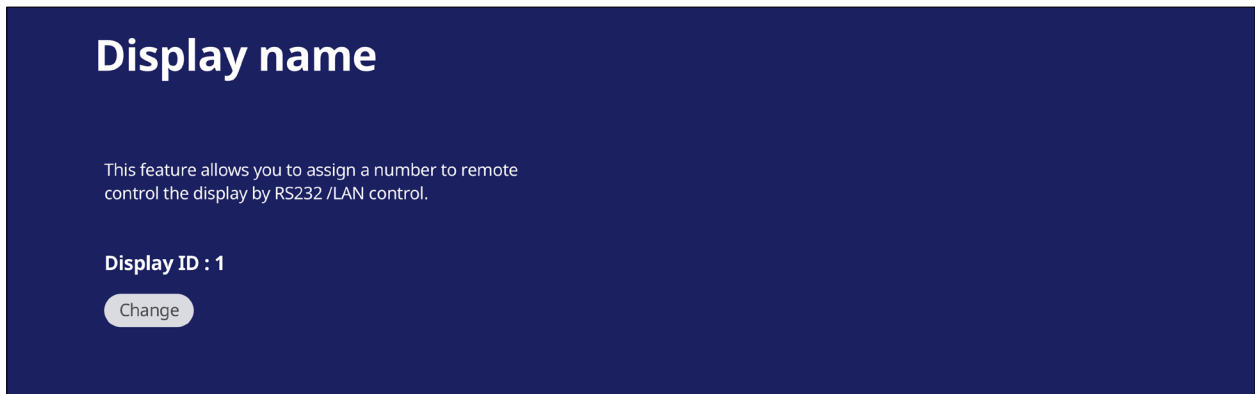
USB メモリへの複製

設定を外部 USB メモリにコピーします。

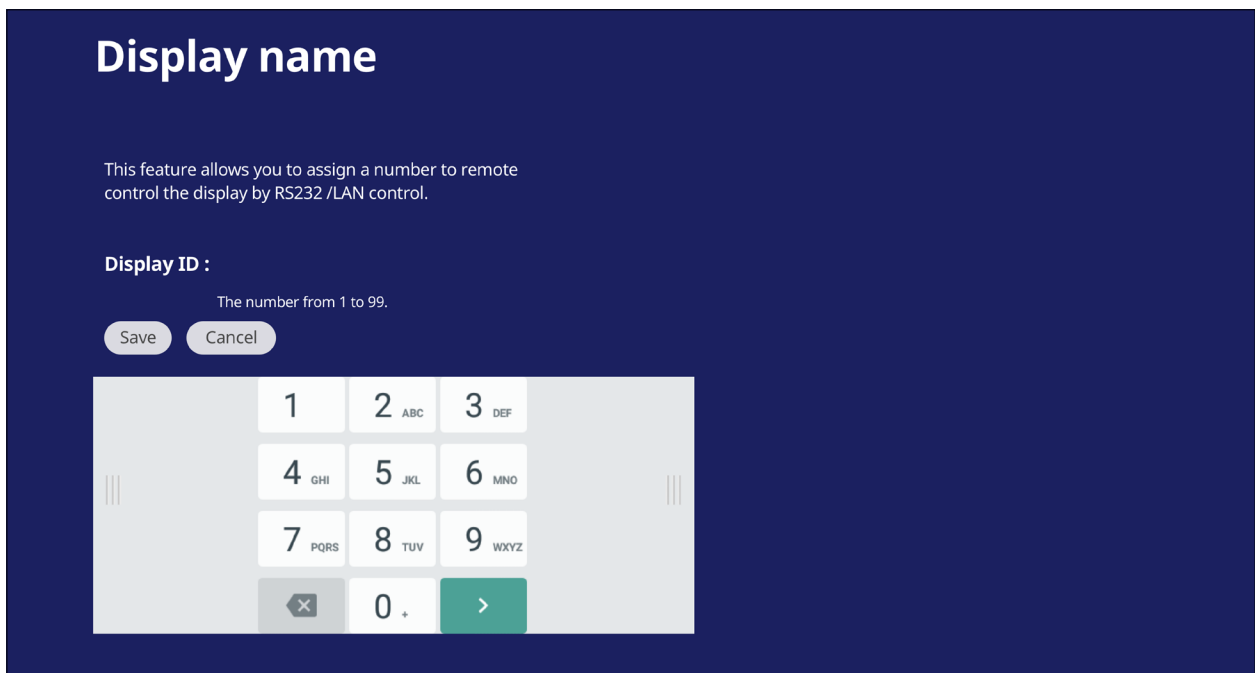


ディスプレイ ID

RS-232/LAN でディスプレイをリモートコントロールする番号を割り当てます。



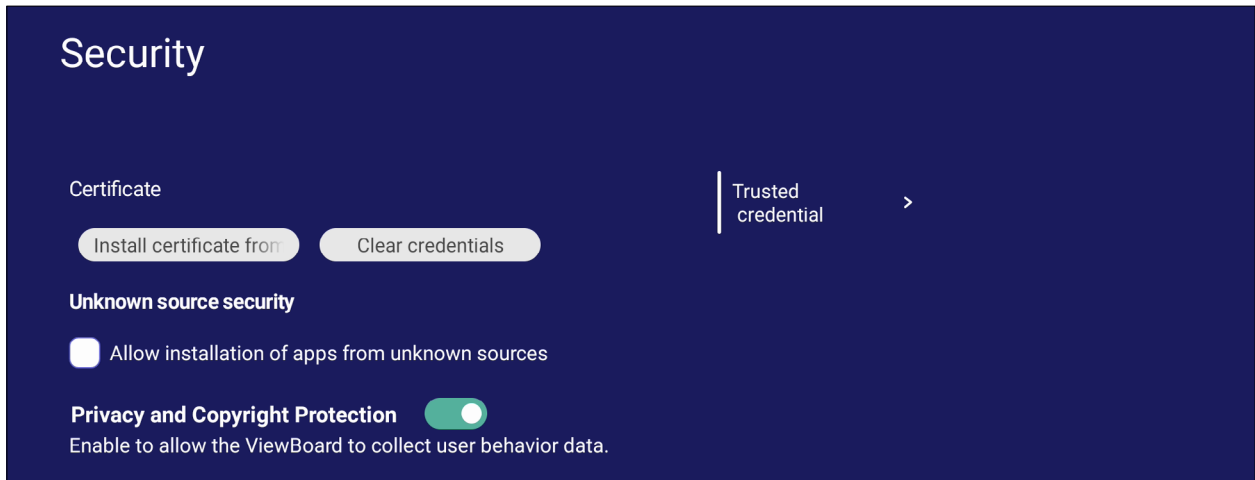
- ディスプレイ ID を割り当てまたは変更するには、編集をタップして番号を入力します。



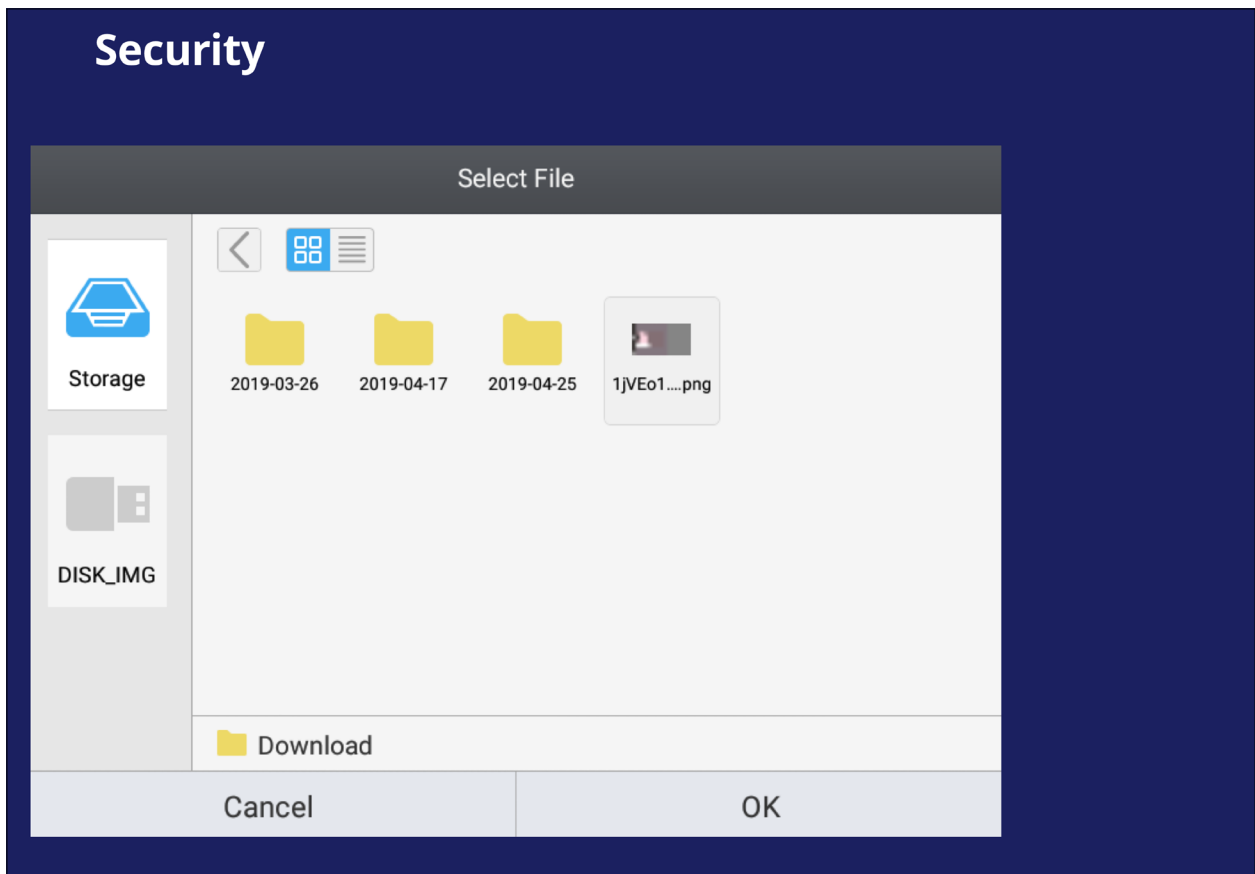
注意事項：ディスプレイ ID は RS-232 ユーザー用で、範囲は 01 ～ 99 です。

セキュリティ

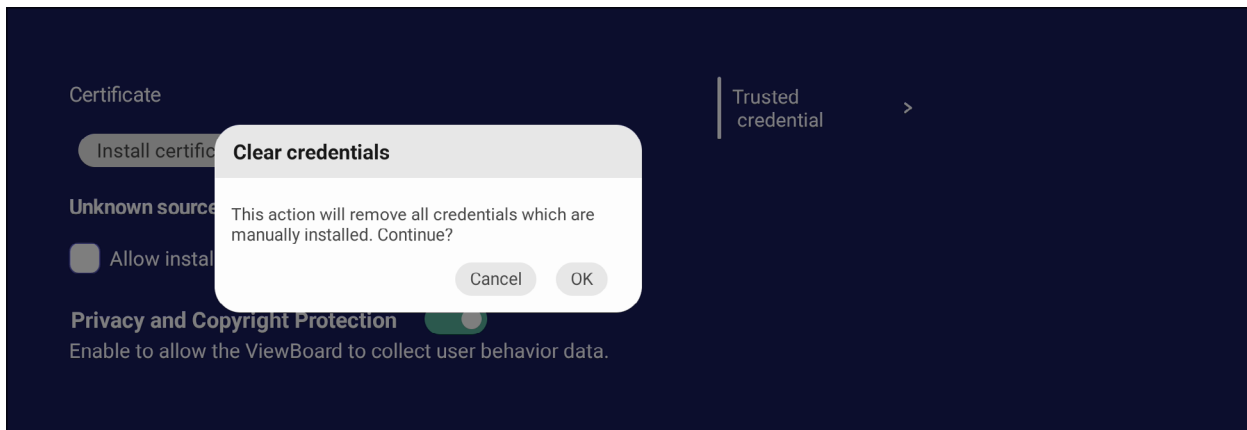
証明書、信頼された資格情報、および不明なソースのセキュリティ設定を確認します。



- ストレージから証明書をインストールするをタップして、証明書を追加します。

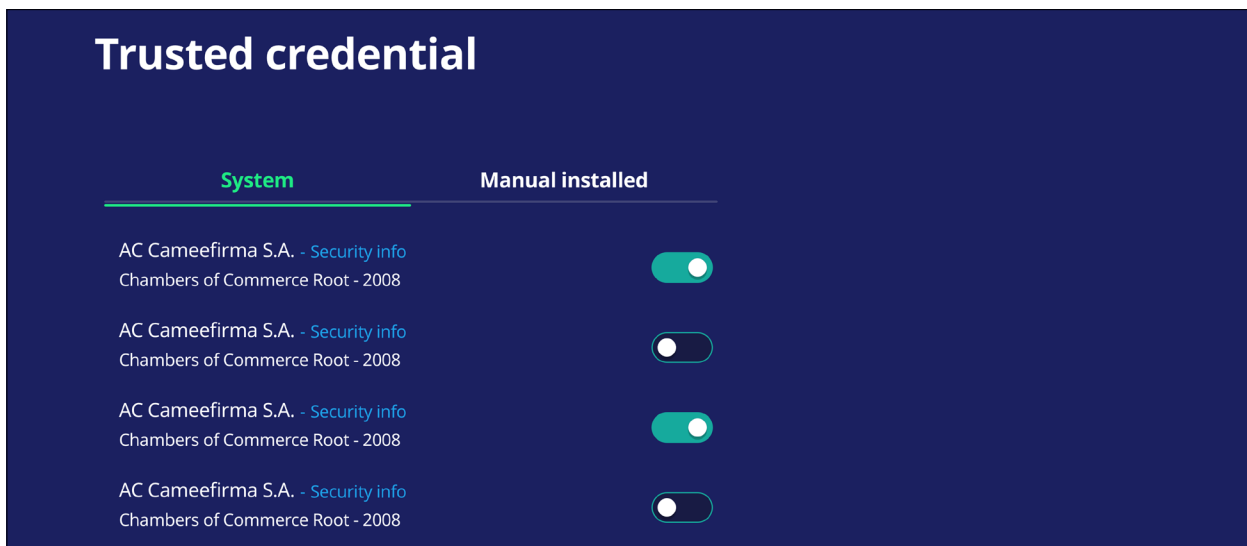


- 資格情報をクリアを選択すると、手動でインストールされたすべての資格情報が削除されます。

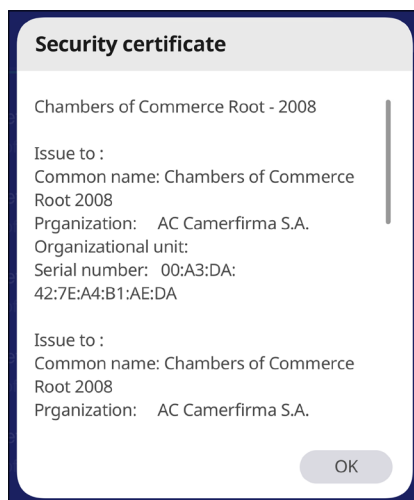


注意事項：プリセットされた資格情報はクリアできません。

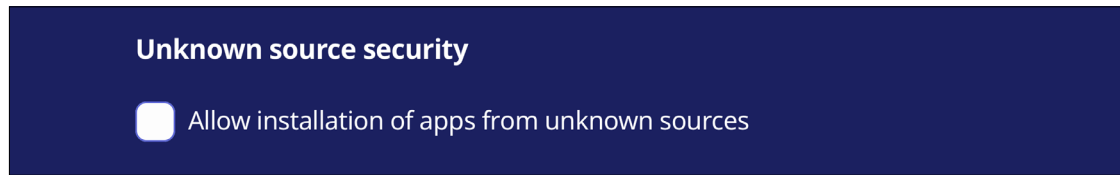
- 信頼された資格情報で、インストールされているすべての CA 証明書を表示および編集します。



- 資格情報をタップすると、より詳細な情報が提供されます。



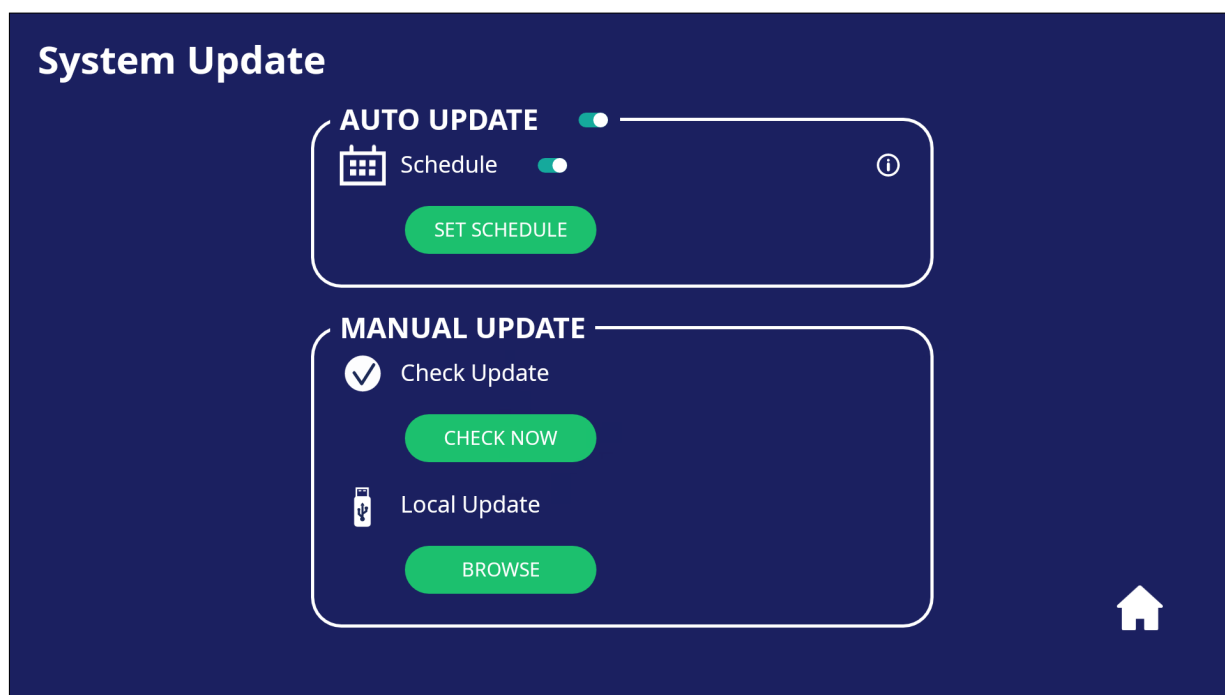
- 不明なソースのセキュリティのチェックボックスを選択して、不明なソースからのアプリケーションのインストールを許可します。



注意事項：ソースが不明なアプリケーションは、互換性がないか、正しく機能しない可能性があります。

システムの更新

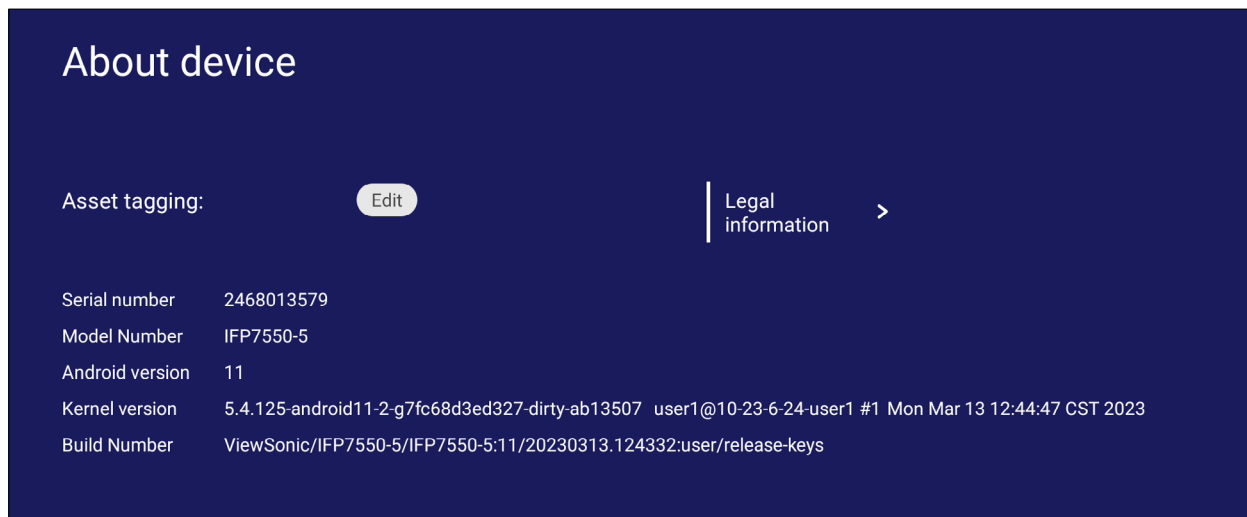
ViewBoard は、インターネットに接続するたびに、ソフトウェア更新を自動的に検索します。ワンクリックで、ViewBoard ソフトウェアのバージョンを更新することができます。



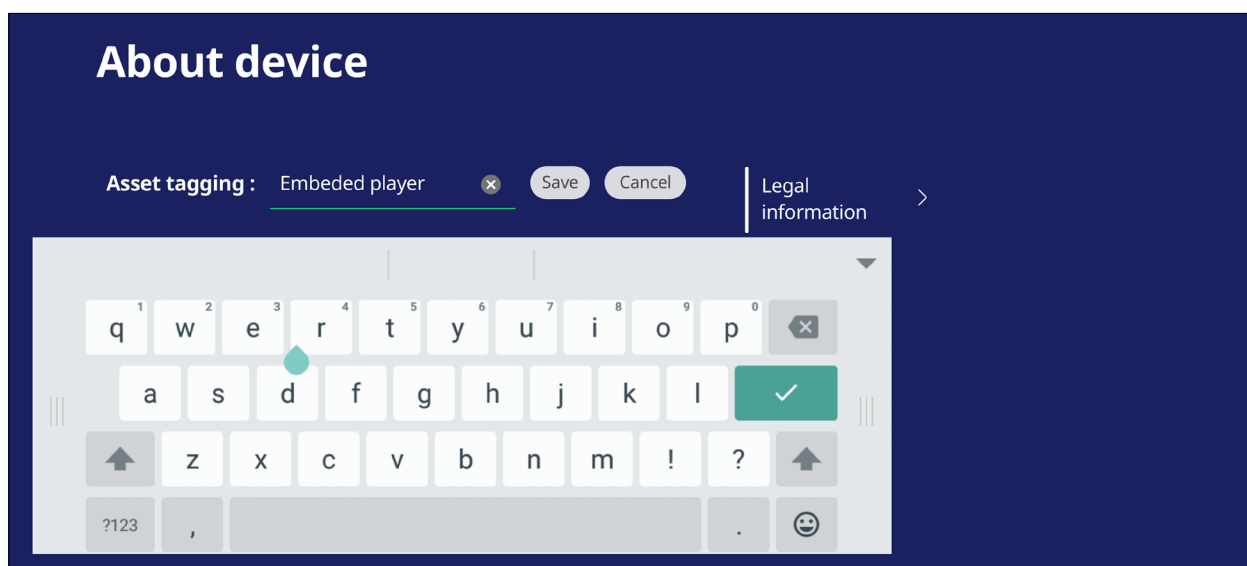
項目	詳細
自動更新	ディスプレイがオフの場合、システムは自動的に新しいバージョンをチェックします。新しいバージョンが見つかったら、システムは自動的に更新されます。更新が完了すると、システムの電源がオフになります。
スケジュールの設定	更新時間を設定します。
手動更新	ソフトウェアを手動で更新します。
ローカル更新	外部 USB デバイスからシステムを更新します。

本機について

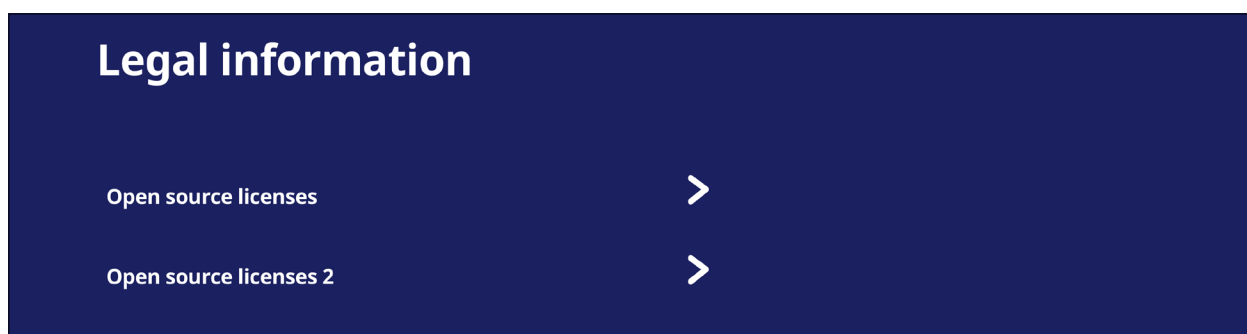
内蔵の vLauncher OS 情報、法律情報、およびアセットのタグ付けを表示します。



- 編集を選択すると、アセット情報を調整することができます。



- 法律情報をタップして、オープンソースライセンスを確認します。

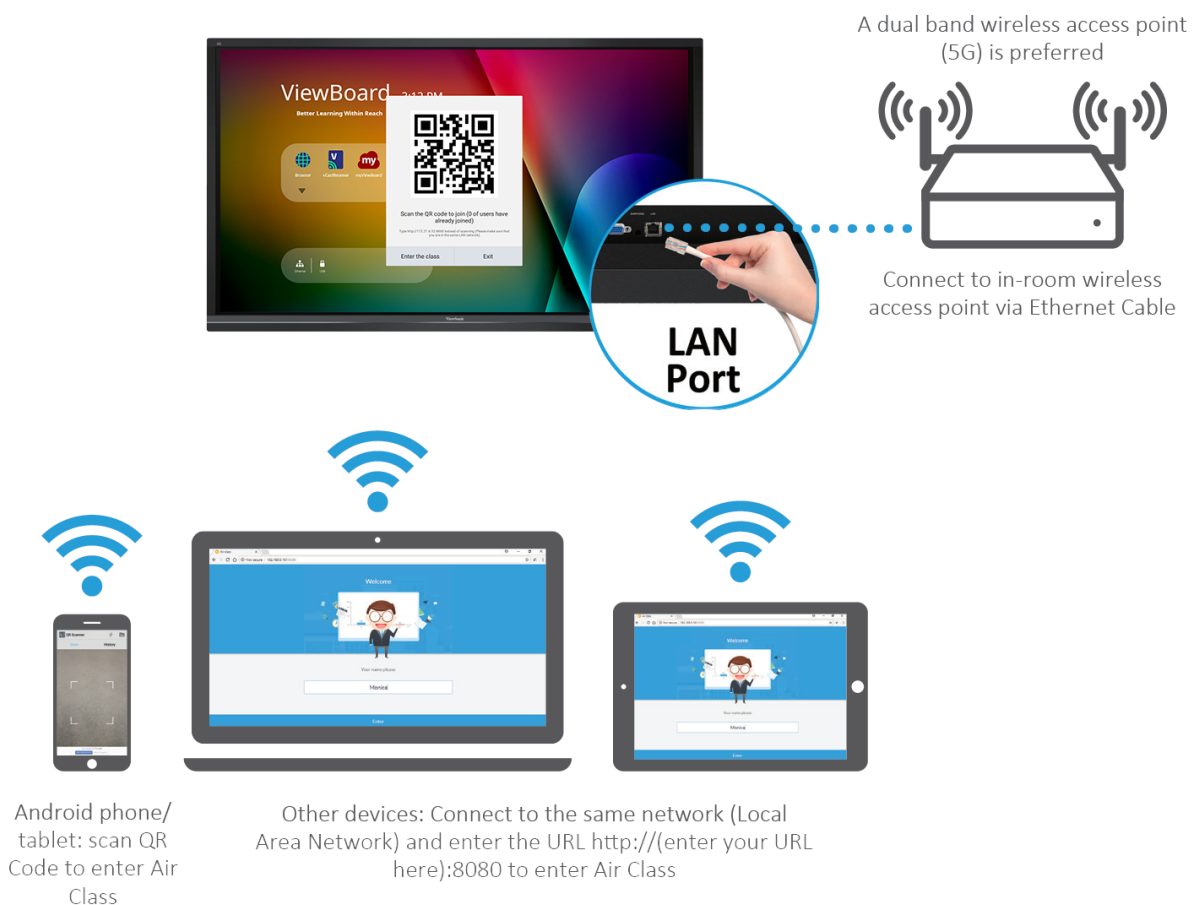


組み込みアプリケーションと設定

Air Class

ViewBoard 上にクイズを表示し、最大 30 人のモバイルユーザーが遠隔から解答を送信できるようにします。Air Class は、単一選択または多肢選択の問題を出し、使用される各デバイスの結果を記録します。

Air Class

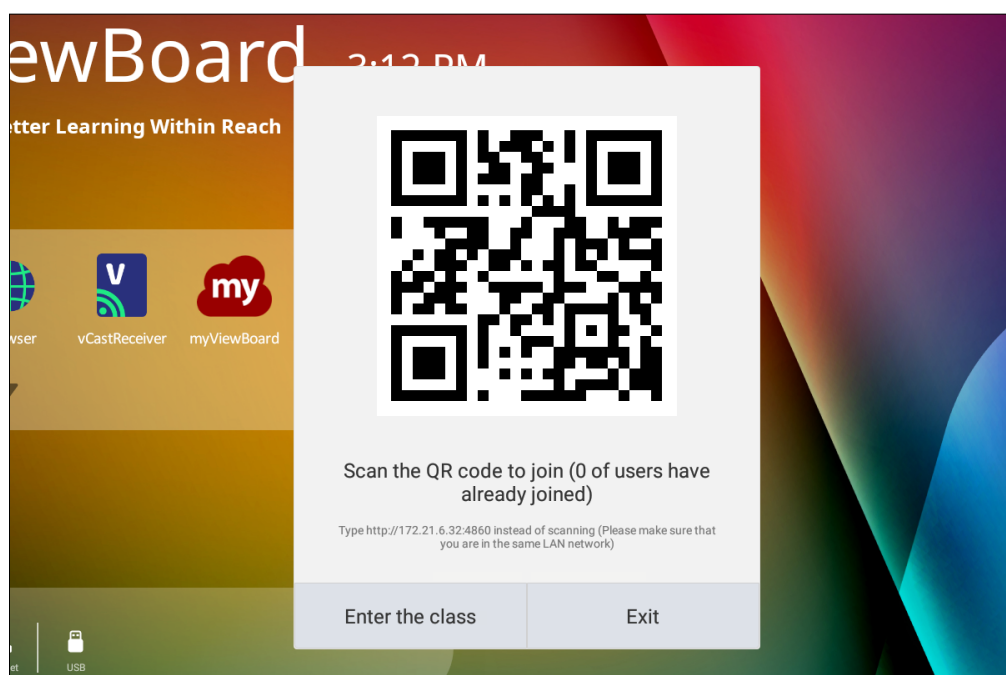


ネットワーク情報

- PC (Windows/Mac/Chromebook)、タブレット / モバイルデバイス (iOS/Android)、ViewBoard が、同じ LAN ネットワークのサブネットに接続されていることが必要です。
- ポート: TCP 8080









Air Class を起動するには：

1. サイトツールバーのトリガーアイコンをタップして、その他のツールアイコンを選択します。次に、エアクラスアイコンを選択します。
2. クラスに入るを選択します。



3. 画面の下部から、利用可能な対話型機能を選択します。



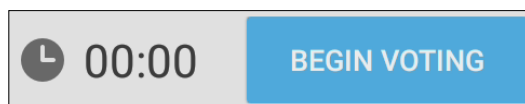
項目	詳細	
	Voter (選択問題)	単一選択および多肢選択の問題。
	Judge (正誤問題)	正誤問題。
	Responder (早押しクイズ)	最初の解答を競います。
	Selector (参加者選択)	参加者をランダムに選択します。
	Grouping (グループ)	参加者をグループに割り当てます。
	Message (メッセージ)	参加者に ViewBoard へのダイレクトメッセージを許可 / 不許可にします。
	Manager (管理)	参加者を追加します。
	終了	エアクラスを終了します。

Voter (選択問題)

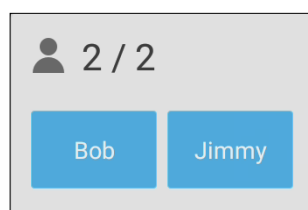
1. Single choice (単一選択) または Multiple choice (多肢選択) アイコンを選択して、解答の種類を選択します。



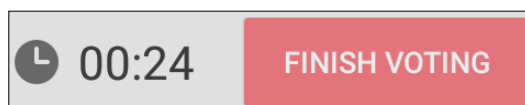
2. BEGIN VOTING (投票の開始) をタップして、参加者が開始できるようにします。



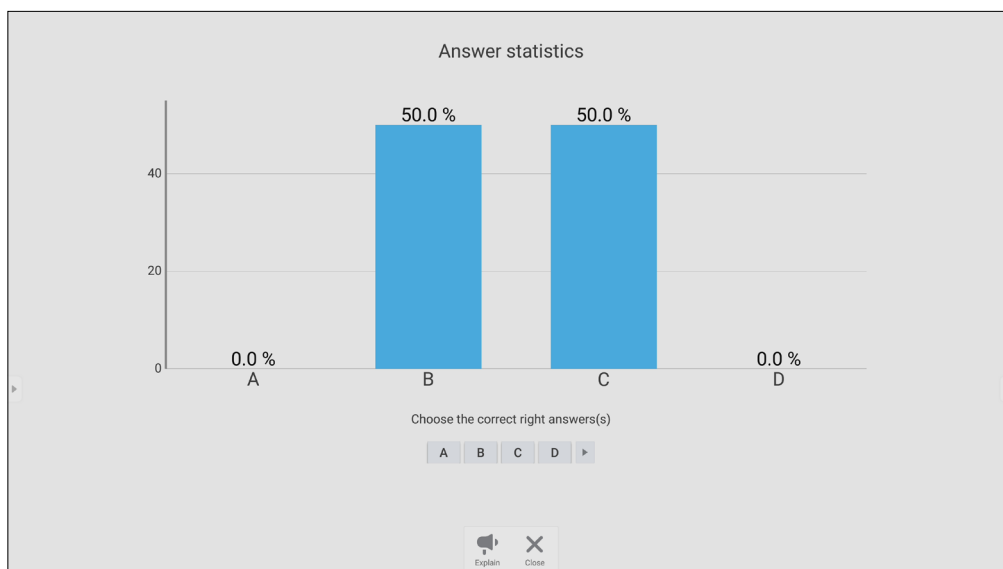
3. 参加者が解答を完了したら、OK を押します。ViewBoard が参加者の名前を画面に表示します。



4. FINISH VOTING (終了) をタップして、クイズを終了します。




5. 次に「Answer Statistics (回答統計)」が表示されます。



6. Right answer (正解) を選択して、正解率を表示します。

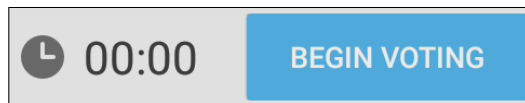


7. Explain (説明) アイコン() をタップして、ウィンドウが縮小になり、トピックをさらに分析します。

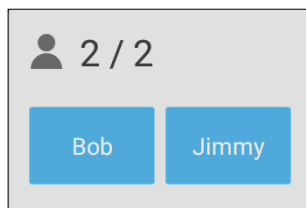
The image shows a digital whiteboard interface. At the top, the equation $2 \times 3 =$ is written in white. Below it, four options are listed: A. 7, B. 6, C. 9, and D. 4, all written in yellow. On the left side, there is a vertical toolbar with various icons for drawing and editing. At the bottom, there is a navigation bar with icons for Voter, Judge, Responder, Selector, Message, Manager, and Exit. In the bottom right corner, a small window titled "Answer statistics" is open, showing a bar chart with the same data as in the previous figure: B and C at 50.0%, and A and D at 0.0%.

Judge (正誤問題)

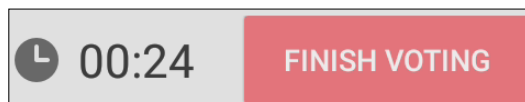
1. BEGIN VOTING (投票の開始) をタップして、参加者が正誤問題を開始できるようにします。



2. 参加者が解答を完了したら、OK を押します。ViewBoard が参加者の名前を画面に表示します。



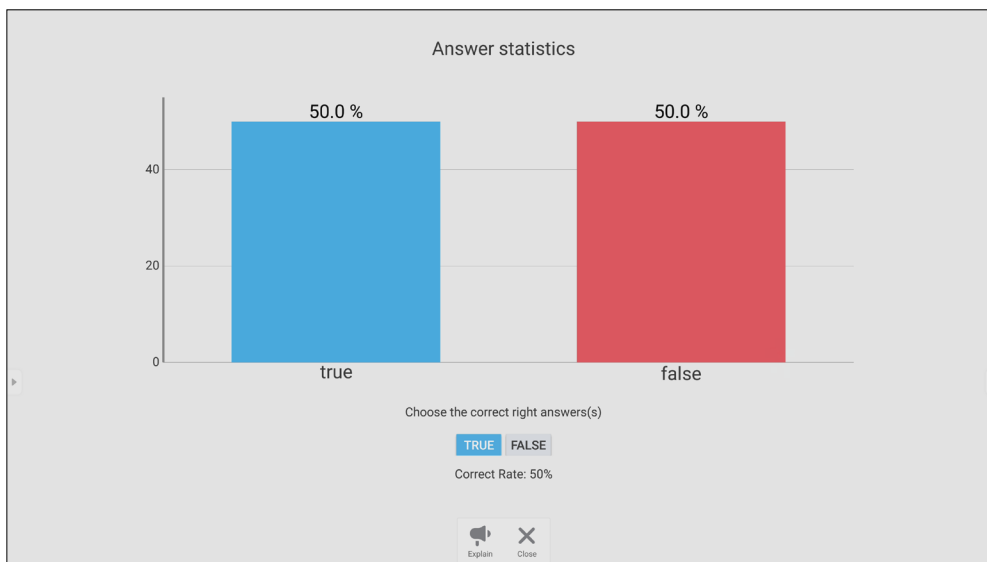
3. FINISH VOTING (終了) をタップして、クイズを終了します。



4. 次に「Answer Statistics (回答統計)」が表示されます。



5. Right answer (正しい回答) を選択して、正解率を表示します。

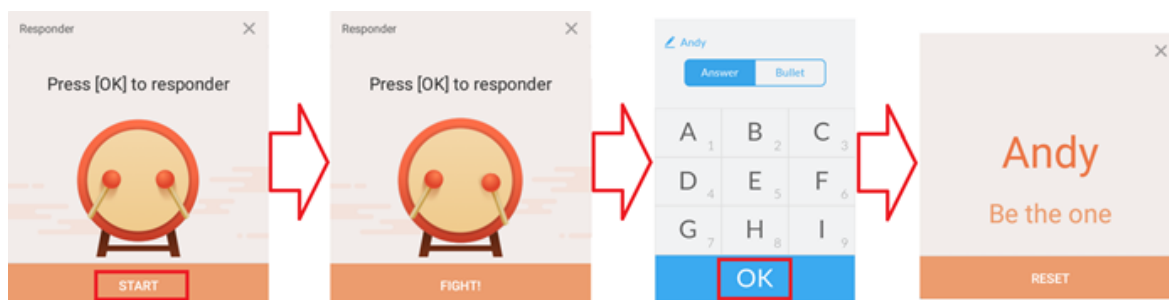


6. Explain (説明) アイコン(🗨️) をタップして、ウィンドウが縮小になり、トピックをさらに分析します。

The screenshot shows a whiteboard interface with a dark background. At the top, the equation $7 + 11 = 17$ is written in orange. Below it, the letters "T" and "F" are written in white, with a question mark to the right. At the bottom right, a small window titled "Answer statistics" is open, showing a bar chart with two bars: a blue bar for "true" and a red bar for "false", both labeled "50.0%". The whiteboard has a toolbar on the left with various drawing tools and a bottom toolbar with icons for "Voter", "Judge", "Responder", "Selector", "Message", "Manager", and "Exit".

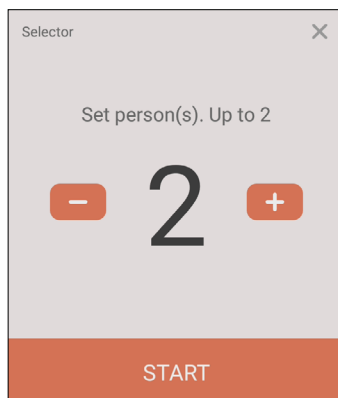
Responder (早押しクイズ)

参加者は解答を選択し、OK をタップして、解答を送信します。



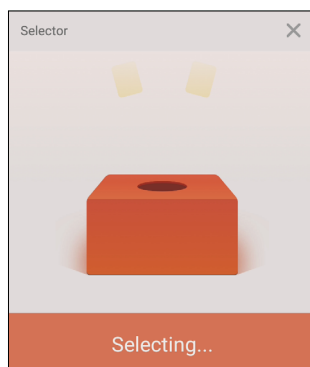
Selector (参加者選択)

1. Selector (参加者選択) アイコンをタップします。
2. 選択する参加者の数を設定します。

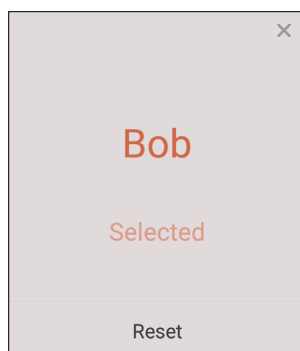


注意事項： 選択できる参加者の数は、参加者の総数に基づきます。

3. START (開始) をタップして、ランダム選択を開始します。



4. 選択された参加者の名前が表示されます。



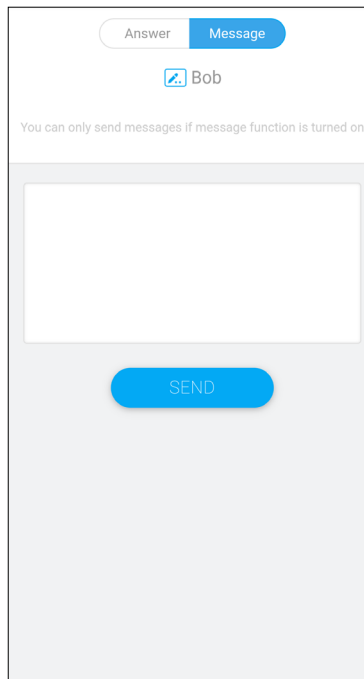
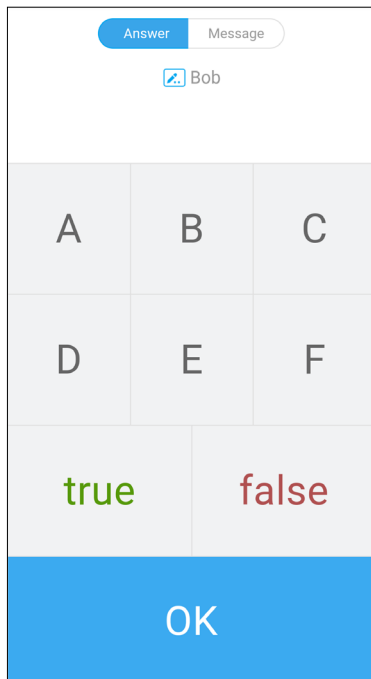
Grouping (グループ)

アイコンをタップして、参加者をグループに割り当てます。

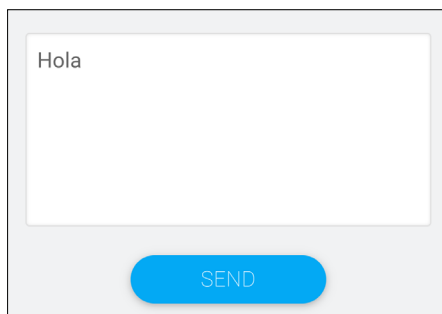
Message (メッセージ)

メッセージを許可する場合：

1. 「Message (メッセージ)」アイコンをタップして、機能を有効にします。
2. 参加者は、Message (メッセージ) を選択して、メッセージインターフェイスに切り替えます。



3. 参加者は、メッセージを入力し、SEND (送信) を選択します。



4. メッセージは、ViewBoard の上部にスクロールされます。

Manager (管理者)

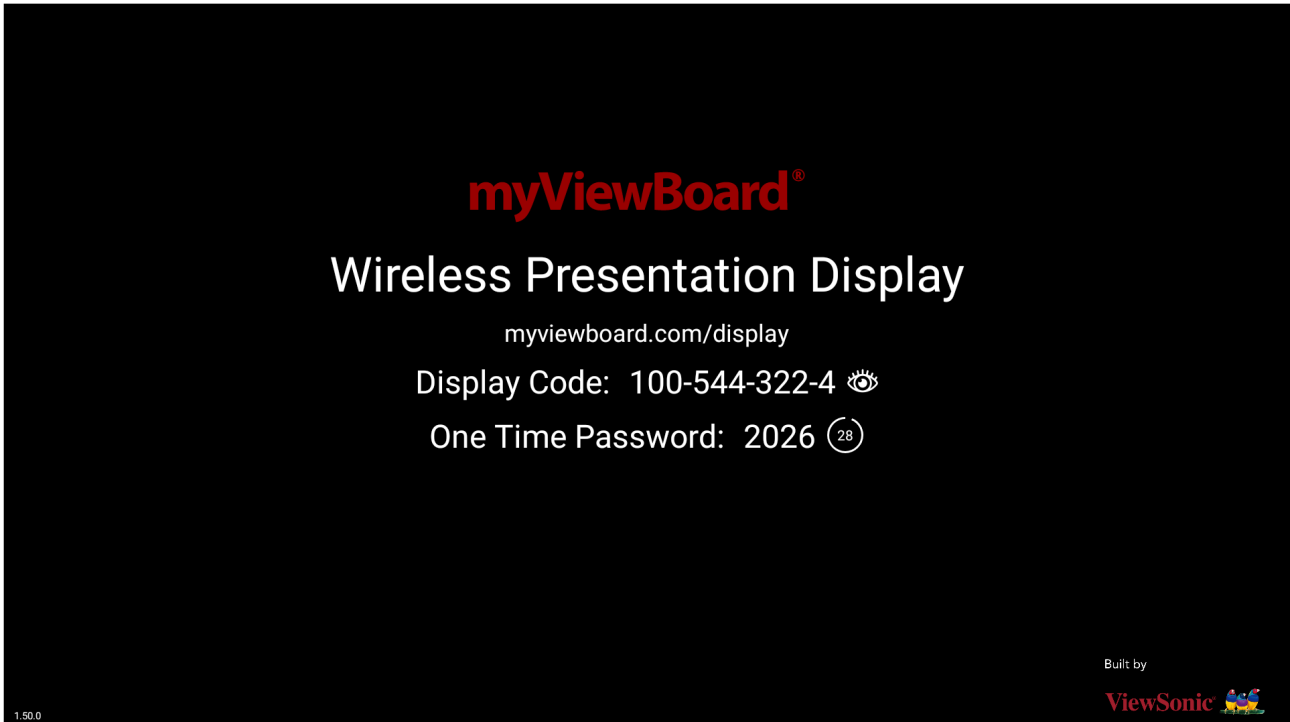
アイコンをタップして、参加者がクラスに参加できるようにします。

終了

選択して、Aair Class のインターフェイスを終了します。

myViewBoard Display

PC の画面をワイヤレスでより大きな ViewBoard にミラーリングします。



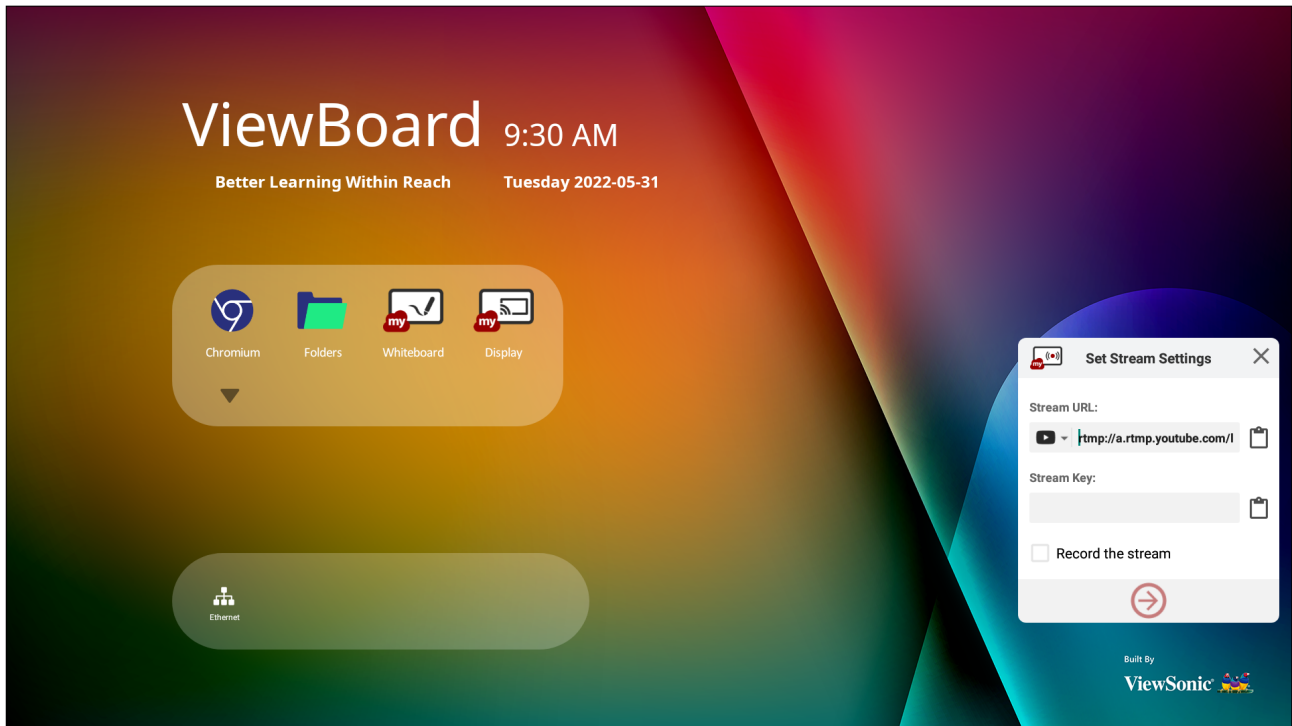
myViewBoard Display を使用して画面を ViewBoard に共有するには：

1. 画面を共有したい ViewBoard で myViewBoard Display を開きます。
2. 画面を共有したいデバイスで、Web ブラウザを使って <https://myviewboard.com/display> にアクセスします。次に、情報入力ページが表示されます。
3. 共有したい ViewBoard の Display Code (表示コード) と One Time Password (ワンタイムパスワード) をお使いの PC に入力します。

注意事項：パスワードは 30 秒ごとに更新されることに注意してください。

myViewBoard Live

ホワイトボードセッションをストリーミングします。



ライブストリーミングを開始するには、ストリーム URL とストリームキーが必要です。myViewBoard Live でストリーミングサービスを選択すると、Stream URL (ストリーム URL) が自動的に表示されます。

注意事項：ストリームキーは、選択したストリーミングサービスから取得されます。

myViewBoard Live の使用には：

1. myViewBoard Live を起動します。
2. 必要な情報を入力します。
3. **ストリームを記録する**チェックボックスを選択して、ストリームのコピーを ViewBoard に記録します (該当する場合)。
4. 矢印アイコンをタップして、ストリームを開始します。

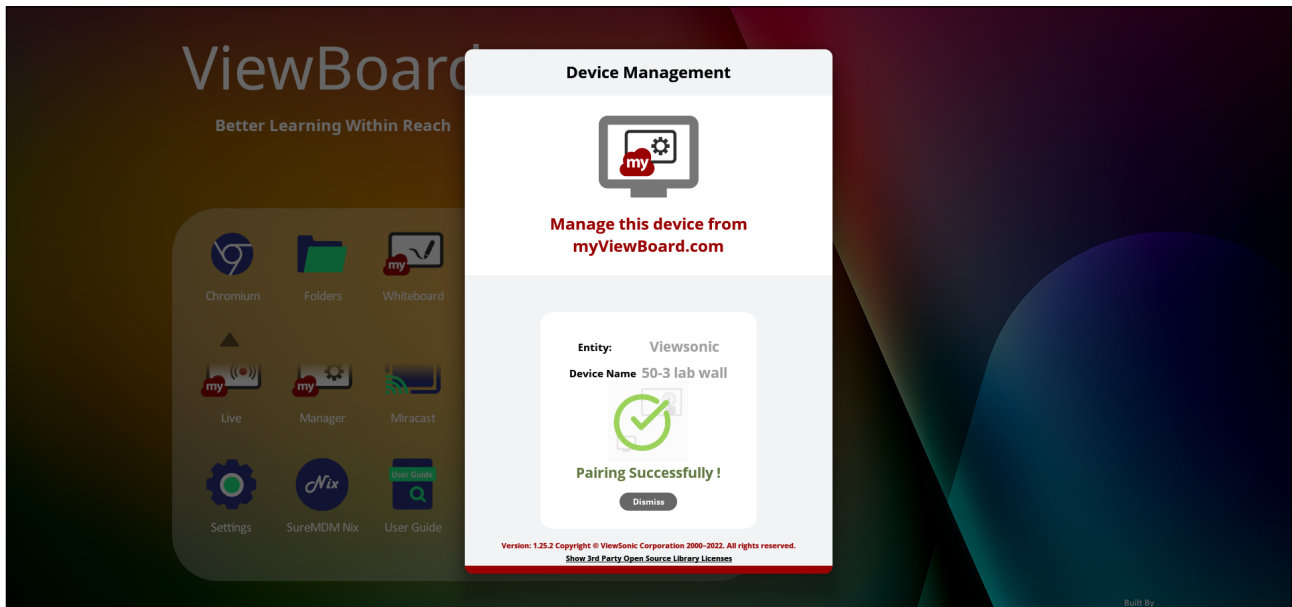
選択したストリーミングサービスのダッシュボードで：

1. ストリームを正常に受信できることを確認します。
2. ストリームを停止するには、選択したサービスのダッシュボードで [ストリームの終了] ボタンを見つけてクリックします。

注意事項： myViewBoard Live の詳細については、myViewBoard 知識ベース (英語) をご覧ください。

myViewBoard Manager

ViewSonic IFP50-5 シリーズをリモートで管理します。



myViewBoard Manager を起動し、myViewboard のサイトから端末登録を行うことで、リモートで管理できるようになります。

注意事項：本機能はエンティティ管理者のみが利用できます。

デバイスの追加手順

IFP50-5 シリーズの操作：

1. myViewBoard Manager を開き、表示された 6 桁の PIN をメモします。

エンティティ管理者の端末での操作：

1. myViewBoard.com にサインインします
2. エンティティの管理をクリックします
3. Add Device をクリックします。
4. 先ほど取得した 6 桁の PIN を入力します。
5. デバイスに名前を付けます (該当する場合)。
6. Add (追加) をクリックします。

注意事項： myViewBoard Manager の詳細については、myViewBoard 知識ベース (英語) をご覧ください。

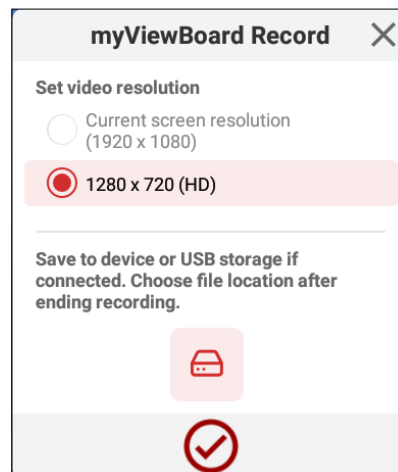
myViewBoard Record

画面に表示されているすべてのものをビデオ形式でキャプチャします。



画面記録アプリケーションを起動するには：

1. アプリケーションドロワーの myViewBoard Record アイコンを選択します。
2. 優先する録音構成を選択します。

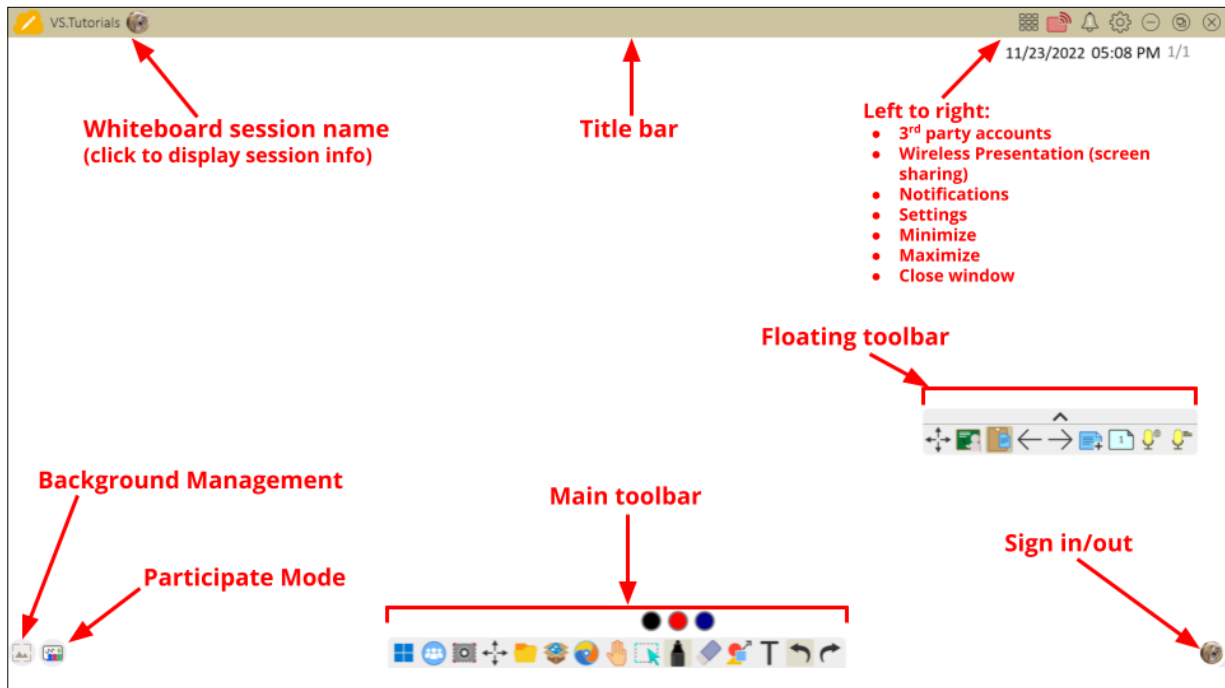


3. チェックマークをタップすると、3 秒のカウントダウンが始まります。画面の記録は、カウントダウンの直後に開始されます。
4. 録画を停止すると、ビデオをプレビュー、保存、または破棄できるようになります。








myViewBoard Whiteboard

デジタルホワイトボードアプリケーション。

注意事項： myViewBoard Whiteboard の詳細については、**myViewBoard 知識ベース (英語)** をご覧ください。





Floating Toolbar (フローティングツールバー)

項目	詳細
	移動 フローティングツールバーを動かします。
	プレゼンテーションモード プレゼンテーションモードと準備モードを切り替えます。
	クリップボードから貼り付け 現在のクリップボードの内容をキャンバスに挿入します。
	前のページ 前のページに移動します (キャンバスに複数のページがある場合)。
	次のページ 次のページに移動します (キャンバスに複数のページがある場合)。
	新しいページ 新しいキャンバスを追加します。
	ホワイトボードのページ ページを作成、選択、再配置、コピー、削除します。

メインツールバー

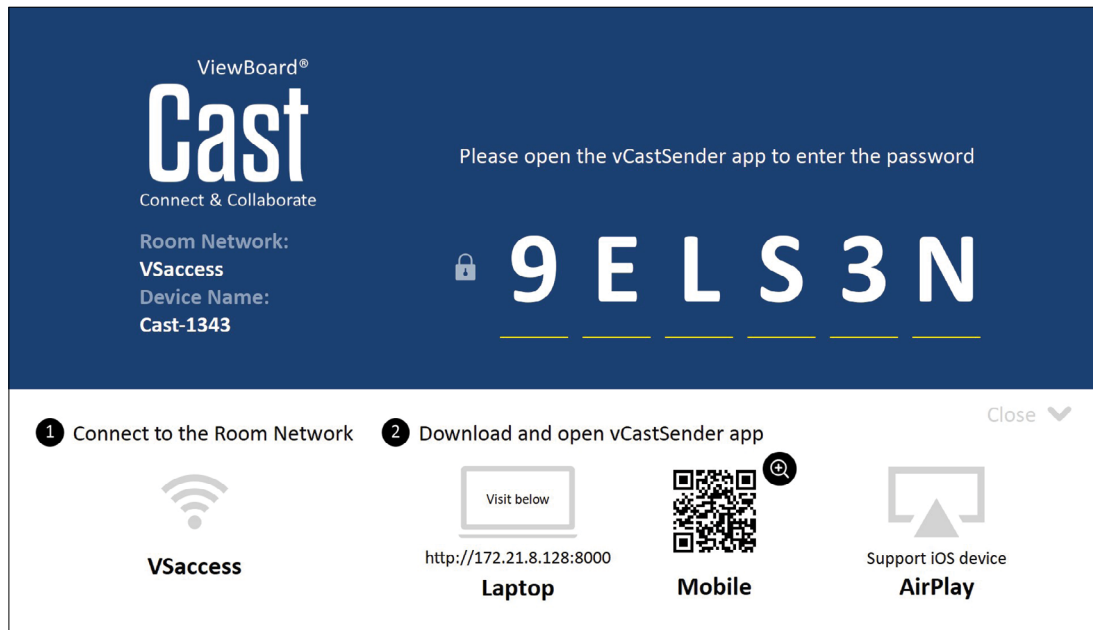
項目	詳細
 画面キャプチャ	スクリーンショット、ビデオ、およびオーディオの記録。
 移動	長押しすると、ツールバーが画面の左側、右側、または下部に移動します。
 ファイル	ホワイトボードファイルを開き、保存し、エクスポートし、印刷します。
 マジックボックス	リソース (画像、ビデオ、オーディオなど) をホワイトボードにインポートします。
 組み込みブラウザ	組み込みブラウザを開いて、キャンバスにドラッグできるインターネットリソースにアクセスします。
 無限キャンバス	ドラッグしてキャンバスを移動します。両手を使って、ズームイン/ズームアウトします。もう一度選択して概要を確認してください。
 選択	キャンバス上のオブジェクト、テキスト、その他の要素を選択します。
 ペン	書き込みツールとカスタマイズオプション。
 消しゴム	オブジェクトを消去するか、ページをクリアします。
 図形とライン	図形や矢印を描き、表を追加します。
 テキストと手書き	テキストボックスを追加します。
 元に戻す	前のアクションを元に戻します。
 やり直し	前のアクションをやり直します。

背景管理

項目		詳細
	サインイン	myViewBoard アカウントにサインインします。
	背景管理	キャンバスの背景を変更します。
	カスタム画像	クラウドストレージアカウントにアップロードされたカスタム画像を表示します。
	背景色	背景の色を選択、変更することができます。
	壁紙	Whiteboard にプリインストールされている背景を選択します。
	myViewBoard Originals	myViewBoard によって作成されたオリジナルコンテンツを表示します。
	ローカルドライブ	ローカルハードドライブのイメージを使用します。

ViewBoardCast

ViewBoard® Cast ソフトウェアである vCastReceiver アプリケーションを使用すると、ViewBoard® は vCastSender 端末画面 (Windows/Mac/Chrome) およびモバイル (iOS/Android) ユーザーの画面、写真、ビデオ、注釈、およびカメラを受信できるようになります。



ネットワーク情報

- ViewBoard® Cast ソフトウェア、ラップトップ、およびモバイルデバイスは、同じサブネットとサブネットネットワークの両方に接続できます。
- 接続されたデバイスは、同じサブネット接続の「デバイスリスト」の下に表示されます。
- デバイスが「デバイスリスト」の下に表示されない場合、画面上の PIN コードを入力してください。

ViewBoard Cast はワイヤレスピアツーピアデータ通信であるため、以下のポート設定が必要です。

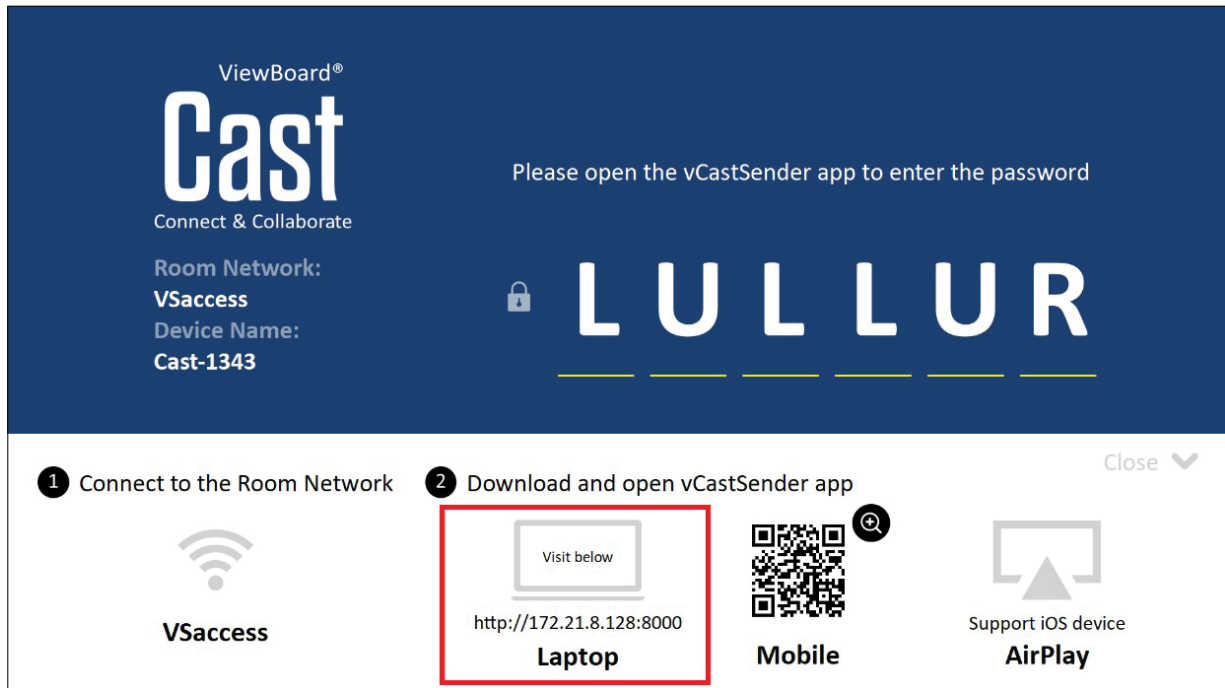
ポート:

- CP: 56789、25123、8121、および 8000
- UDP: 48689 および 25123

ポートと DNS のアクティブ化:

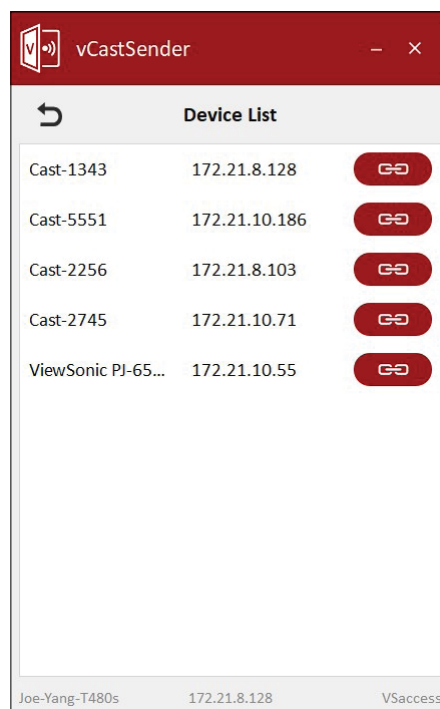
- ポート : 8001
- DNS: h1.ee-share.com

Windows、Macbook、および Chrome デバイスから送信者をキャスト



Mac、Windows、Chrome デバイス：

1. デバイスが ViewBoard と同じネットワークに接続されていることを確認してください。
2. ViewBoard に表示されているアドレスにアクセスして、アプリケーションをダウンロードします。
3. アプリケーションを起動して、アプリケーションを起動して、PIN コードを入力するか、「デバイスリスト」をクリックしてから、接続したい「デバイス名」をクリックします。



注意事項： デバイスが表示されない場合は、PIN コードで接続するをクリックして、ViewBoard に表示される PIN コードを入力してください。

iOS、Android OS モバイルデバイスから送信者をキャスト

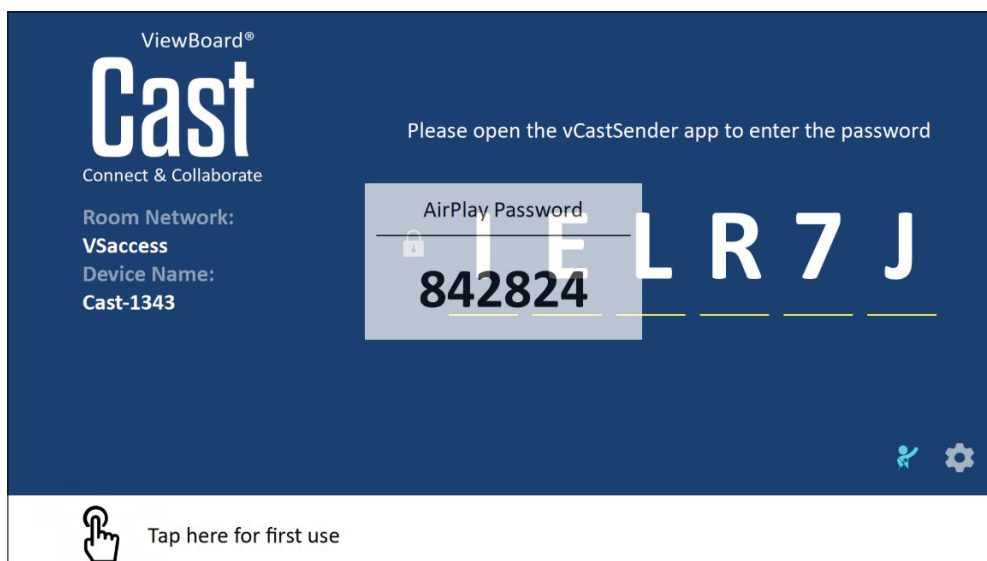


Android/iOS デバイス：

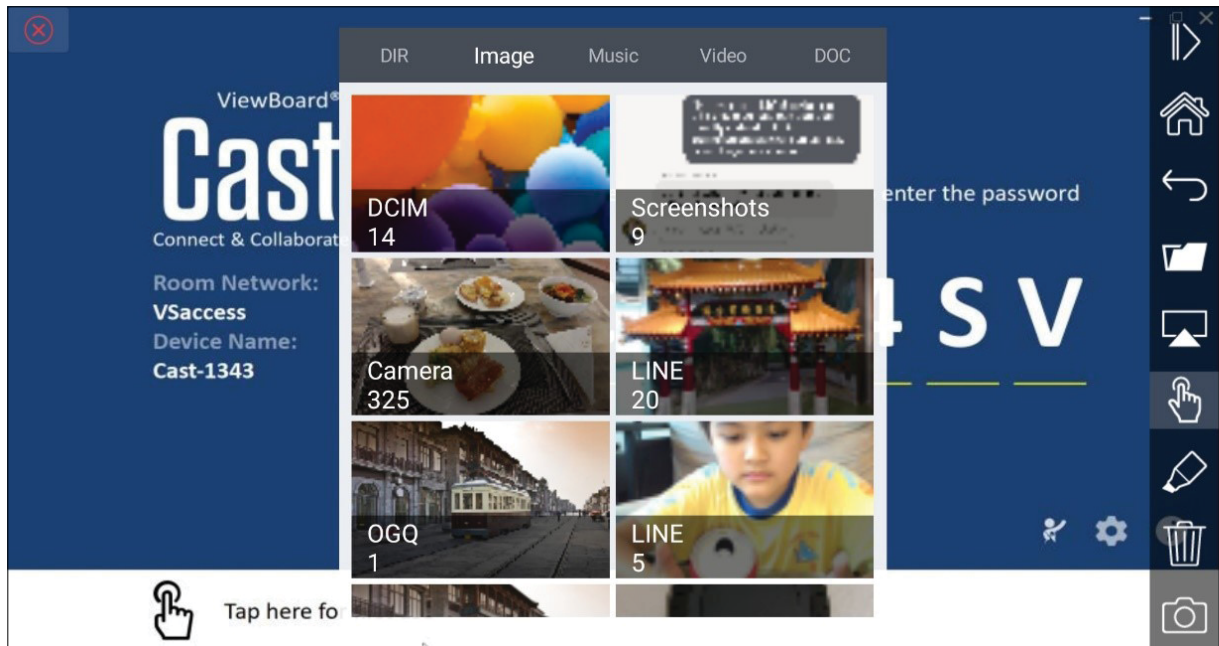
1. デバイスが ViewBoard と同じネットワークに接続されていることを確認してください。
2. ViewBoard に表示されている QR コードをスキャンして、サーバーから直接ダウンロードするか、Google Play ストアまたは Apple ストアからダウンロードしてください。
3. アプリケーションを起動し、正しいデバイス名を選択して、接続する PIN を入力してください。ViewBoard に表示されている PIN コードを直接入力して接続することもできます。










Apple AirPlay®：

1. デバイスが ViewBoard と同じネットワークに接続されていることを確認してください。
2. AirPlay を直接開き、接続するデバイス名を選択してください。
3. 別の「AirPlay パスワード」が接続用に画面上に生成されます。



注釈をサポートするモバイルデバイスからキャスト

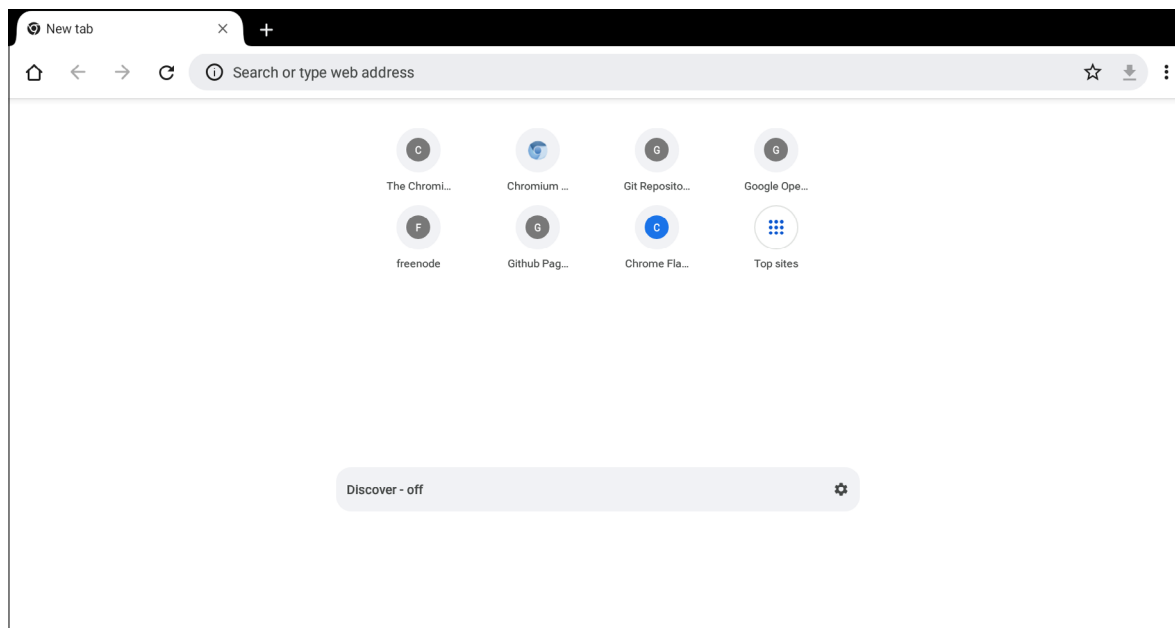


項目	詳細	
	切り替え	ツールバーを非表示または表示します。
	ホーム	ホームインターフェイスに戻ります。
	戻る	前の操作インターフェイスに戻ります。
	フォルダ	モバイルデバイスの内部ファイルを表示または開きます。
	画面共有	画面を共有します。 注意事項: Android 5.0 以上でサポートされます。
	タッチ)	タッチモードに切り替えます。
	ペン	注釈を作成し、色や太さを変更します。
	クリア	画面上のすべてを消去します。
	カメラ	カメラを使用して、画像を ViewBoard に送信します。

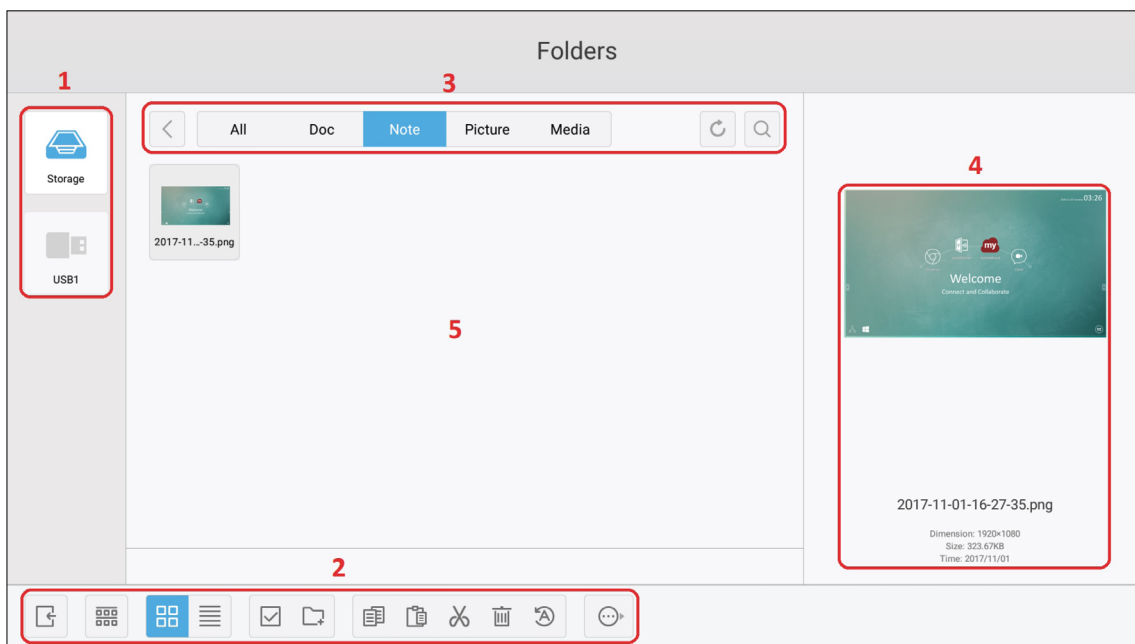
その他のデフォルトアプリケーション

Chromium

ウェブページ閲覧用の Web ブラウザ。















フォルダ



1. ストレージデバイスの表示

適切なストレージデバイスを選択します。

2. アイコン

項目		詳細
	終了	フォルダを終了します。
	ソート	ファイルを並べ替えます。
	サムネイル	ファイルをサムネイルビューで表示します。
	リスト	ファイルをリストビューで表示します。
	選択	ファイルを選択します。
	フォルダの追加	フォルダを追加します。
	コピー	ファイルをコピーします。
	貼り付け	ファイルを貼り付けます。
	切り取り	ファイルを切り取ります。
	削除	ファイルを削除します。
	名前を変更	ファイルの名前を変更します。
	その他	その他の機能を表示します。

3. ファイルタイプメニュー

項目	詳細
すべて	すべてのタイプ
Doc	Office ファイル
注意事項	myViewBoard により保存された画像、サイドツールバー、リモコンの画面キャプチャボタン。
ピクチャ	画像ファイル
メディア	オーディオおよびビデオファイル

4. ファイル情報

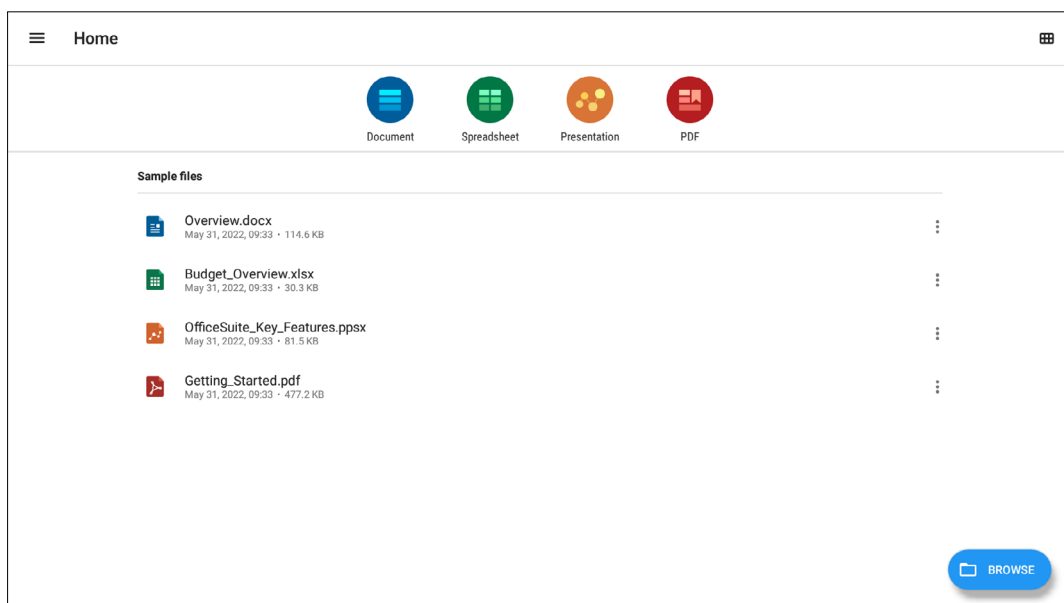
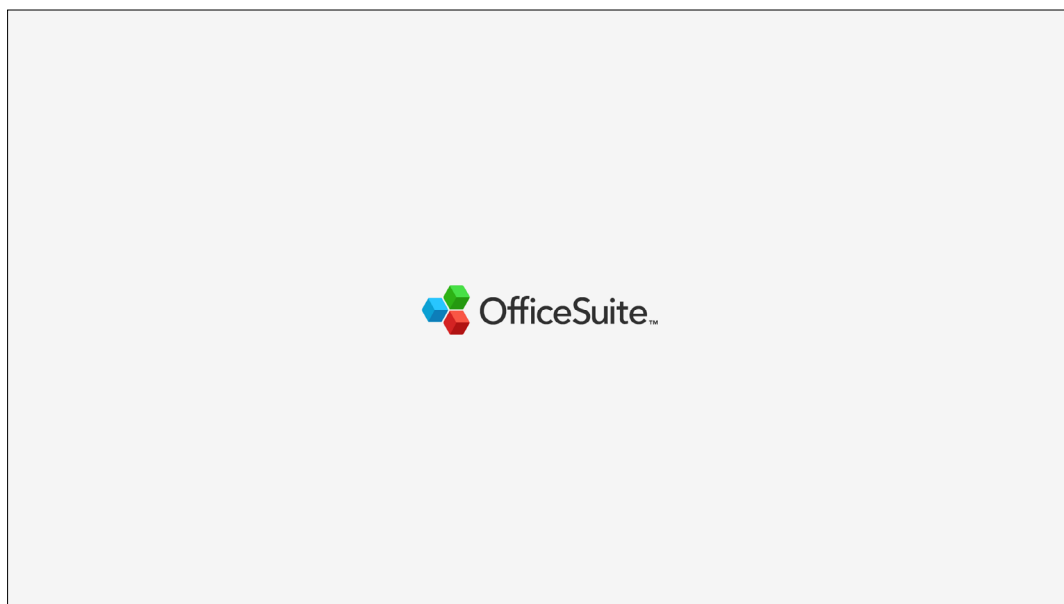
ファイルをプレビューし、ファイルの名前、サイズ、解像度、作成日を表示します。

5. メイン表示領域

対応するタイプのファイルを表示します。

OfficeSuite

ドキュメント、スプレッドシート、プレゼンテーション、PDF を作成、編集、表示します。



画面ロック

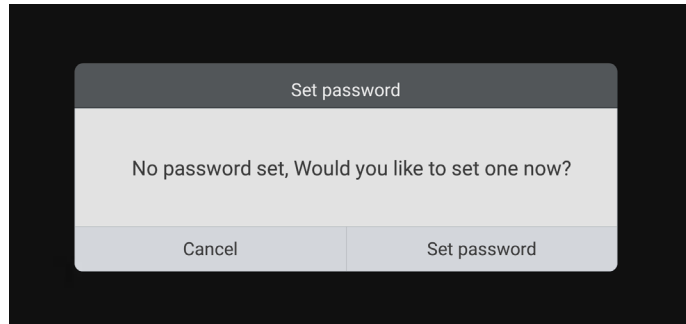
画面ロックパスワードを設定し、画面ロックを有効にします。

注意事項：ユーザーがパスワードを忘れた場合は、リモコンを使用して INPUT-0-2-1-4 を押して、パスワードをデフォルトに戻します。

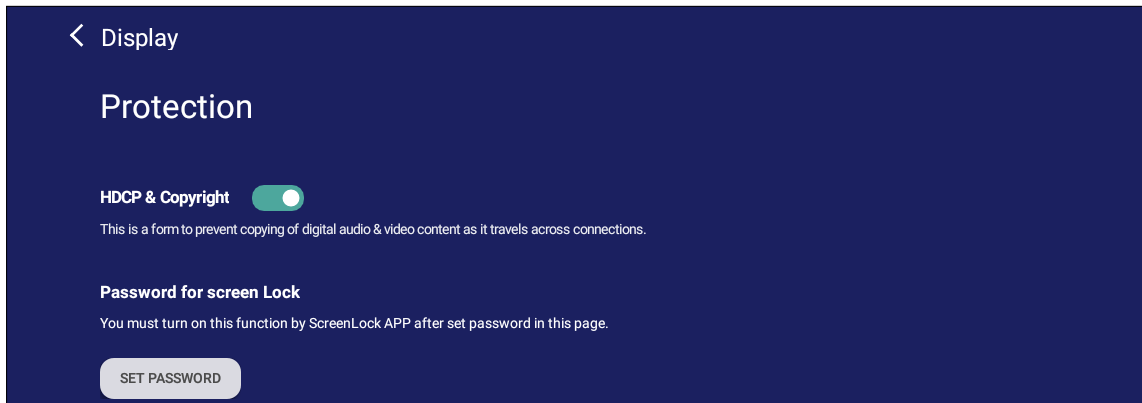
画面ロックのパスワードを設定するには：

1. 以下に進みます：設定 > ディスプレイ > 画面ロック用パスワード、またはアプリケーションリストで画面ロックを選択します。

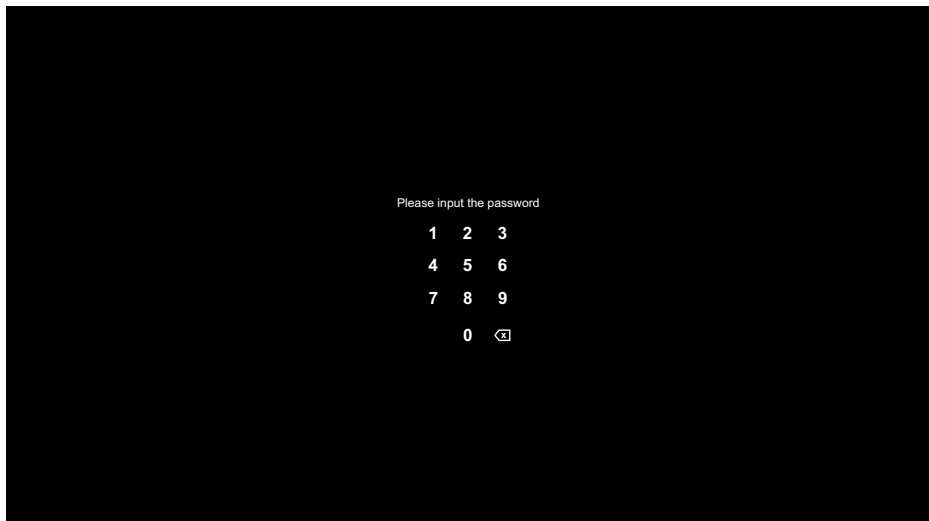
注意事項：画面ロックアイコンを選択し、パスワードが設定されていない場合、次のメッセージプロンプトが表示されます。



2. パスワードの設定を選択し、新しい 4 桁のパスワードを入力します。次に、OK を選択します。

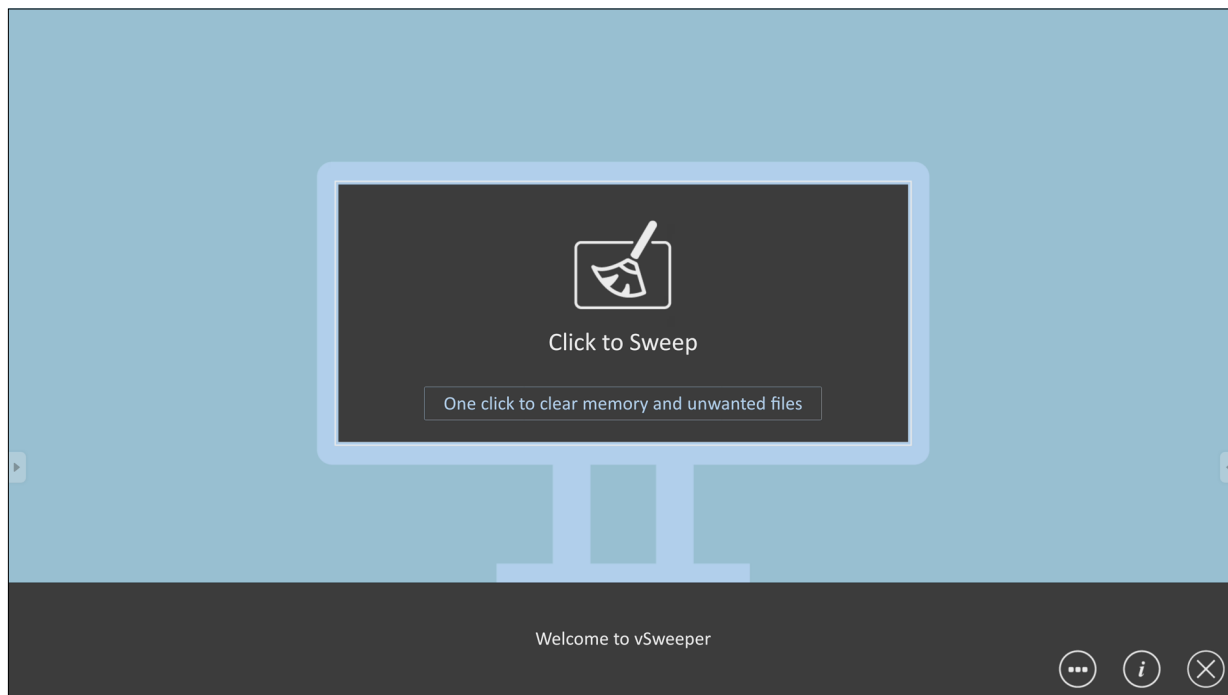


3. これで、画面ロックアイコンを選択すると、画面がロックされます。

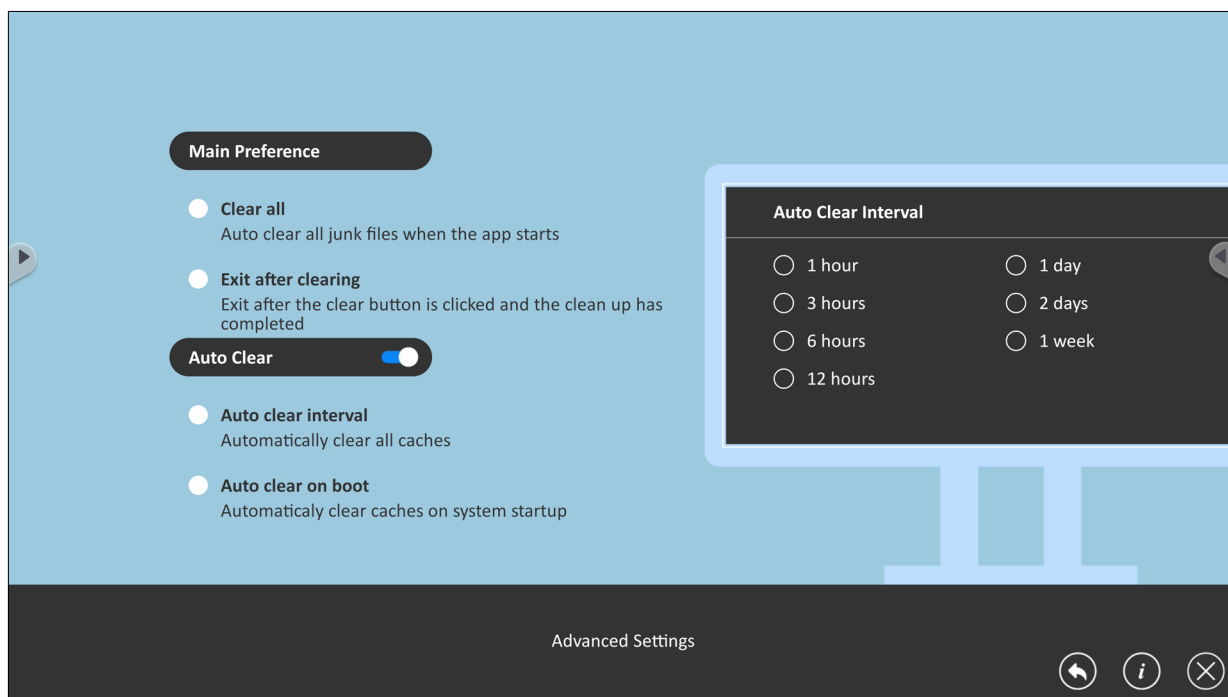


vSweeper

不要なデータと不要なファイルをクリアします。



詳細設定は、ユーザーのニーズに合わせてカスタマイズすることもできます。



RS-232 プロトコル

本章では、ViewSonic IFP50-5 シリーズと PC または RS-232 プロトコルを使用するその他の制御ユニットとの間の RS-232 インターフェイス通信のハードウェアインターフェイス仕様とソフトウェアプロトコルについて説明します。

プロトコルには 3 つのコマンドセクションがあります：

- Set- 関数
- Get- 関数
- リモコンパススルーモード

注意事項： 下記では、「PC」は RS-232 プロトコルコマンドを送受信できるすべての制御装置を表します。

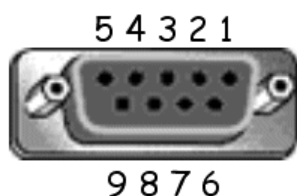
詳細

RS-232 ハードウェア仕様

背面にある ViewSonic IFP50-5 シリーズ通信ポート：

1. コネクタのタイプ：DSUB 9 ピンオス型 (または 3.5 mm バレルコネクタ)
2. 接続にクロスオーバー (ヌルモデム) ケーブルを使用する
3. ピンの配置

メス型 DSUB 9 ピン



オス型 DSUB 9 ピン



ピン番号	信号	備考
1	NC	
2	RXD	ディスプレイへの入力
3	TXD	ディスプレイからの出力
4	NC	
5	GND	
6	NC	
7	NC	
8	NC	
9	NC	外部の特定の dongle *3.0 に対して +5V/2A の電源を供給する
メス型	GND	

3.5 mm バレルコネクタ
(限られたスペース用の代替)

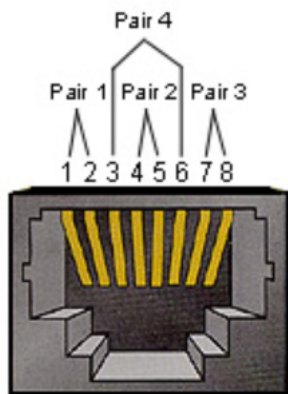


項目	信号	備考
先端	TXD	ディスプレイからの出力
リング	RXD	ディスプレイへの入力
スリーブ	GND	

LAN ハードウェア仕様

背面にある ViewSonic IFP50-5 シリーズ通信ポート:

1. コネクタのタイプ: 8P8C RJ45
2. ピンの配置



ピン番号	信号	備考
1	TX+	ディスプレイからの出力
2	TX-	ディスプレイからの出力
3	RX+	ディスプレイへの入力
4	BI_D3+	1G ケースの場合
5	BI_D3-	1G ケースの場合
6	RX-	ディスプレイへの入力
7	BI_D4+	1G ケースの場合
8	BI_D4-	1G ケースの場合
メス型	GND	

RS232 通信設定

- ボーレート選択: 9600bps (固定)
- データビット: 8 ビット (固定)
- パリティ: なし (固定)
- ストップビット: 1 (固定)

LAN 通信設定

- タイプ: イーサネット
- プロトコル: TCP/IP
- ポート: 5000 (固定)
- クロスサブネット: いいえ
- ログイン資格情報: いいえ

コマンドメッセージリファレンス

PC から、LED コマンドパケットに続いて「CR」が送信されます。PC からディスプレイに制御コマンドが送信される度に、ディスプレイは毎回以下のように応答します:

1. メッセージを正しく受信した場合、「+」(02Bh) に続けて「CR」(00Dh) と送信します。
2. メッセージを誤って受信した場合、「-」(02Dh) に続けて「CR」(00Dh) と送信します。

プロトコル

Set- 関数リスト

PC からディスプレイの特定の動作を制御できます。Set- 関数コマンドを使用すると、RS-232 ポートを通してリモートサイトのディスプレイの動作を制御できます。Set- 関数パッケージフォーマットは 9 バイトです。

Set- 関数の説明:

長さ: 「CR」を除くメッセージの総バイト数

LFD ID 各ディスプレイの ID (01 ~ 98、デフォルトは 01)。
ID 「99」は、接続されているすべてのディスプレイに set コマンドを適用することを意味します。このような状況では、ID#1 ディスプレイのみが応答する必要があります。
LFD ID は、各ディスプレイの OSD メニューから設定できます。

コマンドタイプ コマンドタイプの説明
「s」(0x73h): コマンドを設定する
「+」(0x2Bh): 有効なコマンド応答
「-」(0x2Dh): 無効なコマンド応答

コマンド: 関数コマンドコード: 1 バイトの ASCII コード。

値[1~3]: 値を定義する 3 バイトの ASCII。

CR 0x0D

Set- 関数形式

送信:(コマンドタイプ =「s」)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
バイト数	1 バイト	2 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト
バイト順	1	2~3	4	5	6	7	8	9

応答:(コマンドタイプ =「+」または「-」)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	CR
バイト数	1 バイト	2 バイト	1 バイト	1 バイト
バイト順	1	2~3	4	5

注意事項: PC がすべてのディスプレイ (ID = 99) にコマンドを適用した場合、1

番目のセットのみが ID = 1 の名称で応答する必要があります。

**例 1: ディスプレイ (#02) の輝度を 76 に設定する場合、このコマンドは有効です
送信 (16 進形式)**

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
Hex	0x38	0x30 0x32	0x73	0x24	0x30	0x37	0x36	0x0D

応答 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	CR
Hex	0x34	0x30 0x32	0x2B	0x0D

例 2: ディスプレイ (#02) の輝度を 75 に設定する場合、このコマンドは有効ではありません

送信 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
Hex	0x38	0x30 0x32	0x73	0x24	0x30	0x37	0x35	0x0D

応答 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	CR
Hex	0x34	0x30 0x32	0x2D	0x0D

Set 関数表:

A. 基本機能

Set関数	長さ	ID	コマンド		値の範囲	コメント	
			タイプ (ASCII)	コード (ASCII)			コード (16進)
電源オン/オフ (スタンバイ)	8		s	!	21	000: STBY 001: オン	1. LAN制御による電源投入は、特定のモード下でのみ機能する場合があります。詳細については、ディスプレイUGを参照してください。*3.1.1 2.代わりに、「WOL by MACアドレス」を利用できる場合があります。*3.2.1
入力選択	8		s	“	22	000: テレビ 001: AV 002: Sビデオ 003: YPbPr 004: HDMI1 014: HDMI2 024: HDMI3 034: HDMI4 005: DVI 006: VGA1 016: VGA2 026: VGA3 007: スロットインPC (OPS/SDM)/HDBT 008: 内蔵メモリ 009: DP 00A: 組み込み/メイン (Android)	1.USB不要 2.同じソースが2つある場合は、2番目の数字が拡張子を表わすために使用されます。 3.00Aの16進は30 30 41です。
輝度)	8		s	\$	24	000 ~ 100 900: 明るさを上げる (-1) 901: 明るさを下げる (+1) *3.1.1	
バックライト*3.2.0	8		A	B	42	000 ~ 100	1.メインモードがバックライトによって制御され、他のソースが明るさによって制御されるAndroidプラットフォームの場合。 2.色校正から抽出されます。 *3.2.0
電源ロック	8		s	4	34	000: ロック解除 001: ロック	*詳細は注意事項を参照
音量	8		s	5	35	000 ~ 100 900: 音量 ダウン (-1) 901:音量アップ (+1)	

ミュート	8		s	6	36	000: オフ 001: オン (ミュート)	
ボタンロック	8		s	8	38	000: ロック解除 001: ロック	*詳細は注意事項を参照
メニューロック	8		s	>	3E	000: ロック解除 001: ロック	*詳細は注意事項を参照
数字*3.1.1	8		s	@	40	000~009	
キーパッド*3.1.1	8		s	A	41	000: 上 001: 下 002: 左 003: 右 004: 入力 005: インプット 006: メニュー/ (終了) 007: 終了	
リモートコントロール	8		s	B	42	000: オフ 001: オン 002: パススルー	オフ: RCUは機能しません オン: RCUが正常に制御します パススルー: ディスプレイはRCコードを迂回して、接続された機器へとRS232ポートを通して進みますが、ディスプレイ自体は反応しません。
デフォルトを復元	8		s	~	7E	000	工場出荷時設定に復元

注意事項：

1. ロックモードでの動作

ロックモード	動作
ボタンロック	<ol style="list-style-type: none"> 「電源」ボタンを除く、フロントパネルと RCU のすべてのボタンをロックします すべての SET 関数は、Mute など RCU のホットキーに準じている場合でも、RS-232 を経由して動作する必要があります。
メニューロック	<ol style="list-style-type: none"> フロントパネルと PCU の「MENU」キーをロックします 工場モードとホスピタリティモードは、MENU 組み合わせキーを使って、これらのモードに移行するモデルの場合、ブロックされないことが必要です。モデルにより制限がある場合、代替アプローチは個別に提示されます。
電源ロック	<ol style="list-style-type: none"> フロントパネルと PCU の「POWER」キーをロックします。 SET_POWER が RS-232 を経由して動作する必要があります。ただし、この場合、POWER ロックが解除されることを意味するものではありません。 OSD 設定で再設定することにより、ロック解除できなくなります。 電源ロック時に自動的に AC 電源をオンにする 電源ロック時に、これを設定すると、PC 信号がない場合でも、省エネモードに移行しません、また 15 分間ビデオ信号がない場合でもオフになりません。
リモコンオフ	RCU キーをロックしますが、フロントパネルのボタンを動作し続けます。

2.SET 電源オンの代替としての MAC アドレスによるウェイクオン LAN

(長さ =126 バイト)

117

6バイト	6バイト (#1)	6バイト (#2)	...	6バイト (#16)	24バイト

B. オプション機能

Set関数	長さ	ID	コマンド		値の範囲	コメント	
			タイプ (ASCII)	コード (ASCII)			コード (16進)
コントラスト	8		s	#	23	000 ~ 100	
シャープネス	8		s	%	25	000 ~ 100	
色	8		s	&	26	000 ~ 100	
(色合い)	8		s	'	27	000 ~ 100	
Backlight On_Off	8		s	(29	000: Off (オフ) 001: On (オン)	
色モード	8		s)	29	000: ノーマル 001: 暖色 002: 冷色 003: パーソナル	
サラウンドサウンド	8		s	-	2D	000: オフ 001: オン	
低音	8		s	.	2E	000 ~ 100	
高音	8		s	/	2F	000 ~ 100	
バランス	8		s	0	30	000 ~ 100	050は中央です
画像サイズ	8		s	1	31	000: フル (16:9) 001: ノーマル (4:3) 002: リアル (1:1) *3.1.0	
OSD言語	8		s	2	32	000: 英語 001: フランス語 002: スペイン語	モデルによっては対応言語を増やすために拡張可能
PIP-モード	8		s	9	39	000: オフ 001: PIP(POP) 002: PBP	
PIP-サウンド選択	8		s	:	3A	000: メイン 001: サブ	
PIP-位置	8		s	;	3B	000: 上 001: 下 002: 左 003: 右	
PIP-入力	8		s	7	37 *2.9	000: テレビ 001: AV 002: Sビデオ 003: YPbPr 004: HDMI1 014: HDMI2 024: HDMI3 034: HDMI4 005: DVI 006: VGA1 016: VGA2 026: VGA3 007: スロットインPC (OPS/SDM)/HDBT 008: 内蔵メモリ 009: DP 00A: 組み込み/メイン (Android)	値の範囲はSET-入力選択と同じ

タイルモード	8		s	P	50	000: オフ 001: オン	(ビデオウォール用)
タイル補正	8		s	Q	51	000: オフ 001: オン	(ビデオウォール用) ベゼル幅補正
Vモニターによる タイル-水平	8		s	R	52	01x~09x: H 0x1~0x9: V	(ビデオウォール用) 1.水平モニター用の 2番目の桁 2.垂直モニター用の 3番目の桁
タイル位置	8		s	S	53	001~025	(ビデオウォール用) 位置#の画面を識別されたディスプレイにコピー
日付:年	8		s	V	56	Y17~Y99	最後の2桁 (20)17~(20)99
日付:月	8		s	V	56	M01~M12	2桁
日付:日	8		s	V	56	D01~D31	2桁
時刻:時間	8		s	W	57	H00~H23	24時間形式。2桁
時刻:分	8		s	W	57	M00~M59	2桁
時刻:秒	8		s	W	57	S00~S59	2桁

注意事項：

1. 水平モニター、垂直モニター、位置のタイル定義



2. 日付設定の例

日付：2017-3/15

送信： 0x 38 30 31 73 56 59 31 37 0D (“Y17”)

送信： 0x 38 30 31 73 56 4D 30 33 0D (“M03”)

送信： 0x 38 30 31 73 56 44 31 35 0D (“D15”)

3. 時刻設定の例

時刻：16:27:59

送信： 0x 38 30 31 73 57 48 31 36 0D (“H16”)

送信： 0x 38 30 31 73 57 4D 32 37 0D (“M27”)

送信： 0x 38 30 31 73 57 53 35 39 0D (“S59”)

Get- 関数リスト

PC から LFD に特定の情報を問い合わせることができます。Get- 関数パケット形式は 9 バイトで構成されており、Set- 関数パケットの構造と似ています。「値」バイトは常に = 000 です。

Gt- 関数の説明:

- 長さ: 「CR」を除くメッセージの総バイト数。
- TV/DS ID: 各TV/DSのID (01~98、デフォルトは01)。
- コマンドタイプ: コマンドタイプの説明
 “g” (0x67h): コマンドを取得する
 “r” (0x72h): 有効なコマンド応答
 “-” (0x2Dh): 無効なコマンド応答
- コマンド: 関数コマンドコード: 1バイトのASCIIコード。
- 値[1~3]: 値を定義する3バイトのASCII。
- CR: 0x0D

Get- 関数形式

送信:(コマンドタイプ = 「g」)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
バイト数	1バイト	2バイト	1バイト	1バイト	1バイト	1バイト	1バイト	1バイト
バイト順	1	2~3	4	5	6	7	8	9

応答:(コマンドタイプ = 「r」または「-」)

コマンドが有効な場合はコマンドタイプ = 「r」

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
バイト数	1バイト	2バイト	1バイト	1バイト	1バイト	1バイト	1バイト	1バイト
バイト順	1	2~3	4	5	6	7	8	9

コマンドが有効でない場合はコマンドタイプ = 「-」

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	CR
バイト数	1バイト	2バイト	1バイト	1バイト
バイト順	1	2~3	4	5

例 1:TV-05 の輝度を取得する場合。このコマンドは有効です。輝度の値は 67 です。

送信 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
Hex	0x38	0x30 0x35	0x67	0x62	0x30	0x30	0x30	0x0D

応答 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
Hex	0x38	0x30 0x35	0x72	0x62	0x30	0x36	0x37	0x0D

例 2:ディスプレイ (#05) からカラーを取得します。しかし、カラーコマンドは、このモデルによってサポートされていません。

送信 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
Hex	0x38	0x30 0x35	0x67	0x26	0x30	0x30	0x30	0x0D

応答 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	CR
Hex	0x34	0x30 0x35	0x2D	0x0D

Get 関数表:

A. 基本機能

Get関数	長さ	ID	コマンド		応答範囲	コメント	
			タイプ (ASCII)	コード (ASCII)			コード (16進)
Get-Brightness	8		g	b	62	000 ~ 100	
Get-Backlight*3.2.0	8		a	B	42	000 ~ 100	1.メインモードがバックライトによって制御され、他のソースが明るさによって制御されるAndroidプラットフォームの場合。 2.色校正から抽出されます。 *3.2.0
Get-Volume	8		g	f	66	000 ~ 100	
Get-Mute	8		g	g	67	000: Off (オフ) 001: オン (ミュートオン)	
Get-Input select	8		g	j	6A	000~ 100~	1. 信号検出用の1番目のビット: 0は「信号なし」を表します。1は「信号が検出された」ことを表します。 2. 2番目および3番目のビット: Set-関数表を確認します
Get-Power ステータス: オン/スタンバイ	8		g	l	6C	001: オン 000: STBY	
Get-Remote control	S		g	n	6E	000: オフ 001: オン 002: パススルー	RCUモードのステータスを取得します
Get-Power lock	8		g	o	6F	000: ロック解除 001: ロック	
Get-Button lock	8		g	p	70	000: ロック解除 001: ロック	
Get-Menu lock	8		g	l	6C	000: ロック解除 001: ロック	
Get-ACK	8		g	z	7A	000	このコマンドは通信リンクのテストに使用します
Get-Thermal	8		g	0	30	000~100: 0~+100 °C -01~99: -1~99 °C	
Get-Operation time*3.2.0	8		g	1	31	000	1.6桁の整数 (000,001~999,999) の累積時間*3.2.0 2.FW更新および工場出荷時初期化時にリセットできません*3.2.2 3.新しい32バイト形式で応答します*3.2.0
Get-Device name	8		g	4	34	000	新しい32バイト形式で応答します*3.2.0

Get-MAC address	8		g	5	35	000	(LAN対応モデルの場合) 新しい32バイト形式で応答します*3.2.0
Get-IP address *3.2.0	8		g	6	36	000	(LAN対応モデルの場合) 新しい32バイト形式で応答します*3.2.0
Get-Serial number *3.2.0	8		g	7	37	000	新しい32バイト形式で応答します*3.2.0
Get-FW version *3.2.0	8		g	8	38	000	新しい32バイト形式で応答します*3.2.0

注意事項：

1. 動作時間取得の例

想定上の累積動作時間は 123,456 時間です

送信： 0x 38 30 31 67 31 30 30 30 0D (動作時間の取得)

応答： 0x 32 30 31 72 31 31 32 33 34 35 36 00 00 … 00 00 0D

2. デバイス名取得の例

想定上のデバイス名は CDE-5500 です

送信： 0x 38 30 31 67 34 30 30 30 0D (デバイス名の取得)

応答： 0x 32 30 31 72 34 43 44 45 2D 35 35 30 30 00 00 … 00 00 0D

想定上のデバイス名は「NMP-302#1」です

送信： 0x 38 30 31 67 34 30 30 30 0D (デバイス名の取得)

応答： 0x 32 30 31 72 34 4E 4D 50 2D 33 30 32 23 31 00 00 … 00 00 0D

3. MAC アドレス取得の例

想定上の MAC アドレスは 00:11:22:aa:bb:cc です

送信： 0x 38 30 31 67 35 30 30 30 0D (MAC アドレスの取得)

応答： 0x 32 30 31 72 35 30 30 31 31 32 32 61 61 62 62 63 63 00 00 … 00 00 0D

4. IP アドレス取得の例

想定上の IP アドレスは 192.168.100.2 です

送信： 0x 38 30 31 67 36 30 30 30 0D (IP アドレスの取得)

応答： 0x 32 30 31 72 36 31 39 32 2E 31 36 38 2E 31 30 30 2E 32 00 00 … 00 00 0D

5. シリアル番号取得の例

想定上のシリアル番号は ABC180212345 です

送信： 0x 38 30 31 67 37 30 30 30 0D (シリアル番号の取得)

応答： 0x 32 30 31 72 37 41 42 43 31 38 30 32 31 32 33 34 35 00 00 … 00 00 0D

6.FW バージョン取得の例

想定上の FW バージョンは 3.02.001 です

送信: 0x 38 30 31 67 38 30 30 30 0D (FW バージョンの取得)

応答: 0x 32 30 31 72 38 33 2E 30 32 2E 30 30 31 00 00...00 00 0D

B. オプション機能

Get関数	長さ	ID	コマンド		応答範囲	コメント	
			タイプ (ASCII)	コード (ASCII) / コード (16進)			
Get-Contrast	8		g	a	61	000 ~ 100	
Get-Sharpness	8		g	c	63	000 ~ 100	
Get-Color	8		g	d	64	000 ~ 100	
Get-Tint	8		g	e	65	000 ~ 100	
Get-Backlight On_Off	8		g	h	68	000: Off (オフ) 001: On (オン)	
Get-PIP mode	8		g	t	74	000: オフ 001: PIP (POP) 002: PBP	
Get-PIP input	8		g	u	75	000 ~	Set-input selectを参照
Get-Tiling Mode	8		g	v	76	000: オフ 001: オン	(ビデオウォール用)
Get-Tiling Compensation	8		g	w	77	000: オフ 001: オン	(ビデオウォール用) ベゼル幅補正
Get-Tiling H by V monitors	8		g	x	78	01x~09x: 水平モニター 0x1~0x9: 垂直モニター	(ビデオウォール用) 1.水平モニター用の2番目の桁 2.垂直モニター用の3番目の桁
Get-Tiling Position	8		g	y	79	000: オフ 001~025	(ビデオウォール用) 位置#の画面を識別されたディスプレイにコピー
Get-Date: 年	8		g	2	32	Y00~Y00	最後の2桁 (20)17~(20)99
Get-Date: 月	8		g	2	32	M00~M00	2桁
Get-Date: 日	8		g	2	32	D00~M00	2桁
Get-Time: 時間	8		g	3	33	H00~H00	24時間形式。2桁
Get-Time: 分	8		g	3	33	M00~M00	2桁
Get-Time: 秒	8		g	3	33	S00~S00	2桁

注意事項：

1. 日付取得の例

ディスプレイ #01 の想定上の現在日付は次の通りです。

日付：2017-3/15

送信： 0x 38 30 31 67 32 59 30 30 0D (日付:年の取得)

応答： 0x 38 30 31 72 32 59 31 37 0D (“Y17”)

送信： 0x 38 30 31 67 32 4D 30 30 0D (日付:月の取得)

応答： 0x 38 30 31 72 32 4D 30 33 0D (“M03”)

送信： 0x 38 30 31 67 32 44 30 30 0D (日付:日の取得)

応答： 0x 38 30 31 72 32 44 31 35 0D (“D15”)

2. 時刻取得の例

ディスプレイ #01 の想定上の現在時刻は次の通りです。

時刻: 16:27:59

送信: 0x 38 30 31 67 33 48 30 30 0D (時刻:時間の取得)

応答: 0x 38 30 31 72 33 48 31 36 0D (“H16”)

送信: 0x 38 30 31 67 33 4D 30 30 0D (時刻:分の取得)

応答: 0x 38 30 31 72 33 4D 32 37 0D (“M27”)

送信: 0x 38 30 31 67 33 53 30 30 0D (時刻:秒の取得)

応答: 0x 38 30 31 72 33 53 35 39 0D (“S59”)

3.RS232 バージョン取得の例

想定上のバージョンは 3.0.1 です

送信: 0x 38 30 31 67 36 30 30 30 0D (RS232 バージョンの取得)

応答: 0x 38 30 31 72 36 33 30 31 0D (“301”)

C. 自動応答 *3.2.1

リモコンユニット、フロントキー、タッチスクリーンなどの利用可能な方法を通して、次のデータ / ステータスが変更された場合、ディスプレイは、ホストに照会することなく、更新されたデータ / ステータスを自動的に送信します。

- 電源オン / オフ
- Input Select (入力選択)
- Brightness (輝度)
- バックライト
- Volume (音量)
- Mute On/Off (ミュートオン / オフ)

リモコンパススルーモード

PC がディスプレイをリモコンパススルーモードに設定した場合、ViewBoard IFP50-5 シリーズはリモコンユニット (RCU) ボタンの起動に応答し、7 バイトの packets (後に「CR」が続く) を送信します。このモードでは、リモコンはディスプレイ機能に影響を与えません。例:「Volume +」はディスプレイの音量を変更せず、代わりに、RS-232 ポートを通して PC に「Volume +」コードを送信するのみとなります。

IR パススルー機能形式

応答: (コマンドタイプ =「p」)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	RCU コード1 (MSB)	RCU コード2 (LSB)	CR
バイト数	1 バイト	2 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト
バイト順	1	2~3	4	5	6	7

例 1: ディスプレイ (#5) に「VOL+」キーが押された場合のリモコンパススルー送信 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	RCU コード1 (MSB)	RCU コード2 (LSB)	CR
Hex	0x36	0x30 0x35	0x70	0x31	0x30	0x0D

ボタン	コード (16進)	基本 *3.1.1	オプション*3.1.1
1	01	V	
2	02	V	
3	03	V	
4	04	V	
5	05	V	
6	06	V	
7	07	V	
8	08	V	
9	09	V	
0	0A	V	
-	0B		V
リセット (前回)	0C		V
情報 (ディスプレイ)	0D		V
	0E		
縦横比 (ズーム、サイズ)	0F		V
音量アップ (+)	10	V	

音量ダウン (-)	11	V	
ミュート	12	V	
チャンネル / ページアップ (+)/ 輝度 +	13		V
チャンネル / ページダウン (-)/ 輝度 -	14		V
電源	15	V	
ソース(入力)	16	V	
	17		
	18		
スリープ	19		V
メニュー	1A	V	
上	1B	V	
下	1C	V	
左 (-)	1D	V	
右 (+)	1E	V	
OK(入力、設定)	1F	V	
終了	20	V	
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	2A		
	2B		
赤 ■ (F1)	2C		
緑 ■ (F2)	2D		
イエロー ■ (F3)	2E		
青 ■ (F4)	2F		

注意事項：

1. この IR パススルーコードは RCU キーコードとは異なります。
2. IR パススルーモード時の、電源キー用の特殊な制御シーケンス。
 - 2-1. ディ스플레이がオフになっている時に、IR 電源コードを受信した場合：ディスプレイの電源が自動的に入り、その後 RS-232 を通して電源コードをホストに転送します。
 - 2-2. ディ스플레이がオンになっている時に、IR 電源コードを受信した場合：ディスプレイは RS-232 を通して電源コードをホストに転送し、その後自動的にオフになります。
 - 2-3. SET-POWER LOCK がオンになっている場合、ディスプレイは電源キーを押す動作に反応しません。
3. キーを長押しすると、音量アップと音量ダウンのコードが繰り返し出力されます。

付録

仕様

項目	区分	仕様			
モデル		IFP5550-5	IFP6550-5	IFP7550-5F	IFP8650-5F
画面	サイズ	54.6"	64.5"	74.5"	85.5"
	表示領域 (mm)	1209.6(横) x 680.4(縦)	1428.48(横) x 803.52(縦)	1650.24(横) x 928.26(縦)	1913(横) x 1084(縦)
	表面処理	アンチグレア(ヘイズ 25%)、ハードコーティング(9H)			
	輝度	400 cd/ m ²			
入力信号		HDMI (v. 2.0) x 3 USB Type-C (DP v. 1.2、PD 65W、100M イーサネット) x 1 USB Type-A (2.0) x 2 USB Type-A (3.0) x 4			
出力信号		HDMI 2.0 (3840x2160 @60Hz) x 1 オーディオ出力 x 1 SPDIF x 1 USB Type-B (タッチ用) x 2			
ネットワーク	LAN	10M/100M(組み込み ViewBoard OS 用) 10M/100M/1000M(スロットイン PC 用)			
	Wi-Fi	Wi-Fi スロット x 1			
PC スロット		OPS 80 ピン x 1			
プラットフォーム	プロセッサ	Octa Core CPU ARM Cortex-A73*4+ARM Cortex-A53*4			
	RAM	4GB DDR4	8GB DDR4		
	ストレージ	32GB	64GB		
	内蔵 OS	Android 11			
タッチ	タッチ方式	IR 赤外線走査方式			
	マルチタッチ	Windows: 40 タッチポイント / Android: 20 タッチポイント			
	同時書き込み	10 ポイント			
	応答速度	≤ 10ms			
スピーカー出力		2 x 12W(スピーカー)、1 x 16W(サブウーファー)			
RS-232		RS-232 通信			
電源	電圧	100V-240V AC 50/60Hz			

項目	区分	仕様			
動作環境	気温	32° F ~ 104° F (0° C ~ 40° C)			
	湿度	10% ~ 80% (結露なし)			
	高度	≤ 2,000 m			
保管環境	気温	-4° F ~ 140° F (-20° C ~ 60° C)			
	湿度	10% ~ 90% (結露なし)			
	高度	≤ 2,000 m			
寸法	W x H x D (mm)	1268 x 773 x 85	1488 x 897 x 90	1710 x 1020 x 90	1958 x 1160 x 90
	W x H x D (インチ)	49.92 x 30.43 x 3.35	58.58 x 35.31 x 3.43	67.32 x 40.16 x 3.39	77.09 x 45.67 x 3.43
重量	重量 (kg)	26.4	40.45	53.9	68.4
	重量 (ポンド)	58.2	89.2	118.8	153.66
消費電力	オン (標準)	89W	95W	135W	175W
	オフ	< 0.5W	< 0.5W	< 0.5W	< 0.5W

注意事項： 製品仕様は予告なく変更される場合があります。

ディスプレイモード

VGA モード

解像度	リフレッシュレート(@)
640 x 480	60Hz、72Hz、75Hz
720 x 400	70Hz
800 x 600	56Hz、60Hz、72Hz、75Hz
832 x 624	75Hz
1024 x 768	60Hz、70Hz、75Hz
1152 x 864	60Hz、75Hz
1152 x 870	75Hz
1280 x 768	60Hz、75Hz
1280 x 960	60Hz
1280 x 1024	60Hz、75Hz
1360 x 768	60Hz
1366 x 768	60Hz
1440 x 900	60Hz、75Hz
1400 x 1050	60Hz、75Hz
1600 x 1200	60Hz
1680 x 1050	60Hz
1920 x 1080	60Hz
1920 x 1200	60Hz

HDMI モード

解像度	リフレッシュレート(@)
640 x 480	60Hz、72Hz
720 x 400	70Hz
800 x 600	60Hz、72Hz
1024x768	60Hz、70Hz、75Hz
1280x800	60Hz
1280x1024	60Hz
1360x768	60Hz
1440x900	60Hz
1680x1050	60Hz
1920x1080	60Hz
3840x2160	30Hz、60Hz
480i	60Hz
480p	59Hz、60Hz
576i	50Hz
720p	50Hz、60Hz
576p	50Hz
1080i	50Hz、60Hz
1080p	50Hz、60Hz

トラブルシューティング

本章では、ViewBoard を使用するにあたり、発生する可能性がある問題と対処方法を記載します。

問題	解決策
リモコンが機能しない	<ol style="list-style-type: none">1. ディスプレイのリモコン受信機を妨害している物がないかどうかを確認してください。2. リモコンの電池が正しく取り付けられていることを確認してください。3. 電池を交換する必要があるかどうかを確認してください。
ユニットが予期せずオフになります	<ol style="list-style-type: none">1. スリープモードが有効になっているかどうかを確認してください。2. ディスプレイをオンにして、信号および制御システムに問題があるかどうかを確認してください。

PC モード

問題	解決策
PC 信号がありません	<ol style="list-style-type: none">1. ディスプレイの設定を確認してください。2. ディスプレイの解像度を確認してください。3. OSD メニューを使用して、水平および垂直 (同期) 設定を調整してください。
背景に縞模様が表示されます	<ol style="list-style-type: none">1. 自動調整を選択してください。2. 色と位相を調整してください。
サポートされない形式です	<ol style="list-style-type: none">1. 自動調整を選択してください。2. クロックと位相の設定を調整してください。

タッチ機能

問題	解決策
タッチ機能が動作しません	<ol style="list-style-type: none">1. ドライバーが正しくインストールされていることを確認してください。2. 設定を確認し調整してください。3. タッチペンが適切に動作しているかどうかを確認してください。

ビデオが正常に動作しません

問題	解決策
映像 / 音声が出力されません	<ol style="list-style-type: none">1. 電源ステータスを確認してください。2. 信号ケーブルを確認してください。3. 内蔵 PC が正しくインストールされていることを確認してください。
画像が不明瞭であるか、切り取られています	<ol style="list-style-type: none">1. 信号ケーブルを確認してください。2. 他の電子機器が信号を遮断していないか同課を確認してください。
映像が正しく表示されません	<ol style="list-style-type: none">1. メニューで彩度、明るさおよびコントラストの設定を調整してください。2. 信号ケーブルを確認してください。

オーディオ正常に動作しません

問題	解決策
音声が出力されません	<ol style="list-style-type: none">1. 消音 / 消音解除ボタンを押してください。2. 音量を調整してください。3. オーディオケーブルを確認してください。
1 台のスピーカーのみから出力されます	<ol style="list-style-type: none">1. メニューでサウンドバランスを調整してください。2. コンピュータのサウンド操作パネルの設定を確認してください。3. オーディオケーブルを確認してください。

メンテナンス

お手入れの際の注意

- デバイスのお手入れを行う際は、必ず電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。
- 絶対に画面やケースに直接液体をスプレーしたり、かけたりしないでください。
- 暗い色のデバイスは、擦り傷があると、明るい色のデバイスよりもはっきりと跡が残る可能性があるため、デバイスの取り扱いには注意してください。
- システムを長期間継続して使用しないでください。

画面のお手入れ

- 清潔で柔らかい不織布で拭いてください。ホコリやゴミを取り除くことができます。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量画面につけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

ケースのお手入れ

- ホコリやゴミのついている場合は、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量ケースにつけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

免責事項

- ViewSonic® は、ディスプレイ画面またはケースにアンモニアまたはアルコールベースのクリーナーを使用することはお勧めしません。いくつかの化学洗浄剤は、デバイスの画面および / またはケースを損傷することが報告されています。
- ViewSonic® は、アンモニアやアルコールベースの洗剤の使用に起因する損傷の一切の責任を負いません。

注意事項： ガラスとパネルの間に結露が発生した場合は、湿気がなくなるまでディスプレイをオンにしてください。

規制およびサービス情報

コンプライアンス情報

本セクションでは、関連するすべての要件と規制に関する声明を扱います。確認された対応用途は、本体上の銘板ラベルおよび関連マーキングを参照してください。

FCC コンプライアンス声明

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に従うものとします：(1) 本装置は有害な干渉を引き起こさない場合があります。(2) 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。本装置は、FCC 規則パート 15 に従って試験され、クラス B デジタル装置の制限に準拠していることが判明しています。

これらの制限は、住宅における設置で有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用しており、放射する可能性があります。指示に従って設置および使用しない場合には、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こした場合（装置の電源を入れ直して判断できます）、次のいずれかの方法で干渉を是正するようにしてください。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変えてください。
- 本装置と受信機の間隔を広げてください。
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに本装置を接続してください。
- 販売店または経験豊富なラジオ / テレビ技術者に相談してください。

警告: コンプライアンス担当者が明示的に承認していない変更または修正を行うと、本装置の操作権限が失われる可能性があることに注意してください。

カナダ産業省の声明

CAN ICES-003(B) / NMB-003(B)

欧州諸国の CE 適合



本装置は、EMC 指令 2014/30/EU および低電圧指令 2014/35/EU に準拠しています。

次の情報は、EU 加盟国のみにも適用されます：

右側のマークは、廃電気電子機器指令 2012/19/EU (WEEE) に準拠しています。このマークは、本装置を未分類の地方自治体の廃棄物として処分せず、現地の法律に従って回収し、回収システムを使用する必要があることを示しています。



RoHS2 コンプライアンス宣言

本製品は、欧州議会および理事会指令 2011/65/EU (電気・電子機器における特定の有害物質の使用制限に関する指令 (RoHS2 指令)) に準拠して設計・製造されており、欧州技術適合委員会 (TAC) が発行する以下の最大濃度値に適合しているとみなされます：

物質	提案された最大濃度	実際の濃度
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
六価クロム (Cr6 ⁺)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ビス (2- エチルヘキシル) (DEHP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ブチルベンジル (BBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	< 0.1%

上記のような製品の特定のコンポーネントは、下記の RoHS2 指令の附属書 III の下で免除されています：

- 鉛を重量 4 % まで含有する銅合金。
- 高融点温度はんだ中の鉛 (すなわち、鉛を重量 85 % 以上含む鉛ベースの合金)。
- コンデンサに誘電体セラミック以外のガラスまたはセラミックの鉛を含む電気および電子部品 (例えば、圧電素子、またはガラスまたはセラミックマトリックス化合物中)。
- 定格電圧 125V AC または 250V DC 以上の場合のコンデンサの誘電体セラミック内の鉛。

ENERGY STAR® に関する声明

ENERGYSTAR® は、米国環境保護庁の自主的なプログラムです、企業や個人が優れたエネルギー効率を通じて、お金を節約し、気候を保護できるようにすることを目指しています。温室効果ガスの排出を防ぐために、米国環境保護庁によって設定された厳格なエネルギー効率基準または要件を満たすことにより、製品にENERGYSTAR® が与えられます。

ViewSonic は、ENERGY STAR パートナーとして、ENERGY STAR ガイドラインを満たし、すべての認定モデルに ENERGY STAR ロゴを付けることを決定しています。

次のロゴは、すべての ENERGYSTAR® 認定モデルに表示されます。



注意事項：電源管理機能により、製品を使用していないときのエネルギー消費量が大幅に削減されます。電源管理により、デバイスは、定義された非アクティブ期間の後に、自動的に低電力の「スリープ」モードに移行します。また、電源管理機能により、ホストコンピュータから切断されてから 5 分後にスリープモードまたはオフモードになります。エネルギー設定を変更すると、エネルギー消費量が増えることに注意してください。

著作権情報

Copyright© ViewSonic Corporation, 2023.All rights reserved. 版權所有。

Macintosh 及び Power Macintosh はアップル社 Apple Inc. の登録商標です。

Microsoft、Windows 及び Windows ロゴは米国及び他諸国のマイクロソフト社の登録商標です。

ViewSonic 及び 3 羽の鳥のロゴは ViewSonic 社の登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。DPMS、DisplayPort 及び DDC は VESA の商標です。

免責条項:ViewSonic® Corporation は、本書における技術的または編集上の誤りについてその責を負いません。また、本資料の提供または本製品の動作或いは使用に起因する二次的または間接的損害についてもその責を負いません。

製品の継続的な品質向上のために、ViewSonic® Corporation は製品の仕様を予告なしに変更することができます。本文書の内容は予告なしに変更されることがあります。

本書のいかなる部分も、ViewSonic® Corporation から事前に書面による許可を得ることなく、いかなる方法によっても無断で複写、複製、転送することを禁じます。

カスタマーサポート

技術サポート、製品サービスについては、下記ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.viewsonic.com/jp/support/>

製品サポート、修理、その他お問い合わせについては、下記ウェブサイトからお送りください。

<https://www.viewsonic.com/jp/contact/>

注意事項：製品のシリアル番号が必要です。



ViewSonic®